

城陽市障がい者計画策定に係る
実態調査結果報告書

平成23年3月

城 陽 市

目次

調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査方法	3
3 実施数と回収結果	3
4 報告書の見方	4
5 調査結果の概要	4
身体障がい者実態調査結果	9
1 基本的事項	11
(1) 回答者	11
(2) 性別	11
(3) 年齢	12
(4) 小学校区	12
(5) 手帳級数	13
(6) 介護保険サービス	13
(7) 障がい部位	14
2 生活の状況	15
(1) 収入源	15
(2) 家族構成	16
(3) 主な介助者	17
(4) 困っていること	18
(5) 平日の居場所	19
(6) 休日の居場所	20
3 就労	21
(1) 就労形態	21
(2) 仕事を見つけた方法	22
(3) 仕事や職場への希望	23
(4) 働いていない理由	24
(5) 希望する雇用形態	25
4 生活の不安や不満	26
(1) 生活の不満	26
(2) 将来の不安	28
(3) 今後の生活場所の希望	29
5 外出について	30
(1) 主な外出手段	30
(2) 外出時に困ること	31
6 余暇・地域活動	33
(1) 趣味の有無	33

(2) 趣味の充足度	34
(3) 地域活動参加状況	35
(4) 地域活動に参加できない理由	36
7 サービス利用	37
(1) 自立支援給付サービスの利用状況と満足度	37
(2) 自立支援給付サービスの不満と感じる内容	40
(3) 地域生活支援事業の利用状況と満足度	41
(4) 地域生活支援事業の不満と感じる内容	44
(5) 今受けている以外の必要なサービス	45
(6) 現在未実施であるが必要と感じるサービス	46
(7) サービスを決定している人	47
8 情報提供	48
(1) 情報の入手方法	48
(2) 充実すべき情報発信方法	49
9 生活支援	50
(1) 近所との付き合いの程度	50
(2) 自治会長、民生・児童委員の周知度	51
(3) 日常的な相談相手	52
(4) 災害時に援助してもらう事への考え	53
10 城陽市の福祉環境	54
(1) 差別経験の有無	54
(2) 差別経験の内容	55
(3) 今後重要な施策	56
11 介助者	57
(1) 介助者の年齢	57
(2) 介助者の療育等での困りごと	58
(3) 介助者の介護での困りごと	59
(4) 介助者の健康状態	60
(5) 介助者に必要な支援	61
療育手帳実態調査結果	63
1 基本的事項	65
(1) 回答者	65
(2) 性別	65
(3) 年齢	66
(4) 小学校区	66
(5) 手帳級数	67
(6) 介護保険サービス利用の有無	67
2 生活の状況	68
(1) 収入源	68

(2) 家族構成	69
(3) 主な介助者	70
(4) 困っていること	71
(5) 平日の居場所	72
(6) 休日の居場所	73
3 就労	74
(1) 就労形態	74
(2) 仕事を見つけた方法	75
(3) 仕事や職場への希望	76
(4) 働いていない理由	77
(5) 希望する雇用形態	78
4 生活の不安や不満	79
(1) 生活の不満	79
(2) 将来の不安	81
(3) 今後の生活場所の希望	83
5 外出について	84
(1) 主な外出手段	84
(2) 外出時に困ること	85
6 余暇・地域活動	86
(1) 趣味の有無	86
(2) 趣味の充足度	87
(3) 地域活動参加の状況	88
(4) 地域活動に参加しない理由	89
7 サービス利用	90
(1) 自立支援給付サービスの利用状況と満足度	90
(2) 自立支援給付サービスの不満と感ずる内容	93
(3) 地域生活支援事業の利用状況と満足度	94
(4) 地域生活支援事業の不満と感ずる内容	97
(5) 今受けている以外の必要なサービス	98
(6) 現状未実施だが必要と感ずるサービス	99
(7) サービスを決定している人	100
8 情報提供	101
(1) 情報の入手方法	101
(2) 充実すべき情報発信方法	102
9 生活支援	103
(1) 近所との付き合いの程度	103
(2) 自治会長、民生・児童委員の周知度	104
(3) 日常的な相談相手	105
(4) 災害時に援助してもらう事への考え	106

10	城陽市の福祉環境.....	107
	(1) 差別経験の有無.....	107
	(2) 差別経験の内容.....	108
	(3) 今後重要な施策.....	109
11	介助者.....	110
	(1) 介助者の年齢.....	110
	(2) 介助者の療育等での困りごと.....	111
	(3) 介助者の介護での困りごと.....	112
	(4) 介助者の健康状態.....	113
	(5) 介助者に必要な支援.....	114
	精神通院医療費助成受給者実態調査結果.....	115
1	基本的事項.....	117
	(1) 回答者.....	117
	(2) 性別.....	117
	(3) 年齢.....	118
	(4) 居住の小学校区.....	118
	(5) 手帳級数.....	119
	(6) 介護保険サービス利用の有無.....	119
2	医療・保健.....	120
	(1) 医療に対する希望.....	120
	(2) 健康に対する希望.....	121
3	生活の状況.....	122
	(1) 収入源.....	122
	(2) 家族構成.....	123
	(3) 主な介助者.....	124
	(4) 困っていること.....	125
	(5) 障がいについての理解.....	126
	(6) 平日の居場所.....	127
	(7) 休日の過ごし方.....	128
4	就労.....	129
	(1) 就労形態.....	129
	(2) 仕事を見つけた方法.....	130
	(3) 仕事や職場への希望.....	131
	(4) 就労していない理由.....	132
	(5) 希望する雇用形態.....	133
5	生活の不安や不満.....	134
	(1) 生活の不満.....	134
	(2) 将来の不安.....	135
	(3) 今後の生活場所の希望.....	136

6	外出	137
	（1）主な外出手段	137
	（2）外出時に困ること	138
7	余暇・地域活動	139
	（1）趣味の有無	139
	（2）趣味の充足度	140
	（3）地域活動参加状況	141
	（4）地域活動に参加できない理由	142
8	サービス利用	143
	（1）自立支援給付サービスの利用状況と満足度	143
	（2）自立支援給付サービスの不満と感じる内容	145
	（3）地域生活支援事業の利用状況と満足度	146
	（4）地域生活支援事業の不満と感じる内容	147
	（5）今受けている以外の必要なサービス	148
	（6）必要と感じるサービス	149
	（7）サービスを決定している人	150
9	情報提供	151
	（1）情報の入手方法	151
	（2）充実すべき情報発信手段	152
10	生活支援	153
	（1）近所との付き合いの程度	153
	（2）自治会長、民生・児童委員の周知度	154
	（3）日常的な相談相手	155
	（4）災害時に援助してもらおう事への考え	156
11	城陽市の福祉環境	157
	（1）差別経験の有無	157
	（2）差別経験の内容	158
	（3）今後重要な施策	159
12	介助者	160
	（1）介助者の年齢	160
	（2）介助者の介護での困りごと	161
	（3）介助者の健康状態	162
	（4）介助に必要な支援	163

調査の概要

1 調査の目的

平成 18 年 3 月に見直しを行なった「城陽市障がい者計画」の計画期間が平成 23 年度（2011 年度）までとなっており、次期計画の策定を行うにあたって、障がい者本人と家族の実態やニーズを調査し、見直しの基礎資料として活用するため、障がい者福祉に関する障がい者や障がい児の保護者及び精神通院医療費助成を受けている方へのアンケートを実施した。

2 調査方法

調査基準日	平成 22 年 11 月 1 日
調査対象	城陽市内に住む身体障害者手帳所持者（施設入所者等除く） 城陽市内に住む療育手帳所持者（施設入所者等除く） 城陽市内に住む精神通院医療費助成受給者（施設入所者等除く）
調査実施方法	無作為抽出・郵送による配布・回収
調査期間	平成 22 年 11 月 27 日～12 月 20 日

3 実施数と回収結果

対象者	実施数（人）	回収数（人）	回収率
身体障害者手帳所持者	1,000	619	61.9%
療育手帳所持者	400	177	44.3%
精神通院医療費助成受給者	500	233	46.6%
計	1,900	1,029	54.2%

4 報告書の見方

(1) 回答は、各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してあります。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。

また、複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

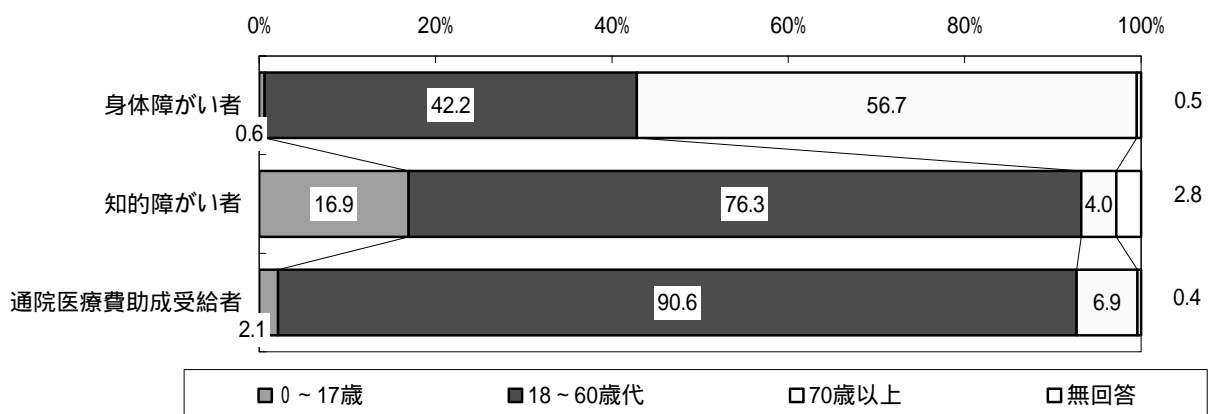
(2) 回答者数(n)が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになります。

5 調査結果の概要

調査項目の大区分ごとに、上位となった回答を中心に回答者のニーズを分析するとともに、障がい区分の傾向を分析します。

なお、今回の回答者については、下のグラフに示す通り、身体障がい者では他の障がい区分に比べ、70歳以上が56.7%ときわめて高く、知的障がい者では他の障がい区分に比べ、17歳までの児童が16.9%と高く、精神通院医療費助成受給者では他の障がい区分に比べ、18～60歳代が90.6%と高くなっています。このように、障がい区分で年齢構成に違いがあり、分析についてはこのことを踏まえて結果を捉えるべき項目もあります。

障がい区分の年齢構成



(1) 医療・保健（精神通院医療費助成受給者のみ）

- ・医療については、病気の経過や見通し、薬の効果や副作用についてもっと知りたいという希望が特に高く、緊急時の病院がほしいといった希望も高くなっています。
- ・健康については、心の問題を身近で相談できる窓口や、じっくりと相談できる場など、相談窓口に関する希望が特に高くなっています。

(2) 生活の状況

- ・収入源は家族の給料や年金が多く、この他、身体障がい者では自分の年金が特に高くなっています。知的障がい者と精神通院医療費助成受給者は、家族の給料や年金が60%を超え、身体障がい者に比べ高くなっています。また、精神通院医療費助成受給者で生活保護の率が7.7%とやや高くなっています。
- ・介助者の本人との続柄については、身体障がい者で配偶者が高く、知的障がい者と精神通院医療費助成受給者で親が高くなっています。また、精神通院医療費助成受給者で介助者がいないという回答が24.9%と高くなっています。
- ・生活の困りごとは、障がい区分別に傾向が異なっています。身体障がい者では、高齢者や障がい者だけの世帯であることが特に高く、知的障がい者では介助者の疲れが特に高くなっています。また、精神通院医療費助成受給者では生活の困窮が特に高くなっています。また、精神通院医療費助成受給者では多くの選択肢の回答率が他の障がいに比べて高くなっています。
- ・精神通院医療費助成受給者で、家族が障がいについて理解を示していない率が10.3%です。

(3) 就労

- ・働いていない率は身体障がい者で80.5%、知的障がい者で43.5%、精神通院医療費助成受給者で73.8%です。年齢構成比から見て、16～64歳までの生産年齢人口が多い精神通院医療費助成受給者の未就労率が課題といえます。
- ・一般就労（正職員、非常勤、家業などの合計・「その他」は除く）の率は、身体障がい者全体のうち19.0%、知的障がい者全体のうち25.5%、精神通院医療費助成受給者全体のうち22.0%です。また、授産施設等でのいわゆる福祉的就労は知的障がい者全体のうち42.6%で、きわめて高くなっています。
- ・仕事を探した方法については、就労支援機関のあっせんがどの障がい区分でも約15～27%ですが、知的障がい者ではこの他、学校の紹介が高く、精神通院医療費助成受給者では直接自分で探した率が高くなっています。
- ・職場への希望については、いずれの障がい区分でも安定した収入が最も高く、次いで障がいの程度に合った仕事内容が続いていますが、精神通院医療費助成受給者では他の障がい区分に比べて、障がいに対する理解を求める希望が高くなっています。
- ・働いていない理由は身体障がい者で高齢のためであることが多い他、いずれの障がい区分でも、障がい重いことや障がいに合った仕事がないためが高くなっています。

- ・希望する雇用形態は知的障がい者と精神通院医療費助成受給者で正社員が約 14～15%で、知的障がい者では福祉的就労の希望が 23.2%に及んでいます。また障がいに合った就労形態への希望は知的障がい者と精神通院医療費助成受給者で約 14～19%です。

(4) 生活の不安や不満

- ・生活への不満について「特に不満はない」という回答は、身体障がい者で 49.6%ですが、他の障がいでは 24～27%に留まっており、経済的なゆとりがない、親しく話せる仲間がないなどの不満が高くなっています。特に精神通院医療費助成受給者で経済的なゆとりがないといった不満が 51.1%に及んでいます。
- ・将来の不安については、いずれの障がい区分においても家族や自分の高齢化と病気、収入の減少が高くなっています。

(5) 外出

- ・身体障がい者と知的障がい者では、特に困ることはないとの回答が 33%でしたが、身体障がい者では段差のある床や駐車場、トイレ等施設が利用しづらい、道路が高く、知的障がい者では周りの人がジロジロ見ることなどが高くなっています。

(6) 余暇・地域活動

- ・いずれの障がい区分でも、趣味がない人が約 3 割います。趣味がある人でも、その趣味が十分実現できていないと回答する人が約 10%です。
- ・地域活動に参加していない人は身体障がい者で 55.9%、知的障がい者で 72.3%、精神通院医療費助成受給者で 61.4%です。参加していない理由のトップは参加したい意思がないことですが、身近に機会や相手がいないことや、障がいに対する理解がないことなども理由の上位となっています。

(7) サービス利用

- ・サービス利用者の各サービスに対する満足度はおおむね高いといえますが、不満もあり、その主な内容としては、デイサービスの内容や短期入所が緊急時に利用できないことなど、多様な不満があがっています。
- ・今利用している以外に必要なサービスがあるかについては、身体障がい者と精神通院医療費助成受給者で約半数が、知的障がい者で約 7 割が何らかのサービスが必要であると回答しています。必要なサービスとしては、身体障がい者では外出支援とホームヘルプサービス、リハビリが、知的障がい者では、外出支援とグループホームやケアホーム、療育、職業訓練、学童保育が、精神通院医療費助成受給者ではリハビリや外出支援、デイサービスが高くなっています。
- ・現在の城陽市で実施はされていないものの、必要と感じるサービスについては、身体障がい者で訪問看護、入院時のホームヘルプサービス、院内介助が高く、知的障がい者で入院時の

ホームヘルプサービス、院内介助、通勤・通学支援、施設通所時の送迎が高く、精神通院医療費助成受給者で、訪問看護が高くなっています。

- ・自分で福祉サービスの施設や内容を決めているのは、身体障害者及び精神通院医療費助成受給者でおおむね半数ですが、知的障がい者では 9.5%で、家族が決めているという回答が 78.4%に及んでいます。

(8) 情報提供

- ・城陽市からの情報提供でもっとも力を入れてほしいことのトップは市の広報誌で、知的障がい者では相談支援事業所の支援員による情報提供も高くなっています。

(9) 生活支援

- ・隣近所との付き合いの程度は、知的障がい者と精神通院医療費助成受給者が、身体障がい者に比べ親密さが低い傾向がありますが、それでもあいさつをする程度の付き合いが 7~8 割程度(身体障がい者では 9 割)です。付き合いをしていないとする解答は知的障がい者で 19.8%、精神通院医療費助成受給者で 14.2%です。
- ・自治会長を知らない人が知的障がい者、精神通院医療費助成受給者で約半数です。また、民生・児童委員を知らない人が身体障がい者で 43.3%、知的障がい者で 64.4%、精神通院医療費助成受給者で 60.9%に及んでいます。
- ・日常的な相談相手は、家族や近所の人、知人をのぞけば、身体障がい者と精神通院医療費助成受給者でかかりつけの医師が多く、知的障がい者で生活支援センター職員とかかりつけの医師が多くなっています。
- ・災害時に援助してもらおう事への考えについては、身体障がい者と知的障がい者に比べ、精神通院医療費助成受給者は、個人情報を知られたくないが 41.6%に及ぶなど、情報提供に慎重な傾向が見られます。

(10) 城陽市の福祉環境

- ・差別を感じる頻度は知的障がい者で特に高くなっています(よく感じる 12.4%、ときどき感じる 43.5%)
- ・差別経験の内容はいずれの障がい区分でも外出時の人の視線や対応が高く、次いで就職・仕事や社会の制度が高くなっています。また身体障がい者では交通機関も高くなっています。
- ・城陽市で障がい者が生活を送る上で重要なこととしては、いずれの障がい区分でも気軽な相談窓口が高く、知的障がい者では多くの選択肢の回答率が他の障がいより高くなっています。また精神通院医療費助成受給者では障がい者とごく当たり前に暮らす地域づくりの回答も目立って高くなっています。

(11) 介助者

- ・いずれの障がい区分でも介助者の高齢化が見られます。

- ・療育や保育について、施設不足や相談先の不足が困りごととしてあげられています。
- ・介助者の介護での困りごととしては、いずれの障がい区分でも自分の高齢化をトップに、健康や経済面などのことがあげられています。
- ・介助者の7割強が、何らかの健康上の不調を持っており、症状としては、特に腰痛や疲労、肩こりやよく眠れないことが上位となっています。
- ・介助者に必要な支援としては、いずれの障がい区分でも緊急時の支援がトップで、身体障がい者と知的障がい者の介助者は次いで障がい者本人のための入所施設、精神通院医療費助成受給者の介助者は相談窓口をあげています。

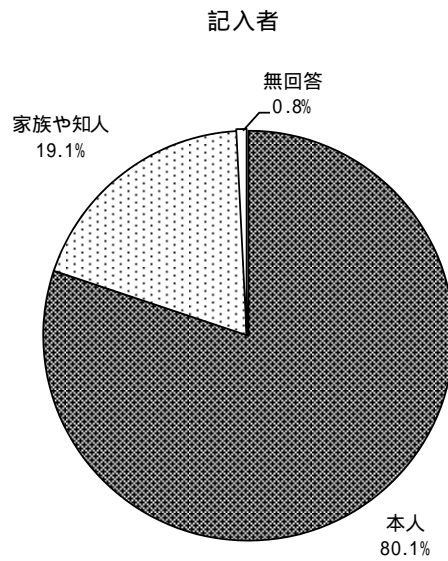
身体障がい者実態調査結果

1 基本的事項

(1) 回答者

問1 このアンケートにお答えいただいている方はどなたですか。

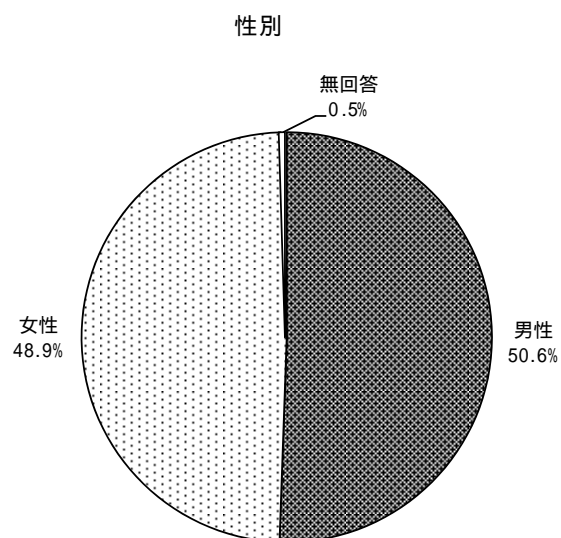
全体数=619



(2) 性別

問2 あなたの性別は。

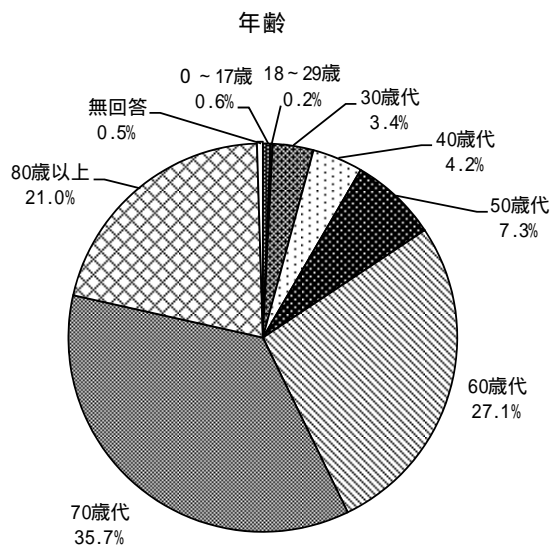
全体数=619



(3) 年齢

問 3 あなたは何歳ですか（平成 22 年 11 月 1 日の年齢をお答えください）。

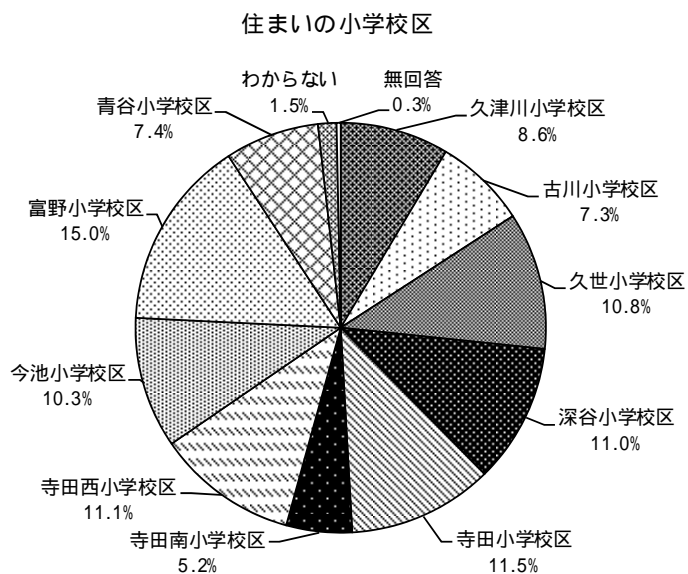
全体数=619



(4) 小学校区

問 4 あなたのお住まいの小学校区は次のうちどれですか。

全体数=619

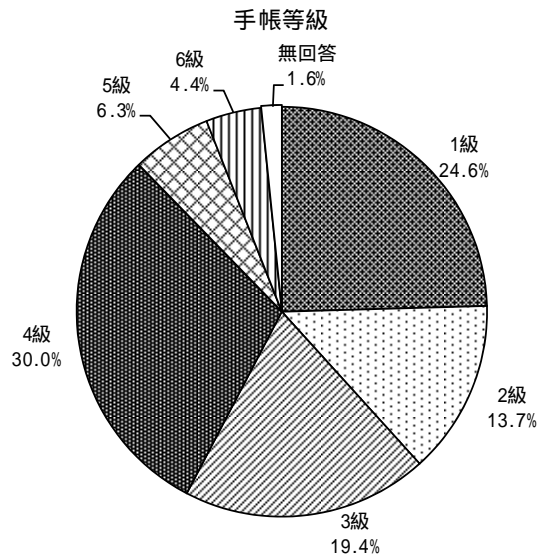


(5) 手帳級数

問 5 あなたの身体障害者手帳の等級は何級ですか。

全体数=619

最も多かったのは、「4級」30.0%、次いで「1級」24.6%、「3級」19.4%、「2級」13.7%、「5級」6.3%の順でした。

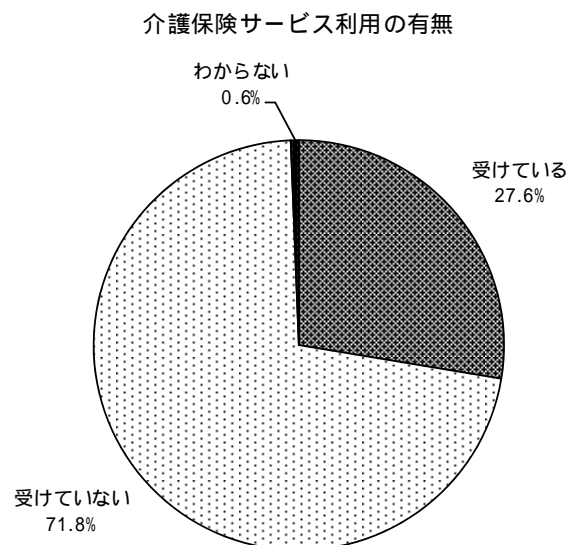


(6) 介護保険サービス

問 6 主に 65 歳以上の方におたずねします。介護保険サービスを受けていますか。

全体数=478

65 歳以上で介護サービスを受けている回答者は 27.6% でした。

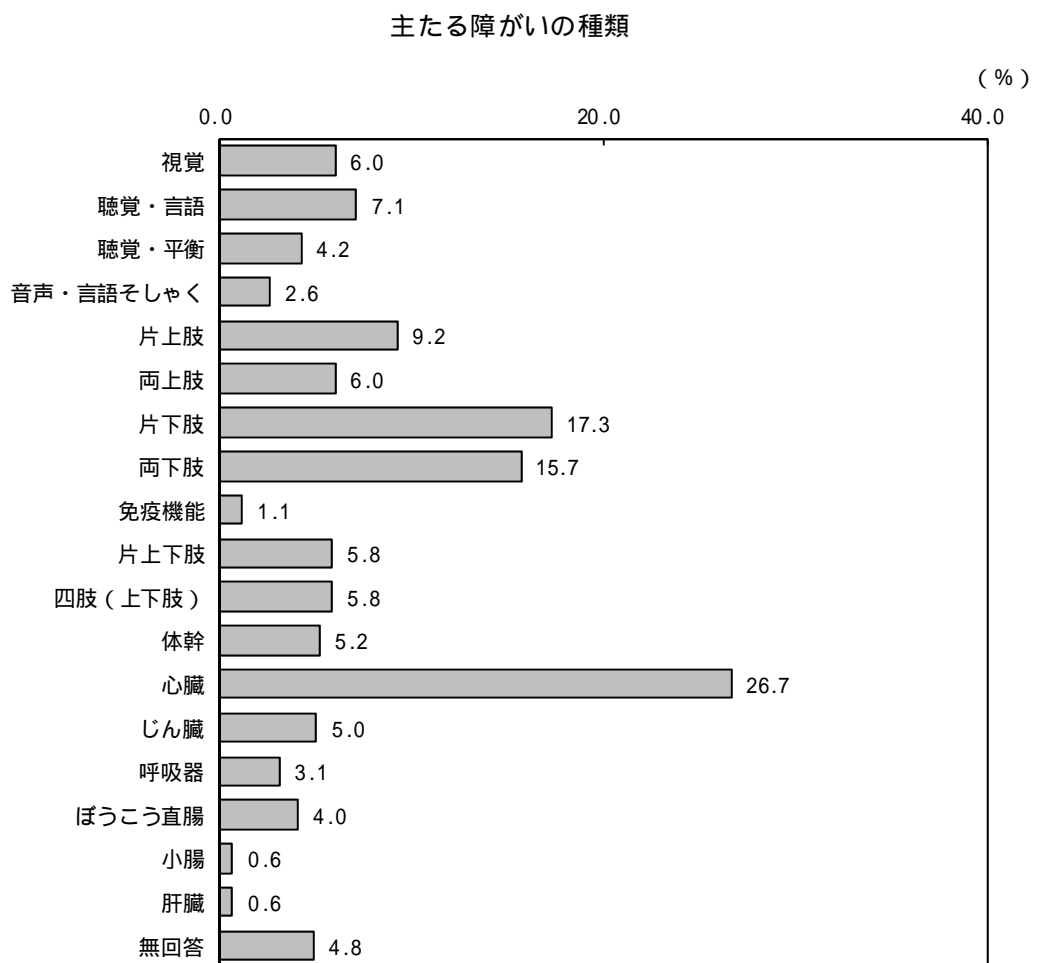


(7) 障がい部位

問7 手帳に示されているあなたの障がいの部位はどれですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「心臓」26.7%、次いで「片下肢」17.3%、「両下肢」15.7%、「片上肢」9.2%、「聴覚・言語」7.1%の順でした。



2 生活の状況

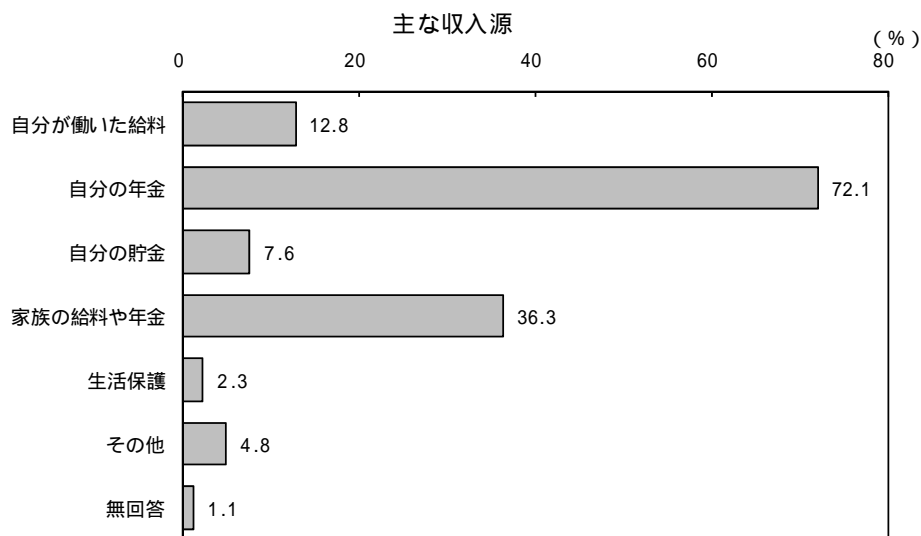
(1) 収入源

問8 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「自分の年金」72.1%、次いで「家族の給料や年金」36.3%、「自分が働いた給料」12.8%、「自分の貯金」7.6%、「その他」4.8%の順でした。

年齢別では、50～70歳代で「自分が働いた給料」が多くなっています。



単位：%

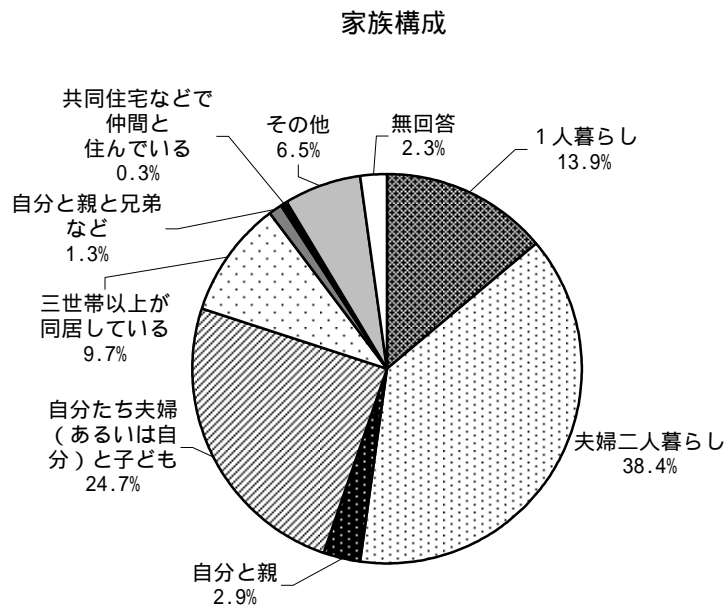
	自分が働いた給料	自分の年金	自分の貯金	家族の給料や年金	生活保護	その他	無回答
全体 <n=619>	12.8	72.1	7.6	36.3	2.3	4.8	1.1
男性 <n=313>	19.8	79.6	8.9	17.3	2.2	3.5	1.3
女性 <n=303>	5.6	64.4	6.3	56.1	2.3	6.3	0.7
0～17歳 <n=4>				17.3			
18～29歳 <n=1>		64.4					
30歳代 <n=21>				100.0			
40歳代 <n=26>		100.0					
50歳代 <n=45>	47.6	23.8		47.6			
60歳代 <n=168>	50.0	34.6	7.7	34.6	3.8	3.8	
70歳代 <n=221>	42.2	28.9	4.4	42.2	8.9	8.9	
80歳以上 <n=130>	15.5	70.2	8.3	37.5		4.8	

(2) 家族構成

問9 あなたの家族構成で当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「夫婦二人暮らし」38.4%、次いで「自分たち夫婦（あるいは自分）と子ども」24.7%、「1人暮らし」13.9%、「三世帯以上が同居している」9.7%、「その他」6.5%の順でした。

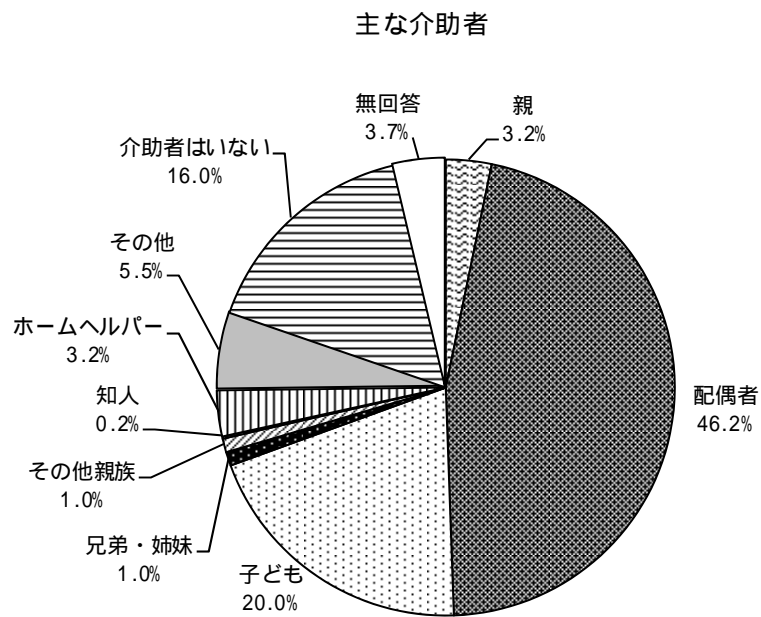


(3) 主な介助者

問10 あなたの主な介助者は誰ですか。当てはまる番号に をつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「配偶者」46.2%、次いで「子ども」20.0%、「介助者はいない」16.0%などの順でした。

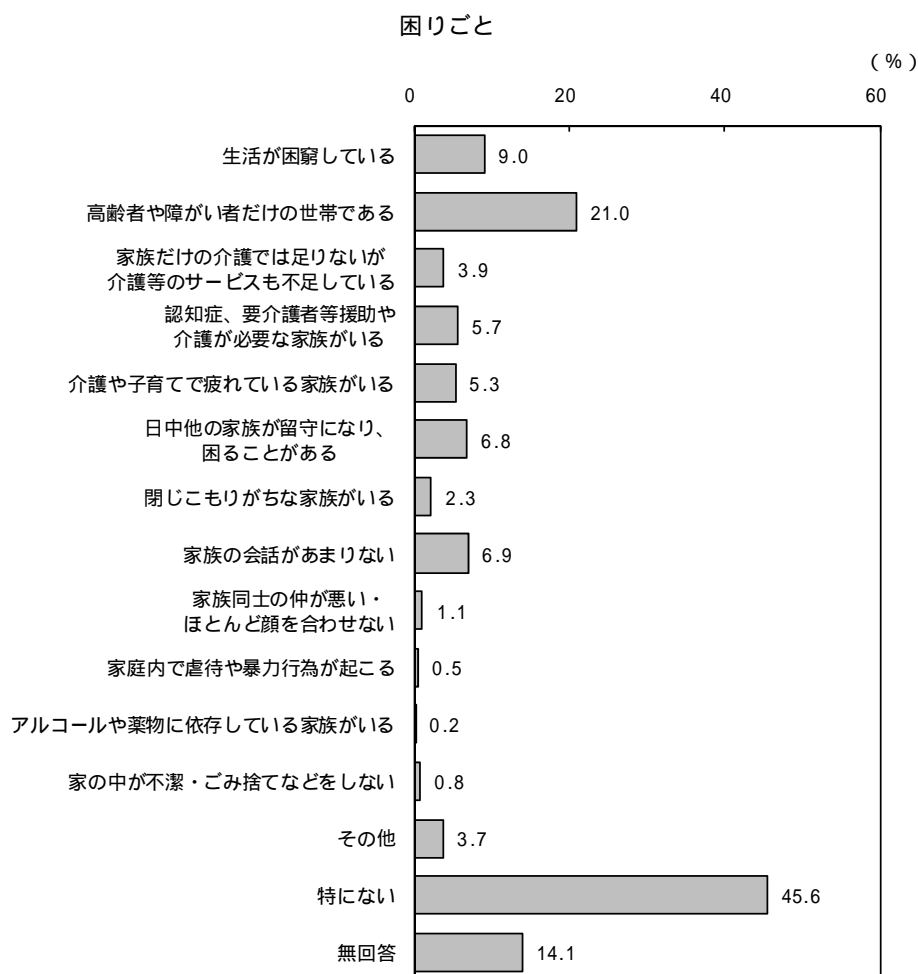


(4) 困っていること

問11 あなたの家庭やあなた以外の家族のことで困っていることはありますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「特にない」45.6%で、困りごとを選んだ回答では「高齢者や障がい者だけの世帯である」21.0%が最も多く、次いで「生活が困窮している」9.0%、「家族の会話が少ない」6.9%の順でした。



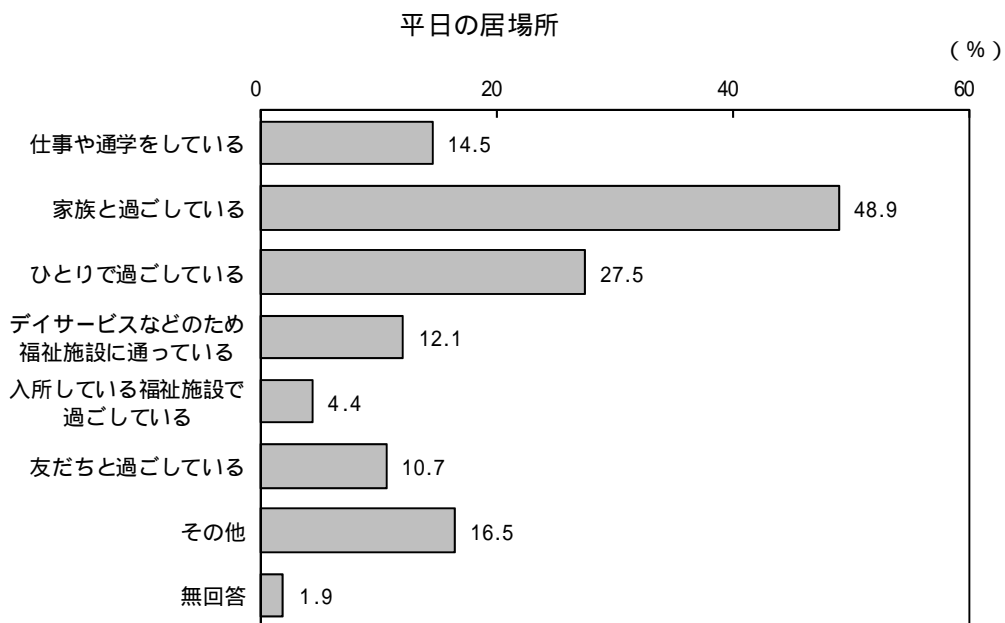
(5) 平日の居場所

問 12 あなたは平日の昼間、主にどのように過ごしていますか。当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「家族と過ごしている」48.9%、次いで「ひとりで過ごしている」27.5%、「その他」16.5%、「仕事や通学をしている」14.5%、「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」12.1%の順でした。

年齢別では、「仕事や通学をしている」が年齢が高くなるほど低くなり、「家族と過ごしている」「ひとりで過ごしている」が高くなります。60歳以上では「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」も高くなっています。



単位：%

	仕事や通学をしている	家族と過ごしている	ひとりで過ごしている	デイサービスなどのため福祉施設に通っている	入所している福祉施設で過ごしている	友だちと過ごしている	その他	無回答
全体 <n=619>	14.5	48.9	27.5	12.1	4.4	10.7	16.5	1.9
0～17歳 <n=4>	25.0	25.0				25.0	25.0	
18～29歳 <n=1>		100.0						
30歳代 <n=21>	52.4	9.5	9.5	9.5	23.8		9.5	
40歳代 <n=26>	53.8	15.4	11.5	7.7		3.8	15.4	3.8
50歳代 <n=45>	42.2	26.7	33.3	4.4	4.4	6.7	11.1	
60歳代 <n=168>	18.5	42.9	31.5	8.3	2.4	13.7	19.6	
70歳代 <n=221>	5.0	63.3	23.5	12.2	2.7	14.0	18.1	3.2
80歳以上 <n=130>	2.3	54.6	33.8	21.5	7.7	5.4	12.3	1.5

その他の主な内容・・・個人的な趣味の活動を具体的に記載したもの、通院、入院、福祉センター、テレビ など

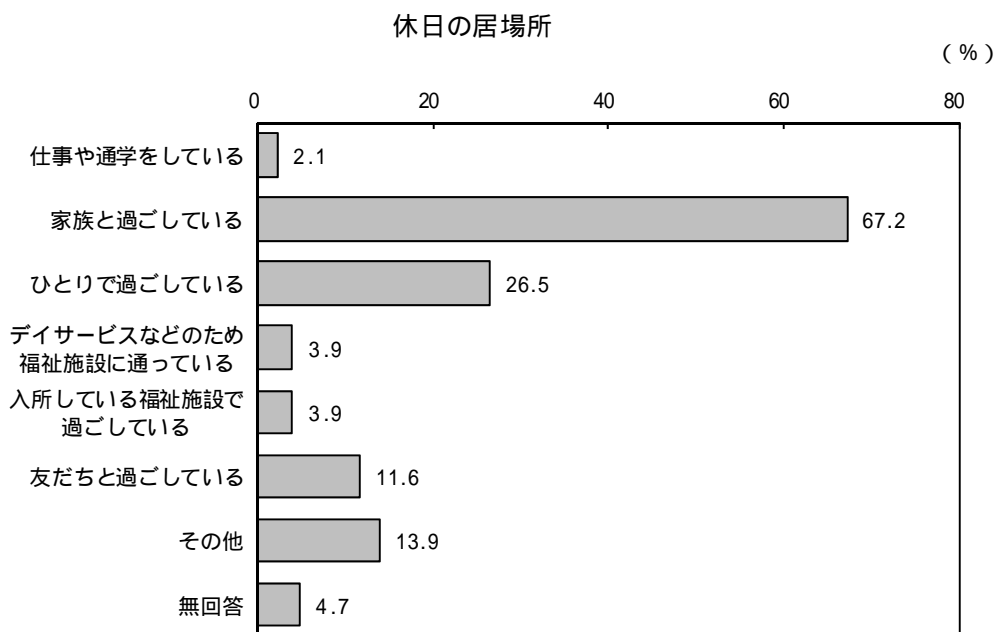
(6) 休日の居場所

問 13 あなたは休日、どのように過ごしていますか。当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「家族と過ごしている」67.2%、次いで「ひとりで過ごしている」26.5%、「その他」13.9%、「友だちと過ごしている」11.6%、「無回答」4.7%の順でした。

年齢別では、「ひとりで過ごしている」が80歳以上で高くなっています。



単位：%

	仕事や通学をしている	家族と過ごしている	ひとりで過ごしている	デイサービスなどのため福祉施設に通っている	入所している福祉施設で過ごしている	友だちと過ごしている	その他	無回答
全体 <n=619>	2.1	67.2	26.5	3.9	3.9	11.6	13.9	4.7
0～17歳 <n=4>		100.0				25.0		
18～29歳 <n=1>		100.0						
30歳代 <n=21>	9.5	47.6	23.8		14.3	9.5	19.0	4.8
40歳代 <n=26>	3.8	73.1	19.2	3.8		11.5	15.4	3.8
50歳代 <n=45>	4.4	73.3	28.9	2.2	4.4	13.3	6.7	2.2
60歳代 <n=168>	1.8	65.5	29.2	1.8	1.8	13.7	17.3	3.6
70歳代 <n=221>	1.4	69.7	22.6	2.7	2.7	14.0	15.4	5.4
80歳以上 <n=130>	1.5	65.4	31.5	10.0	7.7	3.8	9.2	4.6

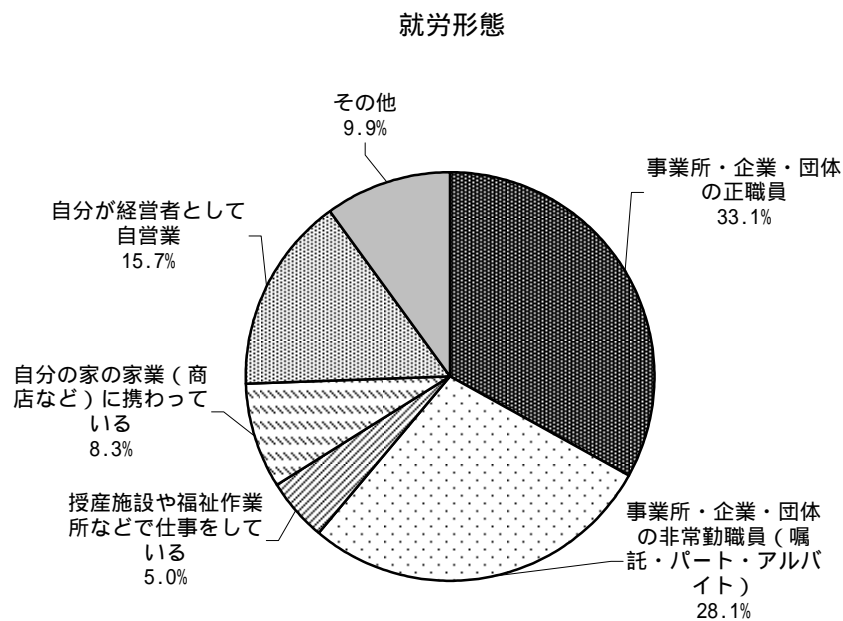
3 就労

(1) 就労形態

問14 現在働いている方におたずねします。お仕事について当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=121 (無回答及び「働いていない」のぞく)

619人のうち121人(19.5%)が就労しており、最も多かったのは、「事業所・企業・団体の正職員」33.1%、次いで「事業所・企業・団体の非常勤職員(嘱託・パート・アルバイト)」28.1%、「自分が経営者として自営業」15.7%の順でした。

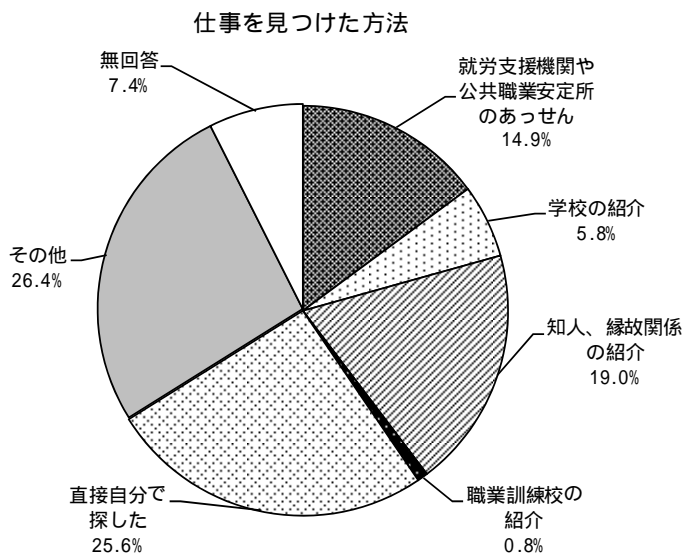


(2) 仕事を見つけた方法

問15 現在働いている方におたずねします。現在の仕事をどのようにして見つけましたか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=121 (該当なし498件のぞく)

最も多かったのは、「その他」26.4%、次いで「直接自分で探した」25.6%、「知人、縁故関係の紹介」19.0%、「就労支援機関や公共職業安定所のおっせん」14.9%の順でした。



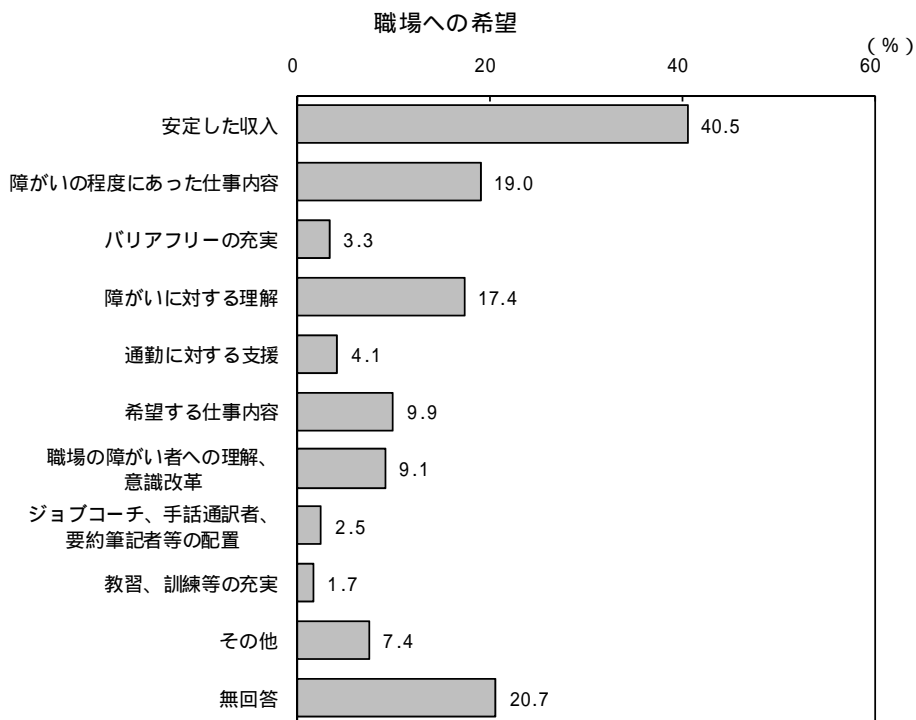
その他の主な内容・・・家業・農業などで従来からの継続、退職して独立 など

(3) 仕事や職場への希望

問16 現在働いている方におたずねします。現在の仕事や職場に関して、どのような環境が整えば、より働きやすいと思いますか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=121 (該当なし498件のぞく)

最も多かったのは「安定した収入」40.5%、次いで「障がいの程度にあった仕事内容」19.0%、「障がいに対する理解」17.4%、「希望する仕事内容」9.9%の順でした。

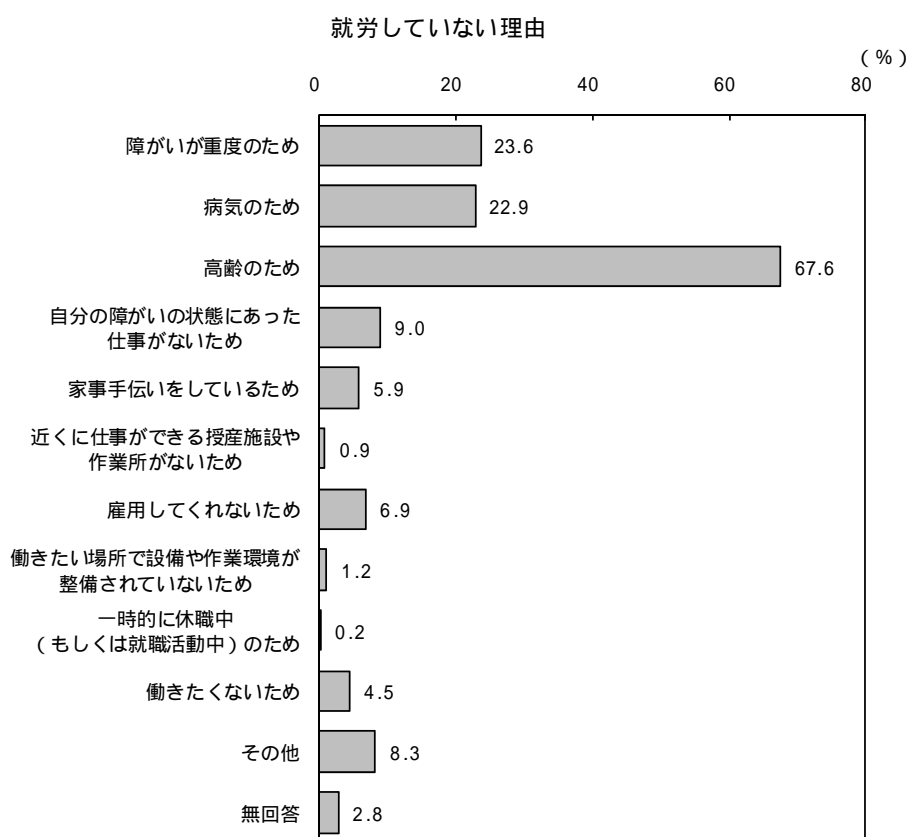


(4) 働いていない理由

問17 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は何ですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。(ご本人が18歳未満の場合は回答不要です)

全体数=423 (該当なし196件のぞく)

最も多かったのは、「高齢のため」67.6%、次いで「障がいが重度のため」23.6%、「病気のため」22.9%、「自分の障がいの状態にあった仕事がないため」9.0%、「その他」8.3%の順となっています。

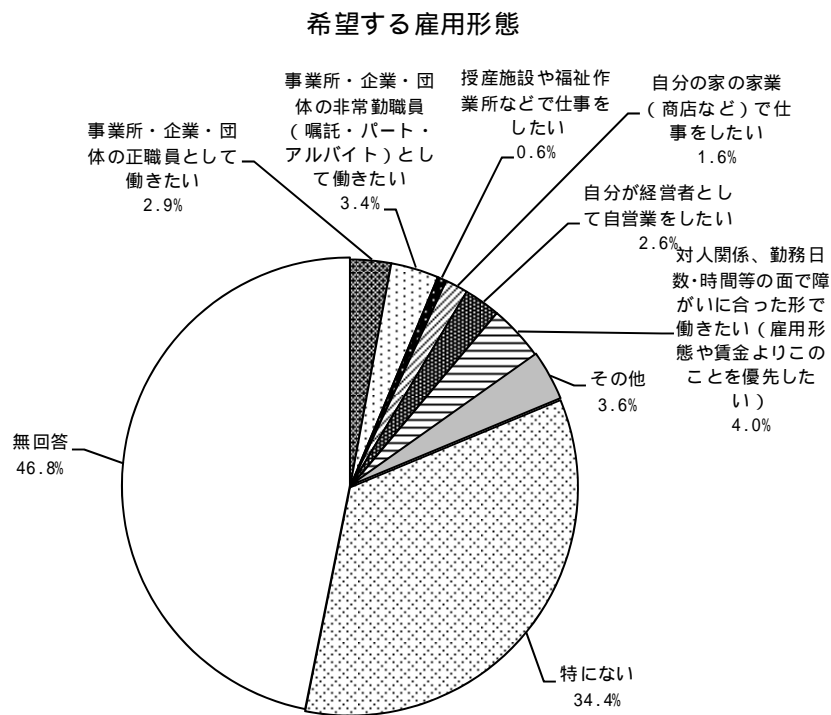


(5) 希望する雇用形態

問18 あなたは今後どのように働きたいですか。当てはまる番号に1つだけをつけて下さい。

全体数=619

最も多かったのは、「特に（希望は）ない」34.4%、「対人関係、勤務日数・時間等の面で障がいに合った形で働きたい（雇用形態や賃金よりこのことを優先したい）」4.0%、「その他」3.6%、「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）として働きたい」3.4%の順でした。なお、就労の意向を示していないと見られる無回答が46.8%でした。



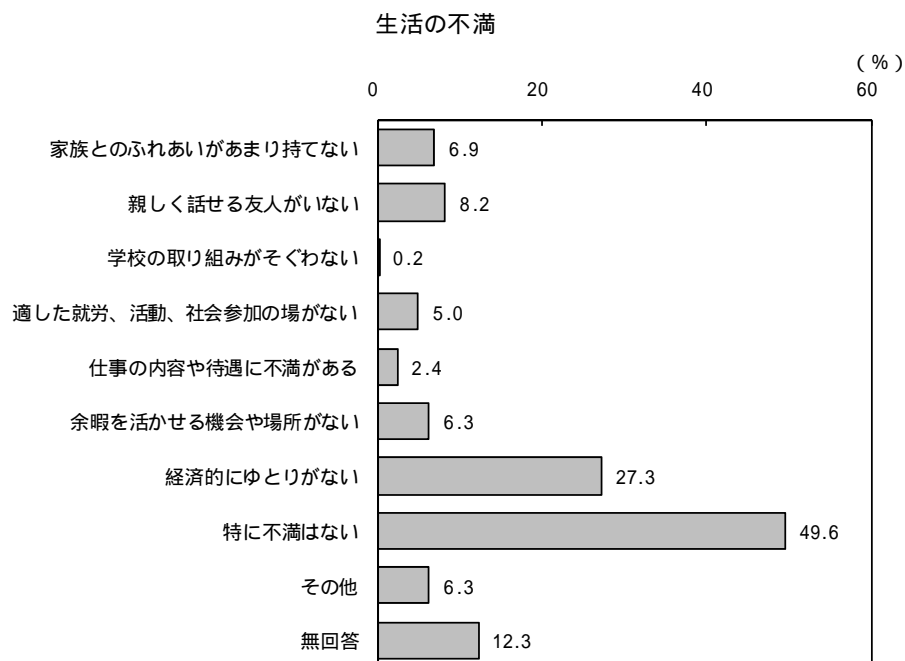
4 生活の不安や不満

(1) 生活の不満

問19 あなたは生活にどんな不満がありますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは「特に不満はない」49.6%、次いで「経済的にゆとりがない」27.3%、「親しく話せる友人がいない」8.2%、「家族とのふれあいがあまり持てない」6.9%の順でした。



性別、年齢の等級別に目立った傾向は特にありませんでした。手帳の級数別では6級で「経済的にゆとりがない」が低く、「特に不満はない」が高い傾向が見られます。

	家族とのふれあいがあまり持てない	親しく話せる友人がいない	学校の取組みがそぐわない	適した就労、活動、社会参加の場がない	仕事の内容や待遇に不満がある	余暇を活かせる機会や場所がない	経済的にゆとりがない	特に不満はない	その他	無回答
全体 <n=619>	6.9	8.2	0.2	5.0	2.4	6.3	27.3	49.6	6.3	12.3
男性 <n=313>	6.7	8.0		6.4	3.8	6.7	29.1	51.1	6.4	8.9
女性 <n=303>	7.3	8.6	0.3	3.6	1.0	5.9	25.4	48.2	6.3	15.5
0～17歳 <n=4>						25.0		75.0	25.0	
18～29歳 <n=1>								100.0		
30歳代 <n=21>	9.5	9.5		9.5	9.5	9.5	47.6	33.3		14.3
40歳代 <n=26>	7.7	15.4	3.8	19.2	11.5	15.4	34.6	34.6	3.8	7.7
50歳代 <n=45>	4.4	6.7		22.2	6.7	8.9	31.1	48.9	2.2	4.4
60歳代 <n=168>	6.5	5.4		4.8	3.0	7.7	32.1	51.8	6.5	8.9
70歳代 <n=221>	7.7	8.6		2.7	0.5	4.5	27.1	47.1	7.2	15.4
80歳以上 <n=130>	6.9	10.8			0.8	3.1	15.4	56.9	6.9	14.6
1級 <n=152>	7.2	8.6		3.3	2.0	4.6	17.8	53.9	7.2	13.8
2級 <n=85>	11.8	10.6		7.1	1.2	8.2	34.1	38.8	4.7	16.5
3級 <n=120>	5.0	7.5	0.8	8.3	1.7	10.8	31.7	50.0	4.2	9.2
4級 <n=186>	5.4	8.1		4.8	3.8	4.8	30.6	49.5	8.1	11.3
5級 <n=39>	7.7	7.7			2.6	5.1	33.3	43.6	10.3	5.1
6級 <n=27>	11.1	7.4		3.7	3.7	3.7	14.8	66.7		7.4

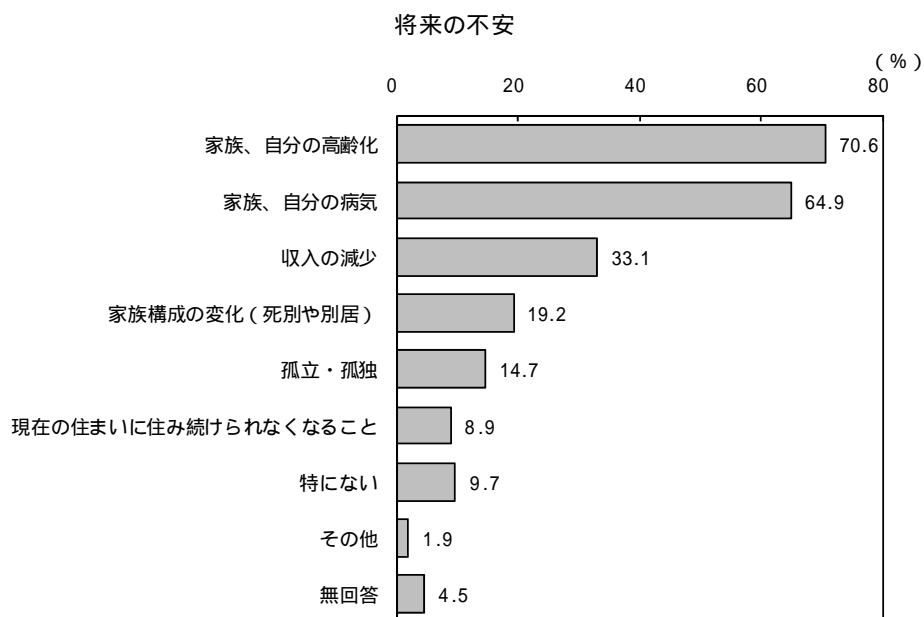
(2) 将来の不安

問20 今後予想される困難や不安はどのようなことですか。当てはまる番号にいくつでもつけてください。

全体数=619

最も多かったのは「家族、自分の高齢化」70.6%、次いで「家族、自分の病気」64.9%、「収入の減少」33.1%、「家族構成の変化(死別や別居)」19.2%、「孤立・孤独」14.7%、の順でした。

年齢別に見ると、「収入の減少」「孤立・孤独」などの回答が高い年齢層ほど高くなっています。



単位：%

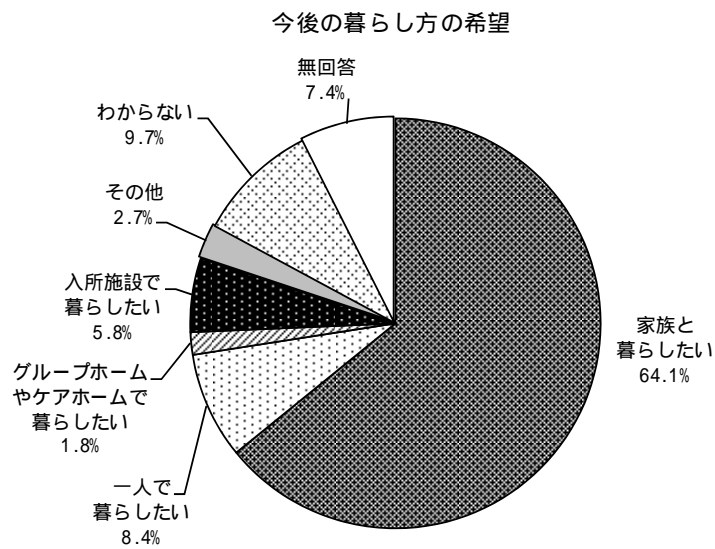
	家族、自分の高齢化	家族、自分の病気	収入の減少	家族構成の変化(死別や別居)	孤立・孤独	現在の住まいに住み続けられなくなる事	特にない	その他	無回答
全体 <n=619>	70.6	64.9	33.1	19.2	14.7	8.9	9.7	1.9	4.5
男性 <n=313>	73.5	63.9	31.0	19.2	15.0	8.9	6.1	2.6	5.1
女性 <n=303>	68.0	66.3	35.3	19.5	14.5	8.9	13.5	1.3	3.3
0~17歳 <n=4>	73.5	63.9				8.9	6.1	2.6	
18~29歳 <n=1>	68.0	66.3							
30歳代 <n=21>	25.0	50.0				25.0	50.0	25.0	
40歳代 <n=26>	100.0	100.0							
50歳代 <n=45>	61.9	76.2	57.1	28.6	23.8	19.0	4.8	4.8	
60歳代 <n=168>	65.4	69.2	50.0	38.5	34.6	11.5	3.8		
70歳代 <n=221>	64.4	62.2	51.1	15.6	13.3	17.8	4.4	2.2	2.2
80歳以上 <n=130>	69.6	64.9	36.9	18.5	14.9	5.4	8.3	0.6	3.6

(3) 今後の生活場所の希望

問21 あなたは今後、どこでの暮らしを希望していますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは「家族と暮らしたい」64.1%、次いで「わからない」9.7%、「一人で暮らしたい」8.4%、「入所施設で暮らしたい」5.8%の順でした。



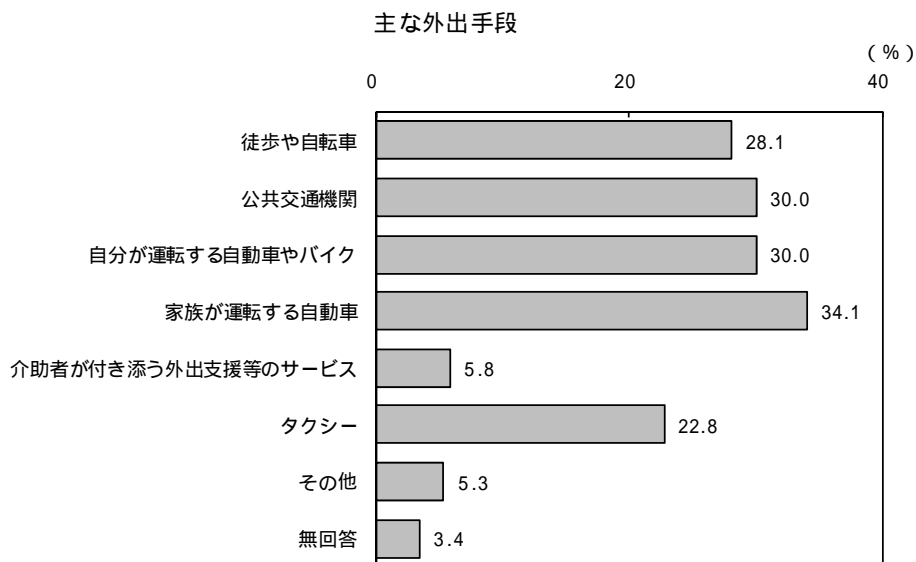
5 外出について

(1) 主な外出手段

問22 あなたが外出する際のおもな手段は何ですか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは「家族が運転する自動車」34.1%、次いで「公共交通機関」と「自分が運転する自動車やバイク」いずれも30.0%、「徒歩や自転車」28.1%、「タクシー」22.8%の順でした。

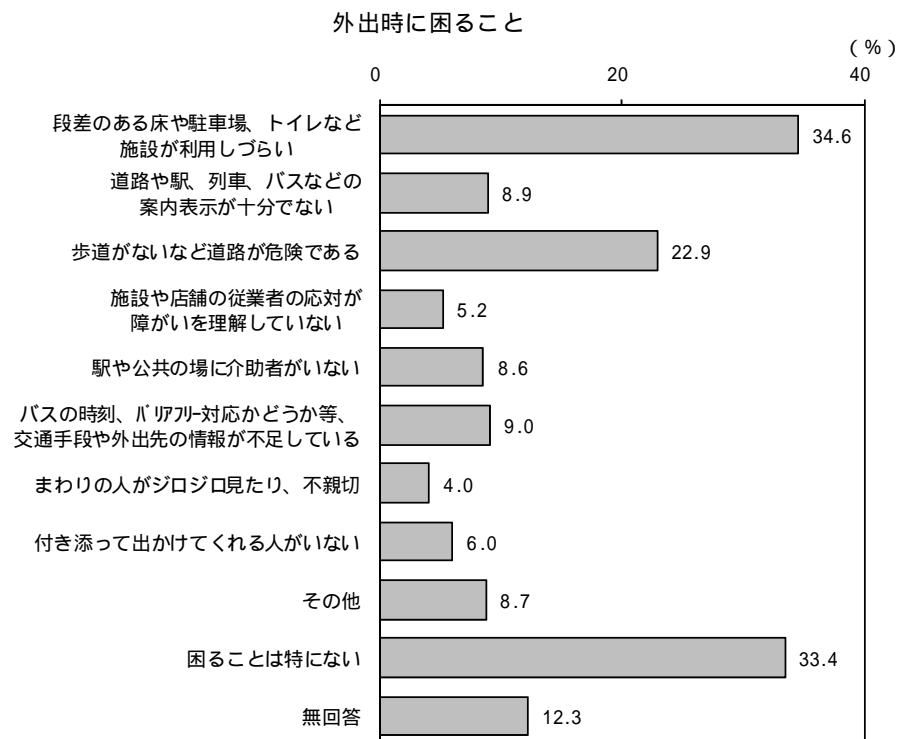


(2) 外出時に困ること

問 2 3 あなたが外出する時、困ることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも をつけて
ください。

全体数=619

最も多かったのは「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」34.6 %、次いで「歩道がないなど道路が危険である」22.9 %、「バスの時刻、バリアフリー対応かどうか等、交通手段や外出先の情報が不足している」9.0 %の順でした。なお、「困ることは特にない」は33.4 %となっています。



障がいの部位別の傾向で、全体の回答から±10ポイント以上の差があった部位のみを抜粋したのが下表です。網のついた数字が全体の回答から±10ポイント以上の差があったもので、視覚、下肢、四肢、体幹で「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」が多いなど、傾向が細かに異なっています。

単位：%

	段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい	道路や駅、列車、バスなどの案内表示が十分でない	歩道がないなど道路が危険である	施設や店舗の従業者の対応が障害を理解していない	駅や公共の場に介助者がいない	バスの時刻、バリアフリー対応かどうか等、交通手段や外出先の情報が不足している	まわりの人がジロジロ見たり、不親切	付き添って出かけてくれる人がいない	その他	困ることは特にない
全体 <n=619>	34.6	8.9	22.9	5.2	8.6	9.0	4.0	6.0	8.7	33.4
視覚 <n=37>	51.4	29.7	37.8	5.4	13.5	13.5	0.0	5.4	8.1	18.9
聴覚・平衡 <n=26>	30.8	0.0	26.9	15.4	7.7	7.7	3.8	0.0	19.2	34.6
音声・言語そしゃく <n=16>	37.5	18.8	31.3	12.5	31.3	18.8	18.8	12.5	0.0	18.8
両上肢 <n=37>	35.1	5.4	18.9	8.1	8.1	13.5	8.1	16.2	18.9	24.3
片下肢 <n=107>	45.8	10.3	24.3	6.5	13.1	13.1	4.7	8.4	7.5	24.3
両下肢 <n=97>	54.6	10.3	28.9	7.2	12.4	13.4	6.2	10.3	17.5	16.5
免疫機能 <n=7>	42.9	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
片上下肢 <n=36>	52.8	16.7	27.8	13.9	11.1	19.4	5.6	5.6	5.6	25.0
四肢（上下肢） <n=36>	47.2	8.3	47.2	8.3	22.2	16.7	5.6	13.9	8.3	13.9
体幹 <n=32>	62.5	15.6	40.6	3.1	15.6	18.8	9.4	12.5	12.5	9.4

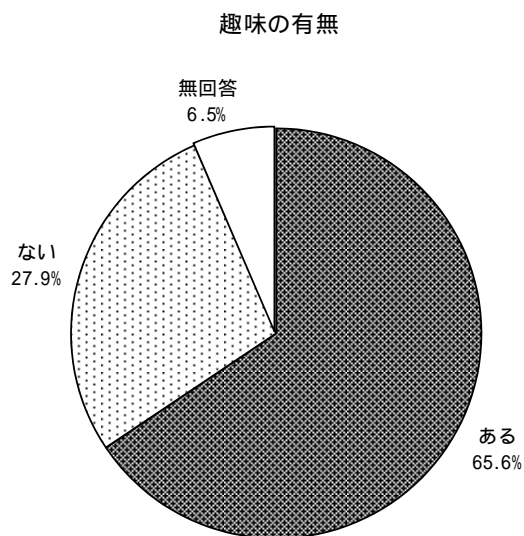
6 余暇・地域活動

(1) 趣味の有無

問24 あなたに趣味あるいは楽しみにしていることはありますか。

全体数=619

「ある」65.6 %、「ない」27.9 %でした。

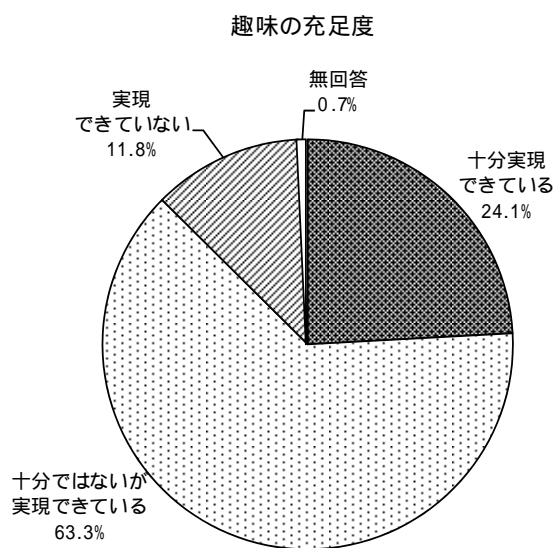


(2) 趣味の充足度

問 2 5 前の問 2 4 で「 1 . ある」と答えた方だけおたずねします。その趣味や楽しみは実現できていますか。当てはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

全体数=406 (該当なし 213 件のぞく)

最も多かったのは、「十分ではないが実現できている」63.3 %、次いで「十分実現できている」24.1 %、「実現できていない」11.8 %の順でした。

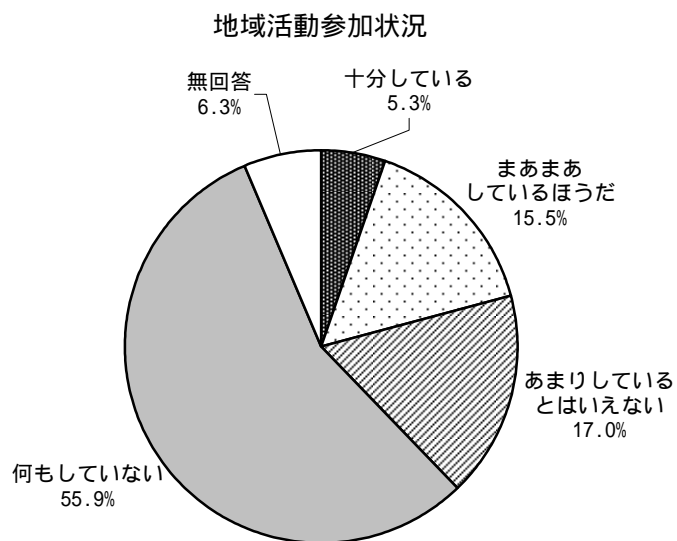


(3) 地域活動参加状況

問 2 6 あなたは地域活動（自治会、子供会の行事や役員など）へ参加していますか。当てはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

全体数=619

「十分している」5.3 %、「まあまあしているほうだ」15.5 %、「あまりしているとはいえない」17.0 %、「何もしていない」55.9 %でした。

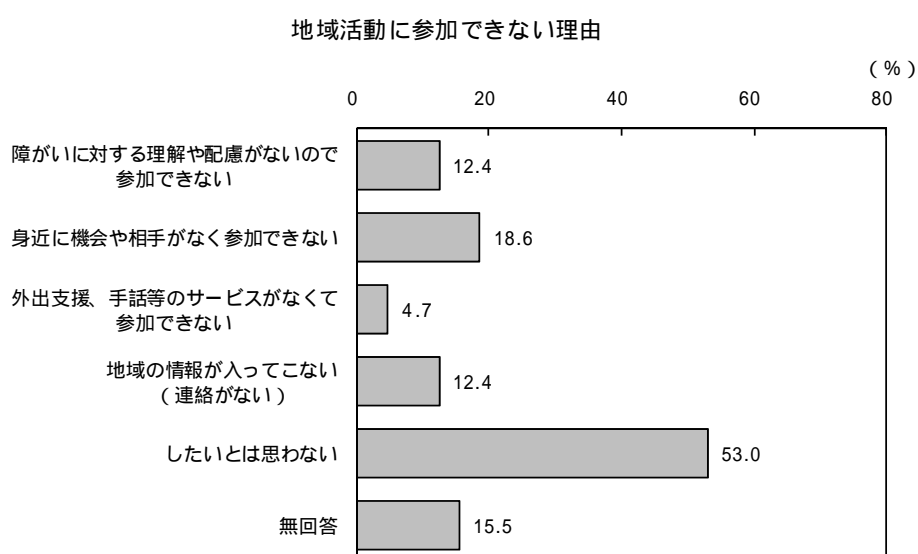


(4) 地域活動に参加できない理由

問27 前の問26で「3 あまりしているとはいえない」「4 何もしていない」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=451 (該当なし168件をのぞく)

最も多かったのは、「したいとは思わない」53.0%、次いで「身近に機会や相手がなく参加できない」18.6%、「障がいに対する理解や配慮がないので参加できない」と「地域の情報が入ってこない(連絡がない)」がともに12.4%の順でした。



7 サービス利用

(1) 自立支援給付サービスの利用状況と満足度

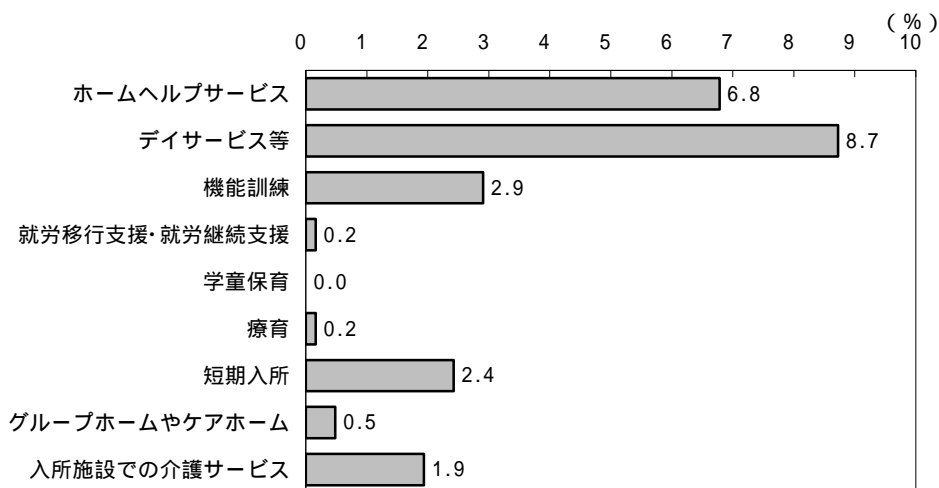
ここから問 34 までは、今何らかの福祉サービスを利用している方だけがお答え下さい。

問 28-1 次の表の中で、利用している介護サービスに をつけてください。

全体数=619

アンケートの回答者全体数(619人)のうち各サービス利用者は、「ホームヘルプサービス」6.8%、「デイサービス等」8.7%、「機能訓練」2.9%、「短期入所」2.4%、「入所施設での介護サービス」1.9%などとなっています。

自立支援給付サービスの利用状況

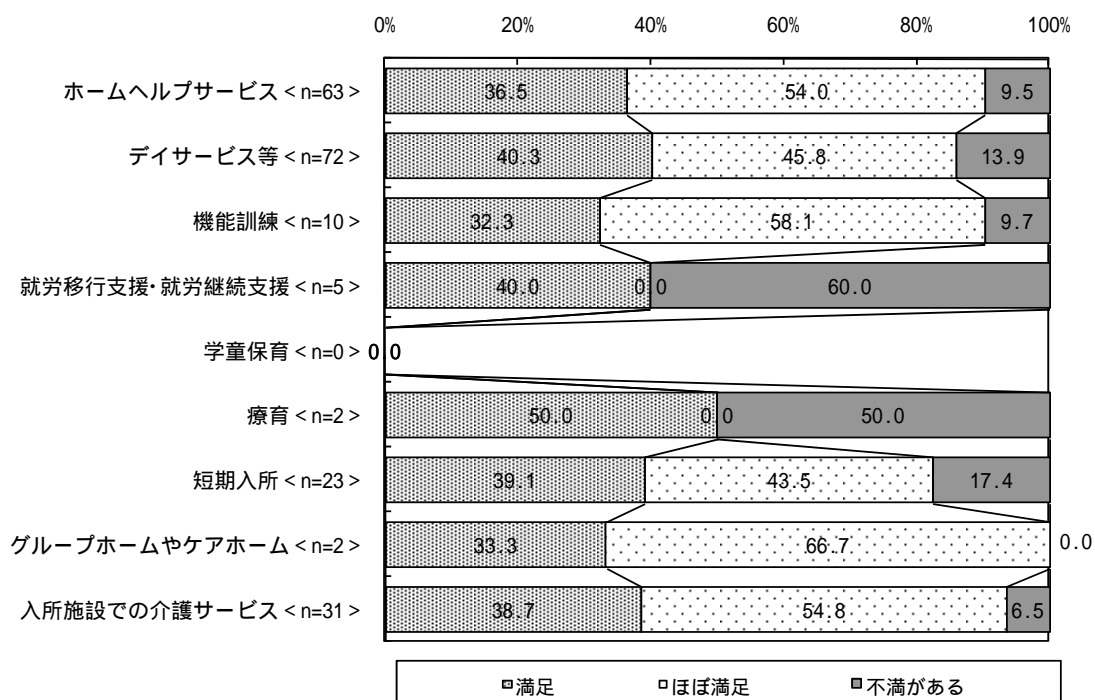


問28-2 をつけたサービスの満足度などを表の中の質問にしたがってお答えください。

各サービスの満足度については、「満足」がいずれのサービスも30～40%で、「ほぼ満足」と合わせてほとどのサービスも90%が満足と評価していますが、短期入所は「不満がある」が17.4%とやや不満が高くなっています。なお、下のグラフに示す通り、回答者数がきわめて少ないサービスもありました。

本質問は、前問で「利用している」を選んだ回答者に限らず各サービスの満足度の回答者全員を全数(=100%)として集計した。

自立支援給付サービスの満足度



問28-3 不満がある方は、その不満の番号をいくつでも選んで をつけてください。

各サービスの不満の内容については、回答者が2～13人でした。結果は下表の通りで、デイサービスの「内容が不満」が13人中5人となっています。

単位：人

	各サービス 回答者合計	内容が不満	時間や日数 が足りない	職員の対応 が不満	その他
ホームヘルプサービス	8	3	4	1	1
デイサービス等	13	5	0	4	4
機能訓練	7	2	3	0	2
就労移行支援・就労継続支援	5	1	0	2	3
学童保育	2	0	0	0	2
療育	3	1	0	1	2
短期入所	8	3	3	0	2
グループホームやケアホーム	2	0	0	0	2
入所施設での介護サービス	2	0	0	1	1

複数回答(いくつでも)

(2) 自立支援給付サービスの不満と感ずる内容

問29 ~ で特に不満と感ずる内容を ~ の番号とともに3つまでお書きください。

下表の通り、合計28の記述意見を得ました。

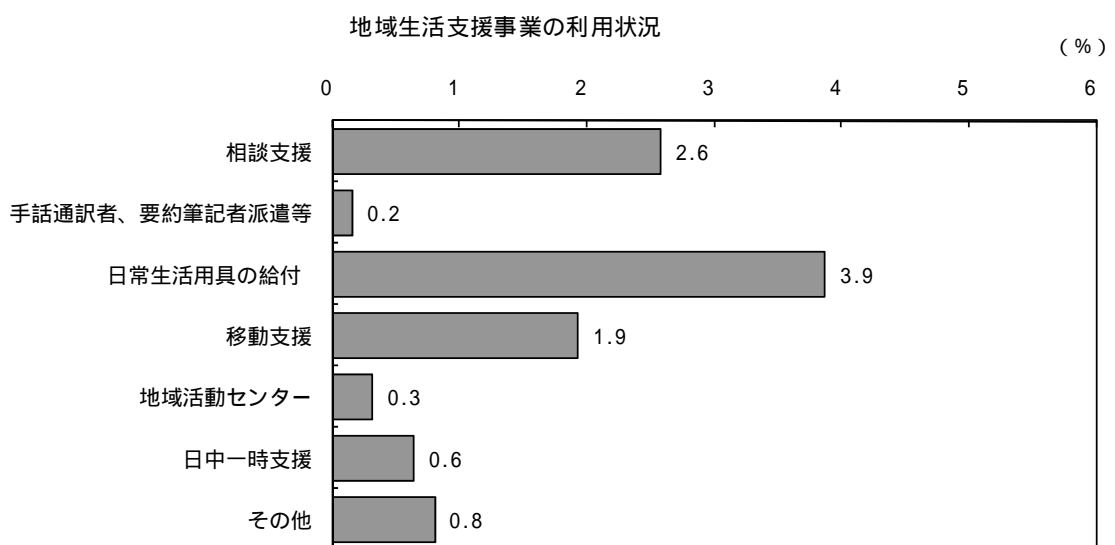
ホームヘルプサービス	1) これをしてほしいと言っても、介護保険ではそれは出来ないとか、してはいけない、の言葉が多い。2) 時間が今まで2時間使えたのに、1時間半と短くなった。
	介護サービス、ヘルパーさん、単車で来る人と自転車で来る人がいます。自転車で来る人は買物等に時間がかかります。
	雑。
	時間1時間では買物に行ってもらいと終わり。
デイサービス等	お風呂の温度が低い(ストマーをつけているため個浴なので)。
	デイケアなのにリハビリは出来ないと言われている。「それでも良ければ」で通所しているので文句は言えないが納得できない(人員不足のため)。
	マンネリ化。
	リハビリが出来ない。理学療法士がいない。
	職員の対応・サービスが悪い。
	送迎の職員の態度が悪い。
	退屈である。
	働いている方も大変そうなので不満の内容を書いても仕方がない。
歩行が困難なので電動車をエレベーター近くに止めたい。	
機能訓練	マンネリ化
	リハビリの日数を増やしてほしいが、家族にも限界あり。
	日数が足りない。
	不満な対応がありましたが、主に指導員によるが多かった。
就労移行支援・就労継続支援	しっかりと指導しない。作業賃金が少ない。
	孤独。
	内容がもうひとつわからない。
療育	療育(保育)を行う先生の数で足りず満足いく療育を受けられない。
短期入所	お風呂の温度が低い(ストマーをつけているため個浴なので)
	こちらの希望する日に利用させてもらえない。ショートの意味がわかりません。
	リハビリが充分でない。
	リハビリが出来ない。理学療法士がいない。
	不満な対応がありましたが、主に指導員によるが多かった。
番号回答なし	リハビリに行くまでの段階で運動筋力アップトレーニング等の運動教室があればいいと思う。
	緊急時にショートステイを受け入れ希望します。

(3) 地域生活支援事業の利用状況と満足度

問 30 次の表の中で、利用している地域生活支援事業のサービスに をつけ、 をつけたサービスの満足度を表の中の質問にしたがってお答えください。

全体数=619

アンケートの回答者全体数(619人)のうち各サービス利用者は、「日常生活用具の給付」3.9%、「相談支援」2.6%などとなっています。

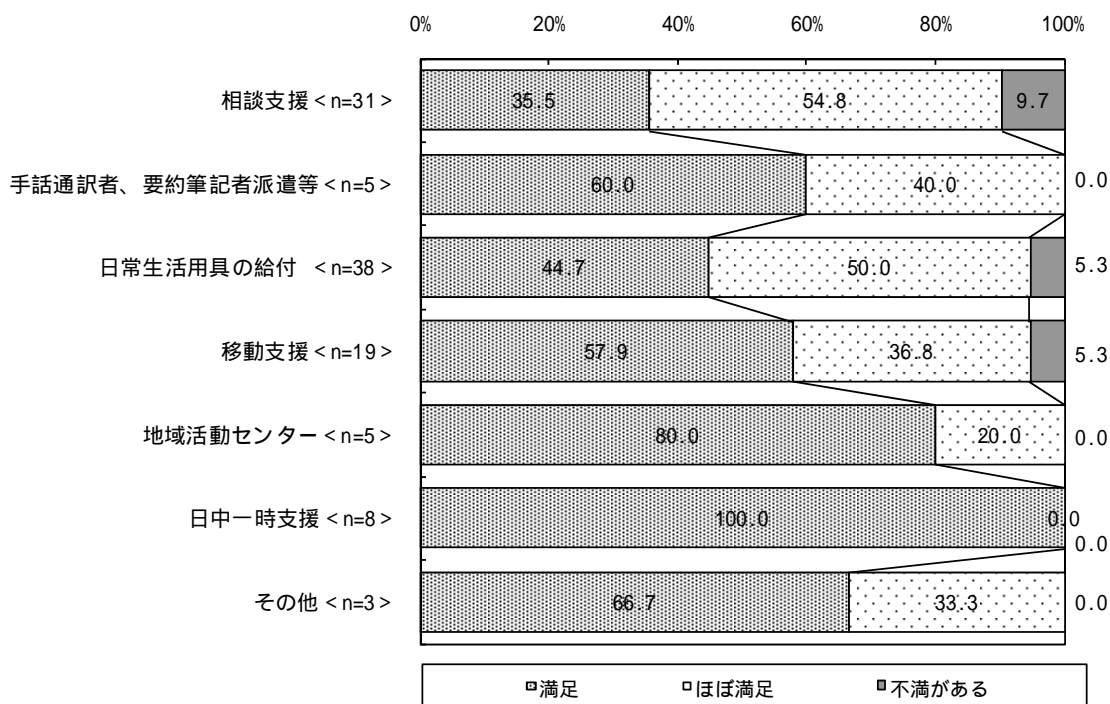


その他の記述内容はいずれも地域生活支援事業ではなかった(デイサービス、トイレ、施設(老健)入所中、入所施設、病院)

各サービスの満足度については、「満足」がいずれのサービスも30～100%で、「ほぼ満足」と合わせてどのサービスも90%が満足と評価しています。相談支援は「不満がある」が9.7%とやや不満が高くなっています。なお、下のグラフに示す通り、回答者数がきわめて少ないサービスもありました。

本質問は、前問で「利用している」を選んだ回答者に限らず各サービスの満足度の回答者全員を全数(=100%)として集計した。

地域生活支援事業の満足度



各サービスの不満の内容については、回答者が1～4人でした。結果は下表の通りです。

単位：人

	各サービス 回答者合計	内容が不満	時間や日数 が足りない	職員の対応 が不満	その他
相談支援	1	0	0	0	1
手話通訳者、要約筆記者派遣等	1	0	0	0	1
日常生活用具の給付	4	2	0	0	2
移動支援	1	0	0	0	1
地域活動センター	1	0	0	0	1
日中一時支援	1	0	0	0	1
その他	4	0	0	1	3

複数回答（いくつでも）

(4) 地域生活支援事業の不満と感ずる内容

問 31 ~ で特に不満と感ずる内容を ~ の番号とともに 3 つまでお書きください。

下表の通り、合計 6 の記述意見を得ました。

相談支援	障がいの内容に対応不可能な施設を紹介されて、入所申し込みの段階で断られました。
	本人の希望が十分に伝わっていない。
	働いている方も大変そうなので不満の内容を書いても仕方がない。
日常生活用具の給付	ストマーの用具代が不足するので、十分な額が欲しい。
移動支援	サービスを受けたいが事業内容を見聞きしたことがないためもっと教えてほしい。
地域活動センター	サービスを受けたいが事業内容を見聞きしたことがないためもっと教えてほしい。

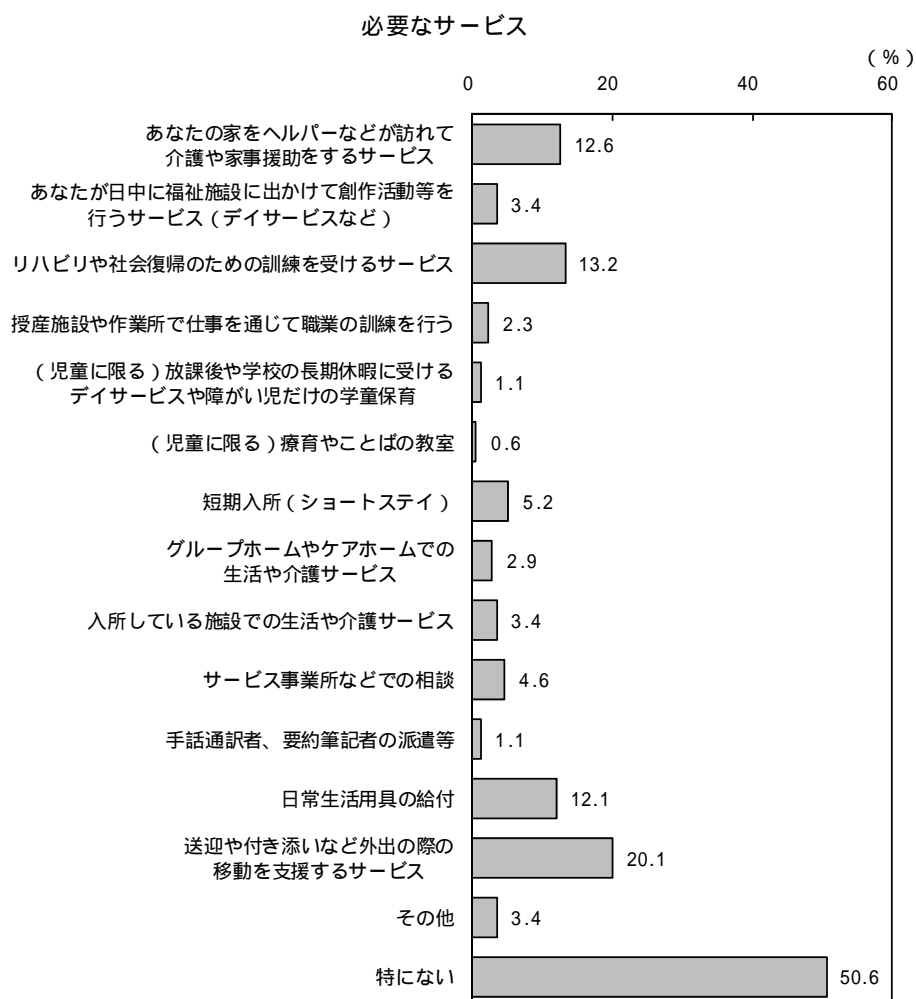
「 その他-1」「 その他-2」は記述内容が地域生活支援事業についてではなかった。

(5) 今受けている以外の必要なサービス

問 32 今受けているサービス以外に必要なサービスはありますか。当てはまる番号にいくつでもつけてください。

全体数=174 無回答 445 件をのぞく)

最も多かったのは「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」20.1%、次いで「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」13.2%、「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助をするサービス」12.6%、「日常生活用具の給付」12.1%の順でした。なお、「特にない」が50.6%でした。

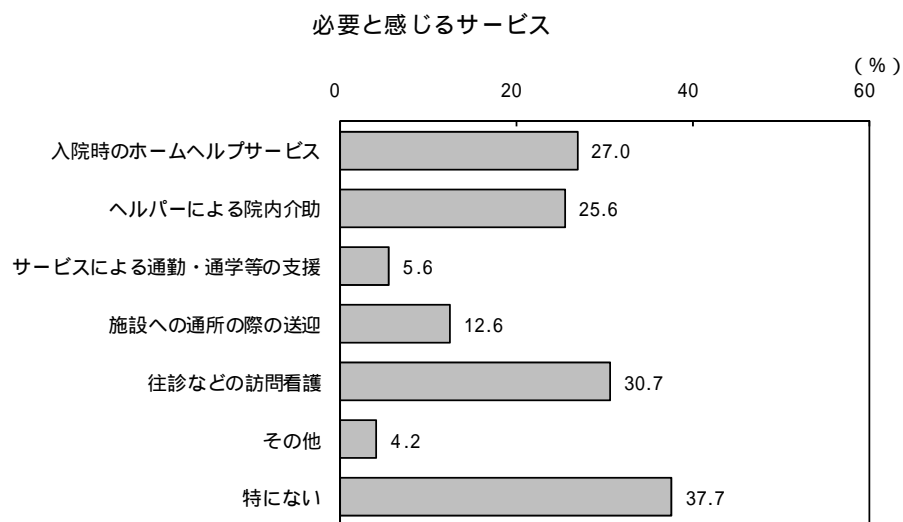


(6) 現在未実施であるが必要と感じるサービス

問 33 今のところ城陽市では実施されていませんが、必要と感じる支援はありますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=215 (無回答 404 件をのぞく)

最も多かったのは「往診などの訪問看護」30.7%、次いで「入院時のホームヘルプサービス」27.0%、「ヘルパーによる院内介助」25.6%の順でした。

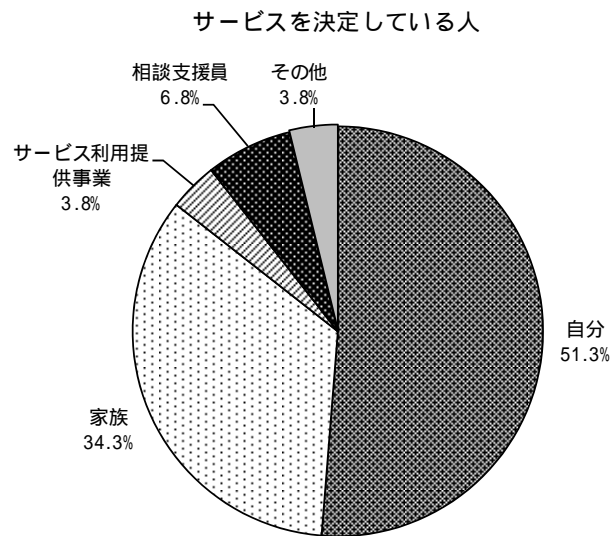


(7) サービスを決定している人

問 34 福祉サービス等の利用にあたり、利用する施設やサービス内容について誰が決めていますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=9 (該当なし 610 件をのぞく)

最も多かったのは「自分」51.3%、次いで「家族」34.3%、「相談支援員」6.8%の順でした。



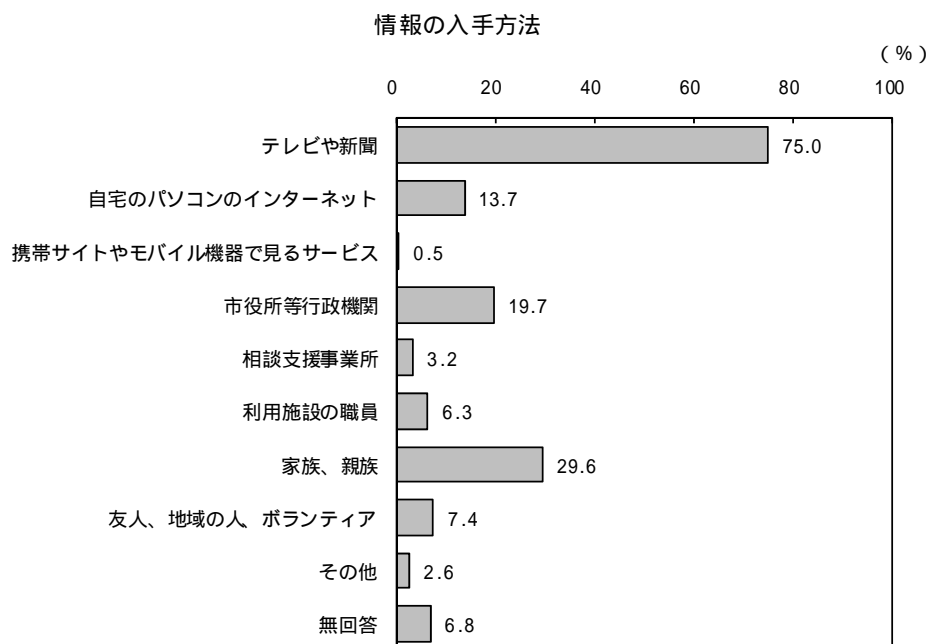
8 情報提供

(1) 情報の入手方法

問 35 あなたは生活に必要な情報を主に何から得ていますか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「テレビや新聞」75.0%、次いで「家族、親族」29.6%、「市役所等行政機関」19.7%、「自宅のパソコンのインターネット」13.7%、「友人、地域の人、ボランティア」7.4%の順でした。

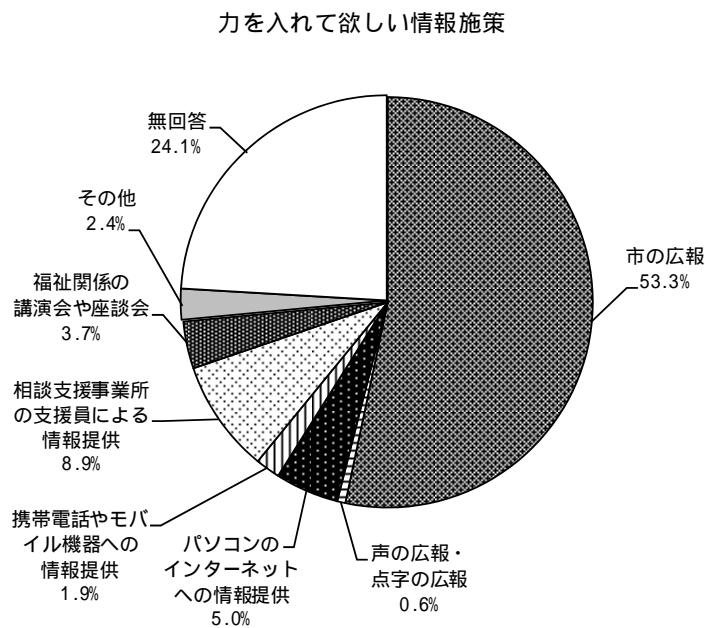


(2) 充実すべき情報発信方法

問 36 市からの情報発信として、もっとも力を入れてほしいことは何ですか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「市の広報」53.3%、次いで「無回答」24.1%、「相談支援事業所の支援員による情報提供」8.9%、「パソコンのインターネットへの情報提供」5.0%、「福祉関係の講演会や座談会」3.7%の順でした。



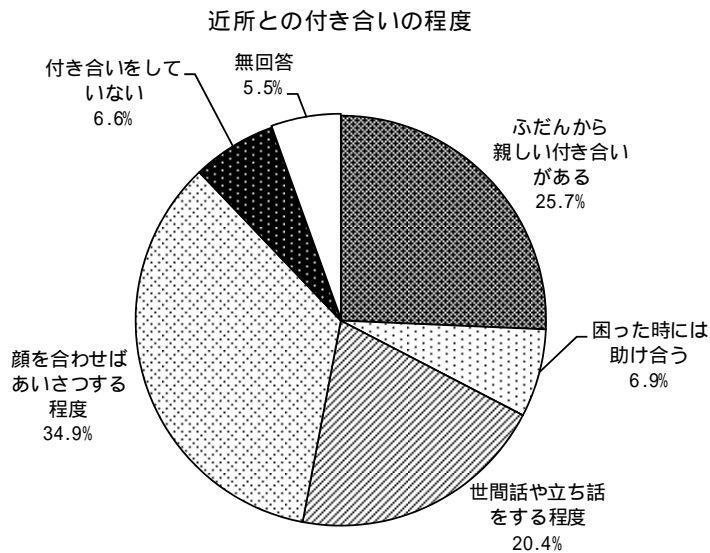
9 生活支援

(1) 近所との付き合いの程度

問37 あなたは、隣近所の方とどの程度お付き合いをしていますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「顔を合わせばあいさつする程度」34.9%、次いで「ふだんから親しい付き合いがある」25.7%、「世間話や立ち話をする程度」20.4%、「困った時には助け合う」6.9%、「付き合いをしていない」6.6%の順でした。

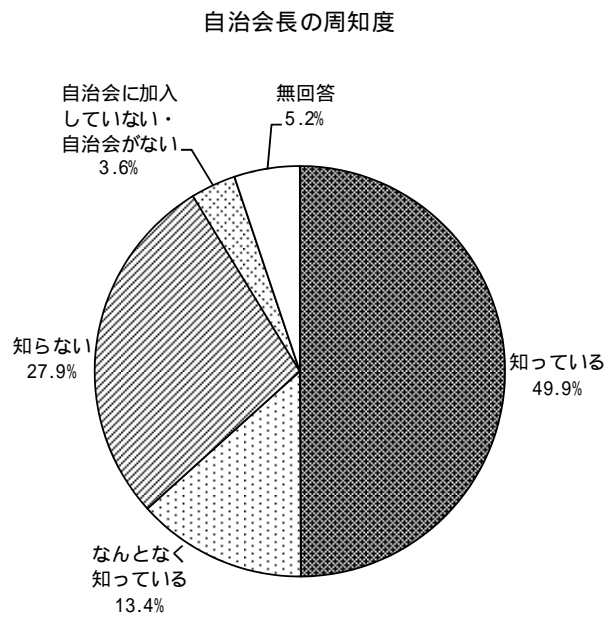


(2) 自治会長、民生・児童委員の周知度

問38-1 あなたは、あなたの地域の自治会長を知っていますか。当てはまる番号にそれぞれ1つずつをつけてください。

全体数=619

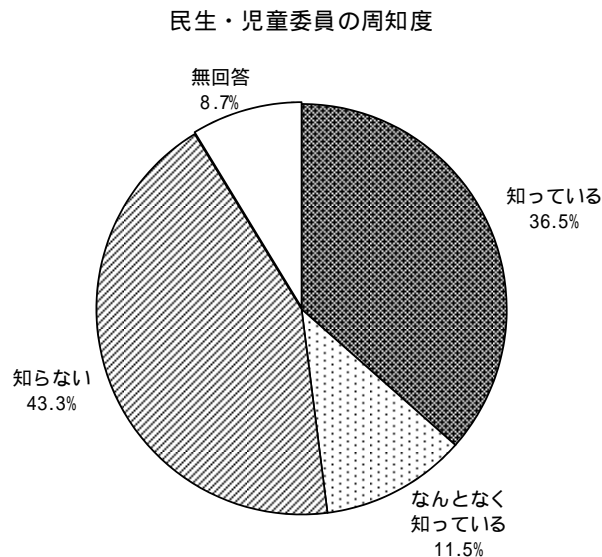
「知っている」49.9%、「なんとなく知っている」13.4%、「知らない」27.9%、「自治会に加入していない・自治会がない」3.6%、でした。



問38-2 あなたは、あなたの地域の民生・児童委員を知っていますか。当てはまる番号にそれぞれ1つずつをつけてください。

全体数=619

「知っている」36.5%、「知らない」43.3%でした。

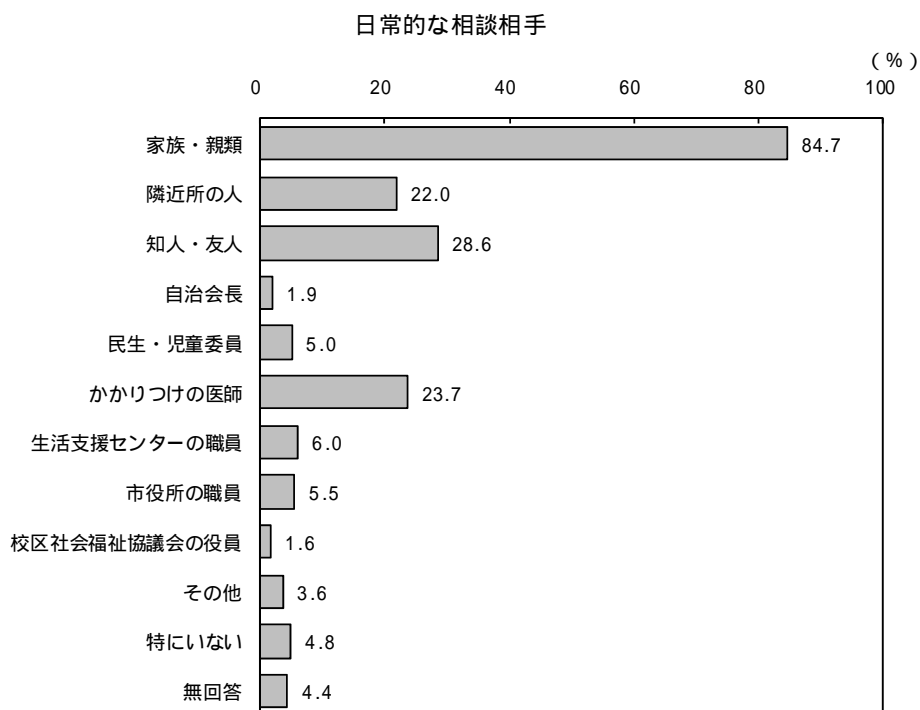


(3) 日常的な相談相手

問 3 9 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような方ですか。
 当てはまる番号にいくつでも をつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「家族・親類」84.7 %、次いで「知人・友人」28.6 %、「かかりつけの医師」23.7 %、「隣近所の人」22.0 %、「生活支援センターの職員」6.0 %の順でした。

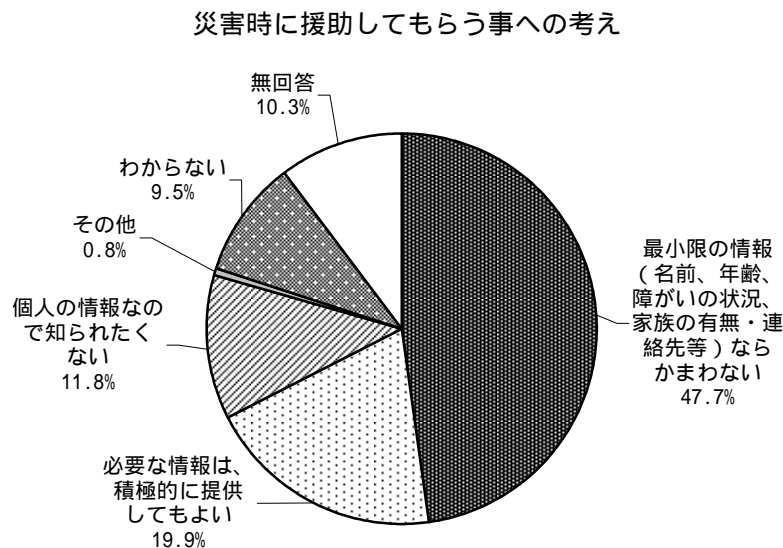


(4) 災害時に援助してもらおう事への考え

問 40 地域での日常の見守りを行うには、民生・児童委員以外に自治会や校区社協などがあなたの個人情報把握しておく必要があると思われませんが、このことについてはどのように思いますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「最小限の情報（名前、年齢、障がいの状況、家族の有無・連絡先等）ならかまわない」47.7%、次いで「必要な情報は、積極的に提供してもよい」19.9%、「個人の情報なので知られたくない」11.8%、「わからない」9.5%の順でした。



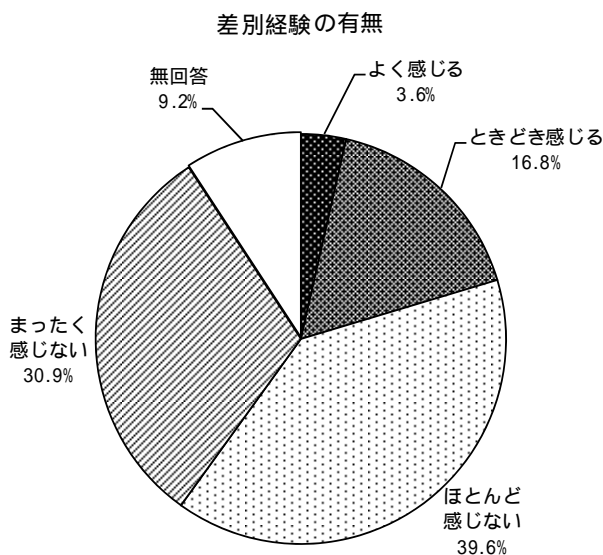
10 城陽市の福祉環境

(1) 差別経験の有無

問 41 日常生活において、障がいがあるために差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。
当てはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「ほとんど感じない」39.6 %、次いで「まったく感じない」30.9 %、「ときどき感じる」16.8 %、「よく感じる」3.6 %の順でした。

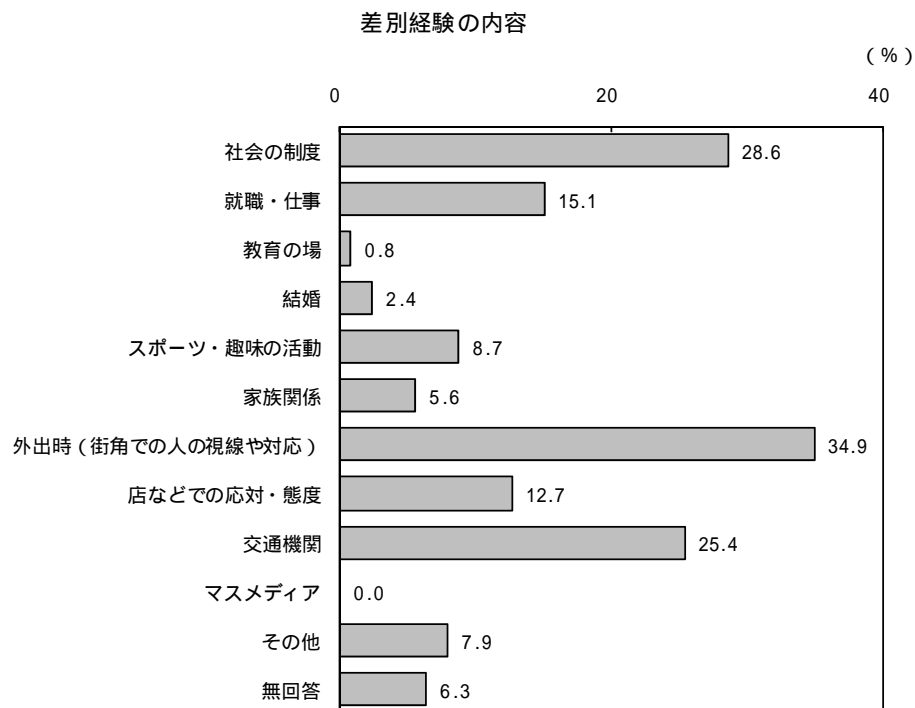


(2) 差別経験の内容

問 42 前の問 41 で「1.よく感じる」「2.ときどき感じる」と回答した方におたずねします。どんなときにそれを感じますか。特に当てはまる番号に 2 つまで をつけてください。

全体数=126 (該当なし 493 件のぞく)

最も多かったのは、「外出時(街角での人の視線や対応)」34.9 %、次いで「社会の制度」28.6 %、「交通機関」25.4 %、「就職・仕事」15.1 %、「店などでの対応・態度」12.7 %の順でした。

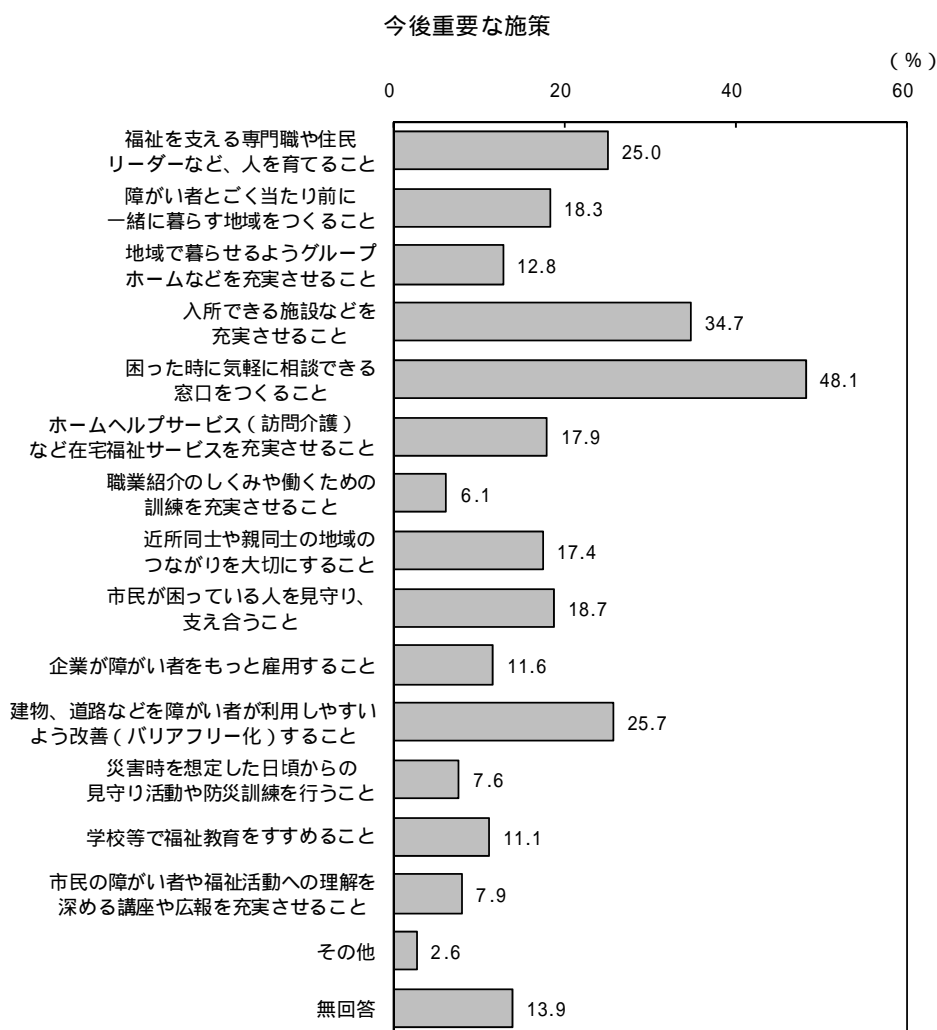


(3) 今後重要な施策

問 43 城陽市で、障がい者が生活を送る上で重要と思われることは何ですか。特に当てはまる番号に4つまでをつけてください。

全体数=619

最も多かったのは、「困った時に気軽に相談できる窓口をつくること」48.1%、次いで「入所できる施設などを充実させること」34.7%、「建物、道路などを障がい者が利用しやすいよう改善（バリアフリー化）すること」25.7%、「福祉を支える専門職や住民リーダーなど、人を育てること」25.0%、「市民が困っている人を見守り、支え合うこと」18.7%の順でした。



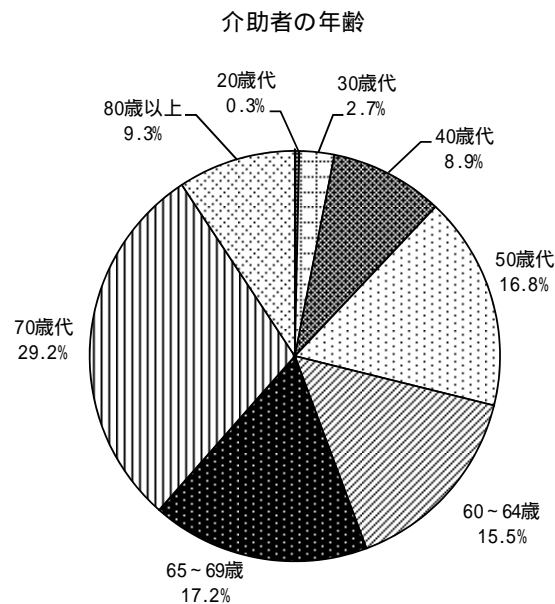
11 介助者

(1) 介助者の年齢

問44 主な介助者の方の年齢はいくつですか。

全体数=291 (無回答者のぞく)

最も多かったのは、「70歳代」29.2%、次いで「65～69歳」17.2%、「50歳代」16.8%、「60～64歳」15.5%、「80歳以上」9.3%の順でした。



(2) 介助者の療育等での困りごと

問45 障がい児の保護者の方におたずねします。お子さんの療育及び保育で困っている事はなんですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=11 (無回答者のぞく)

回答者は11人に留まりました。最も多かったのは、「療育施設に空きがなく通えない」、「小学生以上でも通える療育施設がない」、「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」で、ともに3人でした。

単位:人

療育施設に 空きがなく 通えない	小学生以上 でも通える 療育施設が ない	就学前に通 える保育施 設がない	放課後や夏 休みの学童 保育施設が ない	子どもの発 達や障がい について気 軽に相談で きる窓口が ない	その他
3	3	1	1	3	2

「その他」の内容

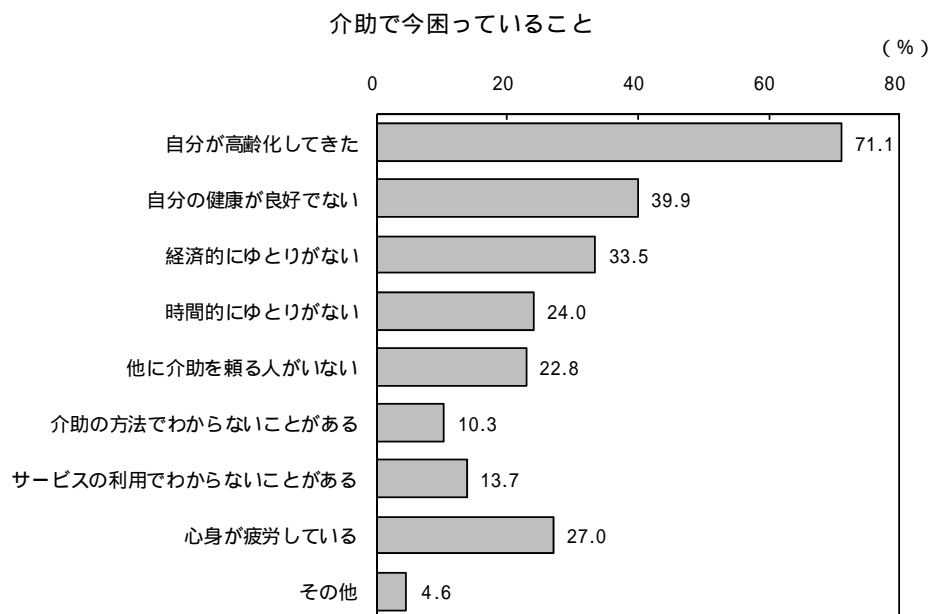
- ・共働きのため、土日に療育に行きたいが、たいてい休みなので困っている
- ・入院中

(3) 介助者の介護での困りごと

問46 主な介助者の方におたずねします。今困っていることは何ですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=269 (無回答者のぞく)

最も多かったのは、「自分が高齢化してきた」71.1%、次いで「自分の健康が良好でない」39.9%、「経済的にゆとりがない」33.5%、「心身が疲労している」27.0%、「時間的にゆとりがない」24.0%の順となっています。

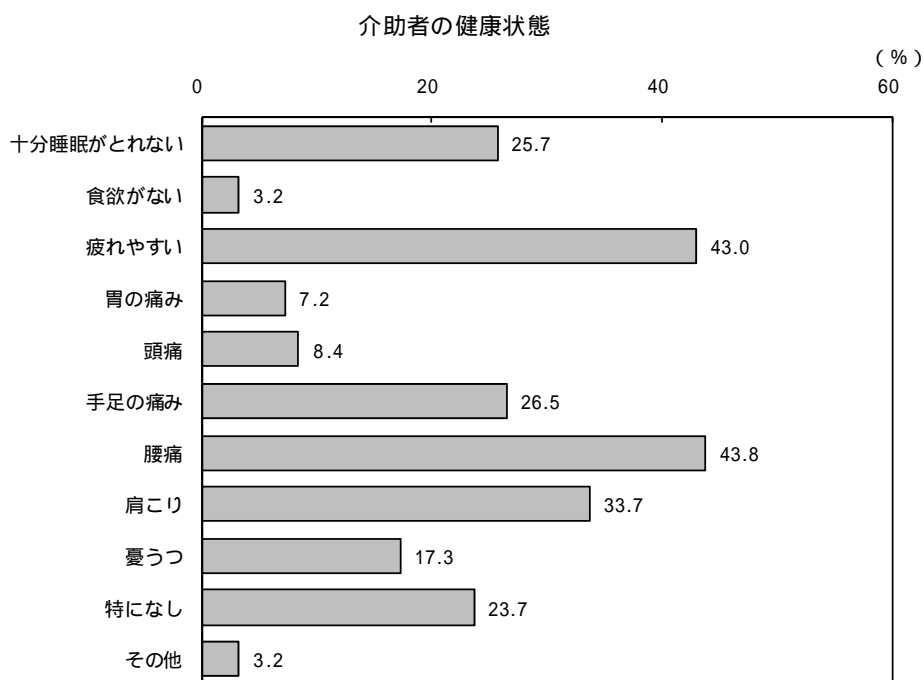


(4) 介助者の健康状態

問47 主な介助者の方にお聞きします。あなた（介助者）が日常的に感じる不調について、当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=249（無回答者のぞく）

最も多かったのは、「腰痛」43.8%、次いで「疲れやすい」43.0%、「肩こり」33.7%、「手足の痛み」26.5%、「十分睡眠がとれない」25.7%の順でした。

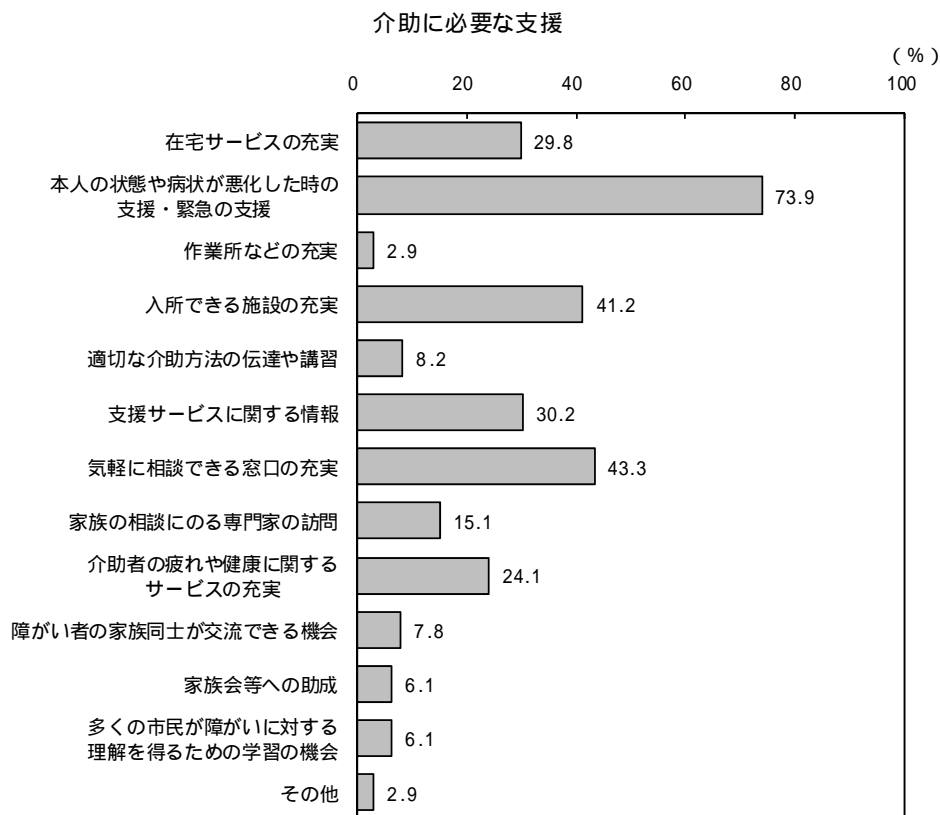


(5) 介助者に必要な支援

問48 介助者にとってどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=245 (無回答者のぞく)

最も多かったのは「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」73.9%、次いで「気軽に相談できる窓口の充実」43.3%、「入所できる施設の充実」41.2%、「支援サービスに関する情報」30.2%、「在宅サービスの充実」29.8%の順でした。



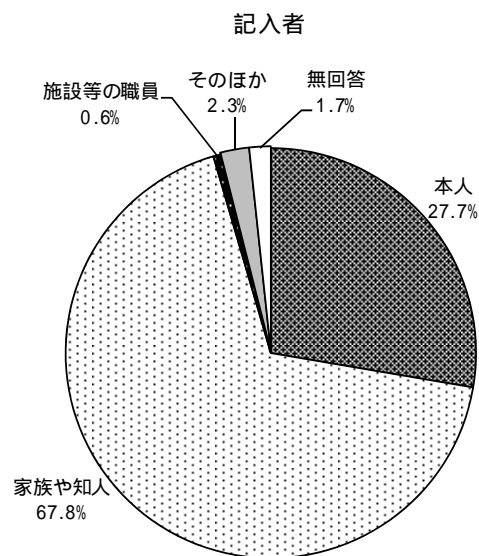
療育手帳実態調査結果

1 基本的事項

(1) 回答者

問1 このアンケートにお答えいただいている方はどなたですか。

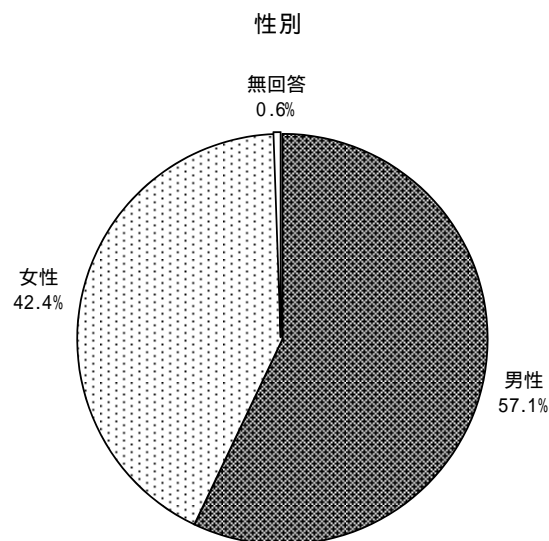
全体数=177



(2) 性別

問2 あなたの性別は。

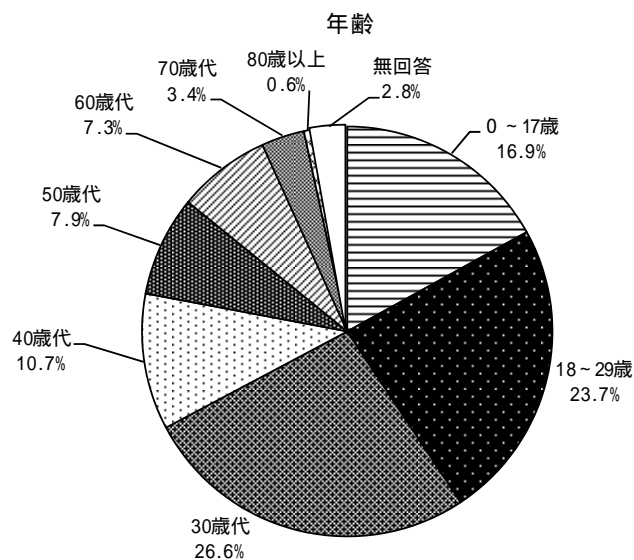
全体数=177



(3) 年齢

問3 あなたの年齢は。

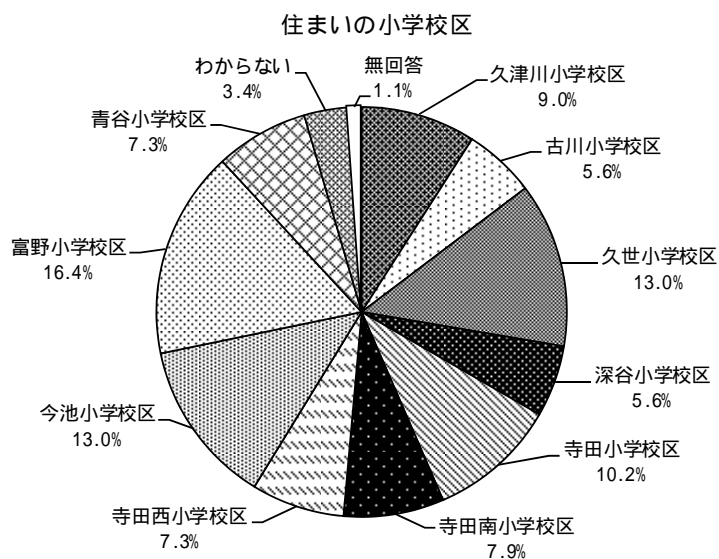
全体数=177



(4) 小学校区

問4 あなたのお住まいの小学校区は次のうちどれですか。

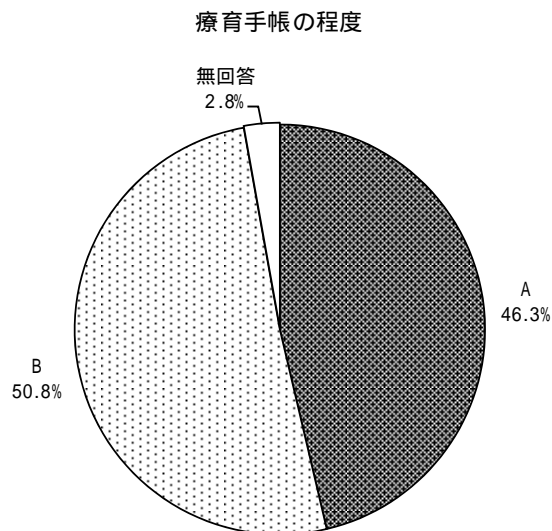
全体数=177



(5) 手帳級数

問5 療育手帳で、あなたの障がいの程度はどれですか。

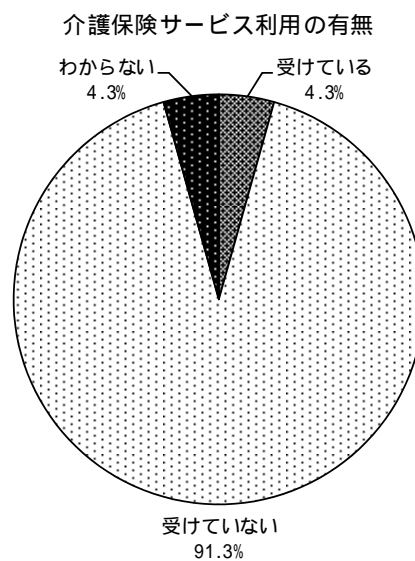
全体数=177



(6) 介護保険サービス利用の有無

問6 主に65歳以上の方におたずねします。介護保険サービスを受けていますか。

全体数=23 (無回答者のぞく)



2 生活の状況

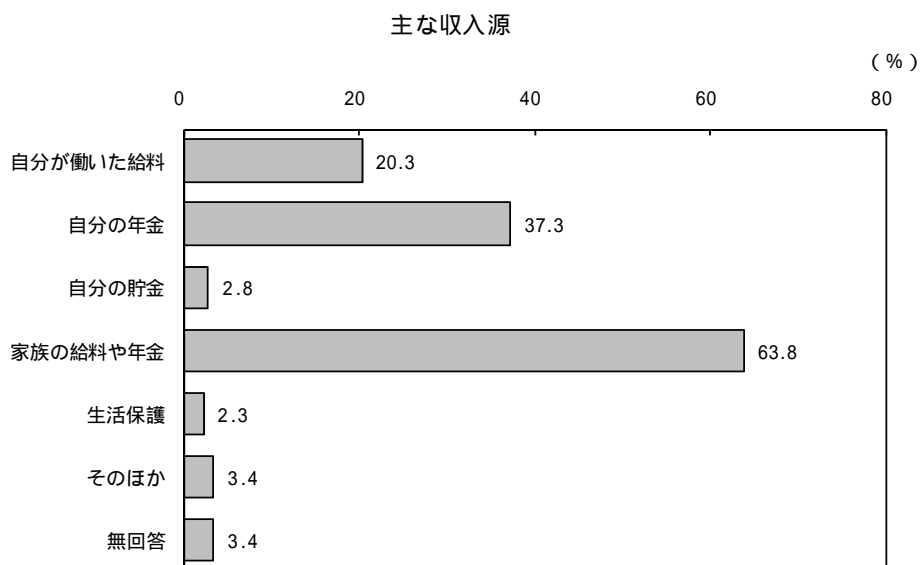
(1) 収入源

問7 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。当てはまる番号に2つまで をつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「家族の給料や年金」63.8 %、次いで「自分の年金」37.3 %、「自分が働いた給料」20.3 %、「そのほか」3.4 %の順でした。

手帳の等級別では、「自分が働いた給料」はBが34.4%に対し、Aは4.9%でした。



単位：%

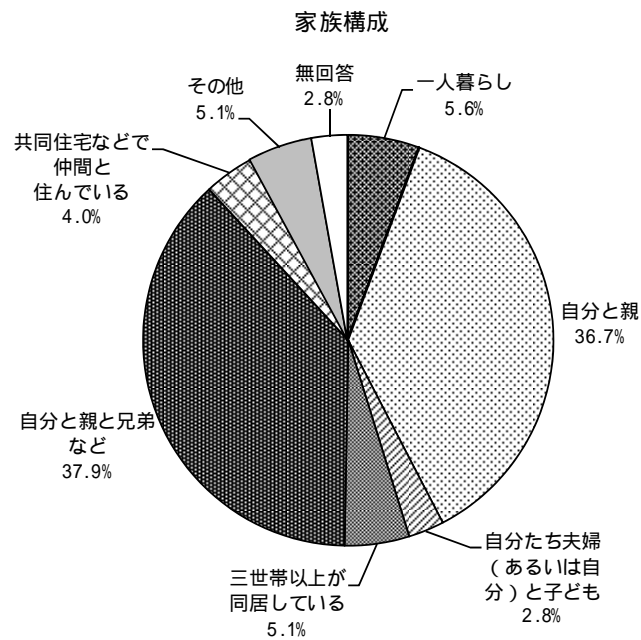
	自分が働いた給料	自分の年金	自分の貯金	家族の給料や年金	生活保護	そのほか	無回答
全体	20.3	37.3	2.8	63.8	2.3	3.4	3.4
A	4.9	48.8	0.0	72.0	0.0	1.2	1.2
B	34.4	27.8	5.6	56.7	4.4	5.6	4.4
無回答	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0

(2) 家族構成

問8 あなたの家族構成で当てはまる番号に1つだけ をつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「自分と親と兄弟など」37.9%、次いで「自分と親」36.7%、「一人暮らし」5.6%、「三世帯以上が同居している」5.1%、「その他」5.1%の順でした。

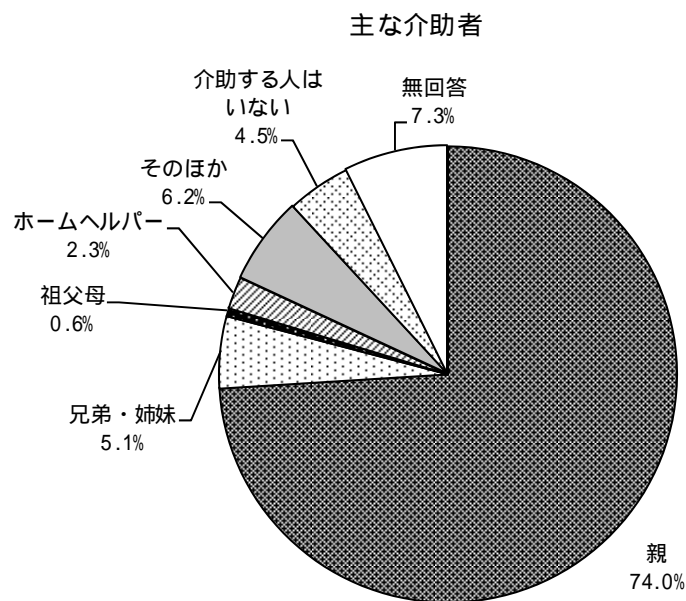


(3) 主な介助者

問9 あなたの主な介助者は誰ですか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「親」74.0%、次いで「無回答」7.3%、「そのほか」6.2%、「兄弟・姉妹」5.1%、「介助する人はいない」4.5%の順でした。

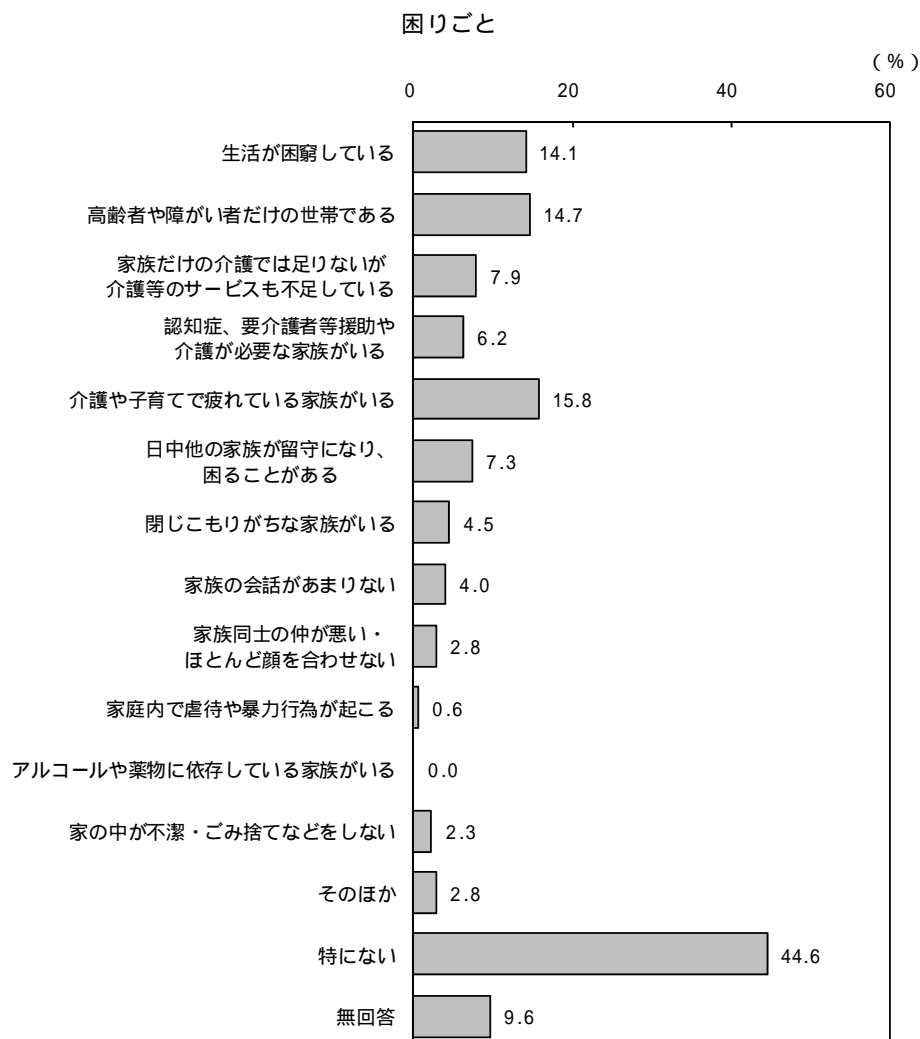


(4) 困っていること

問10 あなたの家庭やあなた以外の家族のことで困っていることはありますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「介護や子育てで疲れている家族がいる」15.8%、次いで「高齢者や障がい者だけの世帯である」14.7%、「生活が困窮している」14.1%の順でした。「特にない」は44.6%でした。



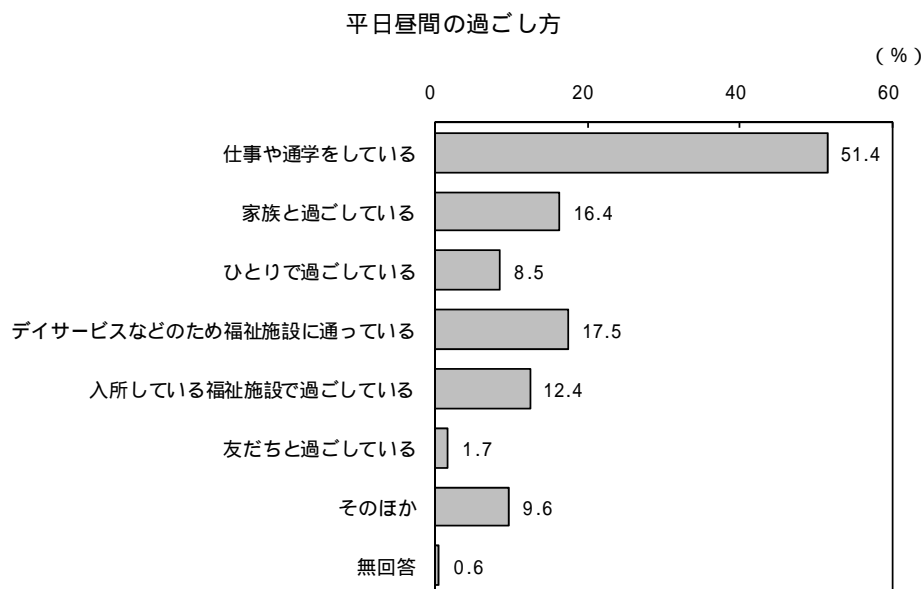
(5) 平日の居場所

問 11 あなたは平日の昼間、主にどのように過ごしていますか。当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「仕事や通学をしている」51.4%、次いで「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」17.5%、「家族と過ごしている」16.4%、「入所している福祉施設で過ごしている」12.4%の順でした。

手帳の等級別では、Bで「仕事や通学をしている」が高いのに対しAはこれらが低く、「デイサービスなどの福祉施設に通っている」が高くなっています。



単位：%

	仕事や通学 をしている	家族と過 ごしている	ひとりで過 ごしている	デイサービ スなどのた め福祉施設 に通ってい る	入所してい る福祉施設 で過ごして いる	友だちと過 ごしている	そのほか	無回答
全体 <n=177>	51.4	16.4	8.5	17.5	12.4	1.7	9.6	0.6
A <n=82>	36.6	17.1	3.7	28.0	22.0		7.3	
B <n=90>	65.6	15.6	13.3	7.8	3.3	3.3	12.2	1.1

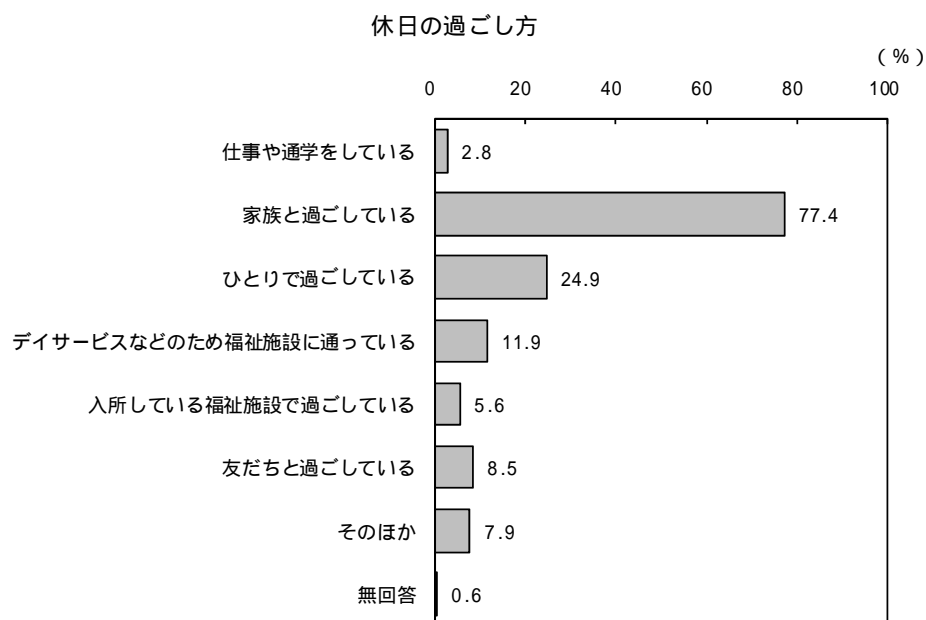
(6) 休日の居場所

問 12 あなたは休日、どのように過ごしていますか。当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「家族と過ごしている」77.4%、次いで「ひとりで過ごしている」24.9%、「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」11.9%、「友だちと過ごしている」8.5%、「そのほか」7.9%の順でした。

手帳の等級別では、Bで「ひとりで過ごしている」が高いのに対しAは低く、「家族と過ごしている」が高くなっています。



単位：%

	仕事や通学をしている	家族と過ごしている	ひとりで過ごしている	デイサービスなどのため福祉施設に通っている	入所している福祉施設で過ごしている	友だちと過ごしている	そのほか	無回答
全体 <n=177>	2.8	77.4	24.9	11.9	5.6	8.5	7.9	0.6
A <n=82>		93.9	11.0	19.5	8.5	2.4	7.3	
B <n=90>	5.6	64.4	38.9	4.4	2.2	14.4	7.8	1.1

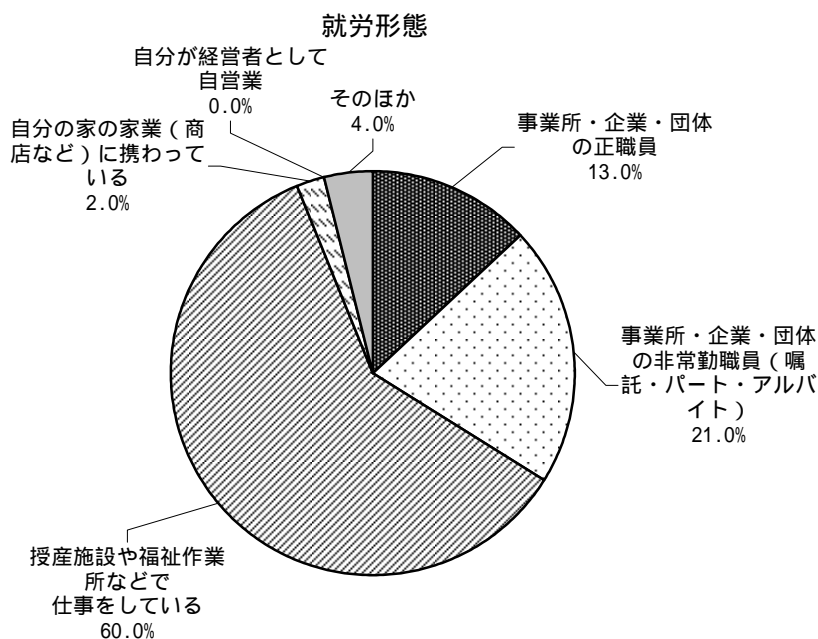
3 就労

(1) 就労形態

問 13 現在働いている方におたずねします。お仕事について当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=100 (無回答及び「働いていない」のぞく)

177人のうち100人(56.5%)が就労しており、最も多かったのは、「授産施設や福祉作業所などで仕事をしている」60.0%、次いで「事業所・企業・団体の非常勤職員(嘱託・パート・アルバイト)」21.0%、「事業所・企業・団体の正職員」13.0%の順でした。



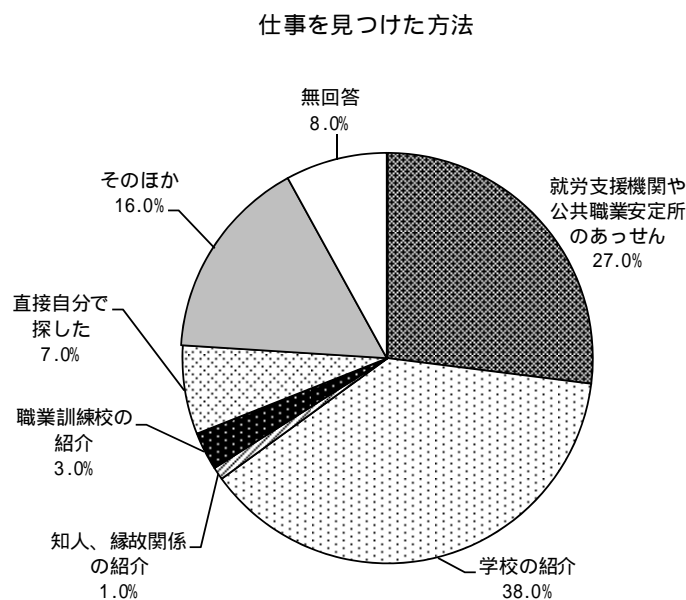
(2) 仕事を見つけた方法

問14 現在働いている方におたずねします。現在の仕事をどのようにして見つけましたか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=100（前問の無回答及び「働いていない」のぞく）

最も多かったのは、「学校の紹介」38.0%、次いで「就労支援機関や公共職業安定所のあつせん」27.0%、「そのほか」16.0%、「無回答」8.0%、「直接自分で探した」7.0%の順でした。

手帳の等級別では、「就労支援機関や公共職業安定所のあつせん」はBが39.2%であるのに対し、Aは13.0%で、Aは「学校の紹介」が43.5%と高くなっています。



単位：%

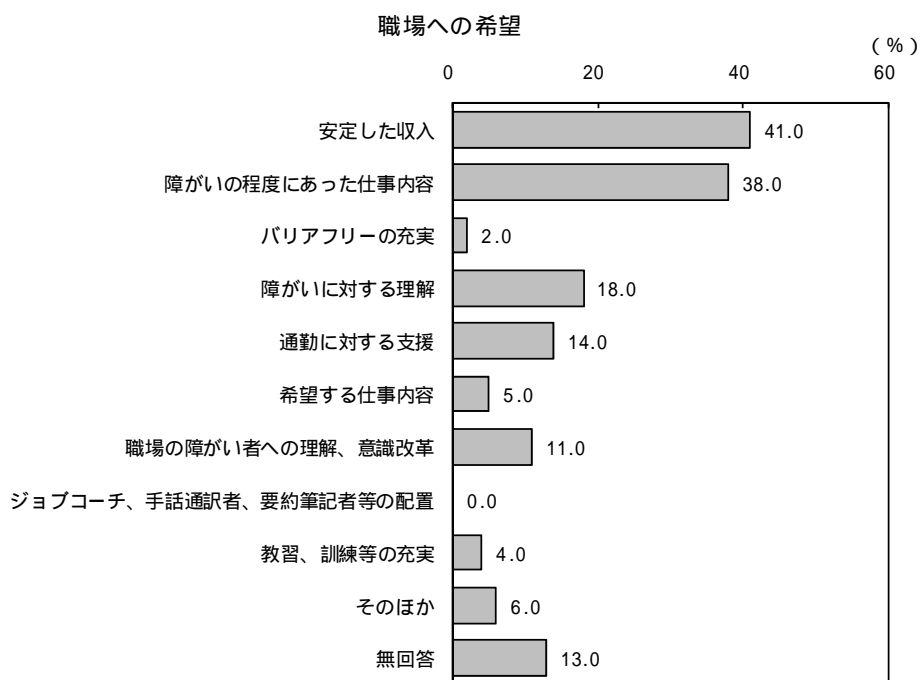
	就労支援機関や公共職業安定所のあつせん	学校の紹介	知人、縁故関係の紹介	職業訓練校の紹介	直接自分で探した	そのほか	無回答
全体 <n = 100 >	27.0	38.0	1.0	3.0	7.0	16.0	8.0
A <n = 46 >	13.0	43.5	2.2		10.9	21.7	8.7
B <n = 51 >	39.2	33.3	0.0	5.9	3.9	11.8	5.9

(3) 仕事や職場への希望

問 15 現在働いている方におたずねします。現在の仕事や職場に関して、どのような環境が整えば、より働きやすいと思いますか。特に当てはまる番号に 2 つまで をつけてください。

全体数=100 (該当なし 77 件のぞく)

最も多かったのは、「安定した収入」41.0 %、次いで「障がいの程度にあった仕事内容」38.0 %、「障がいに対する理解」18.0 %、「通勤に対する支援」14.0 %の順でした。

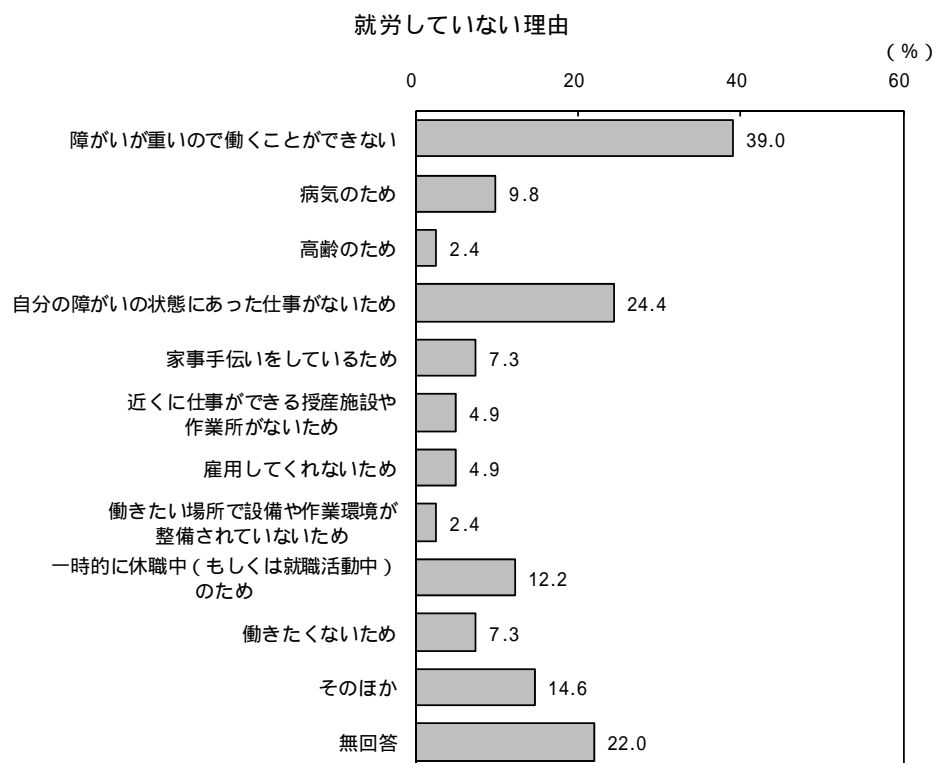


(4) 働いていない理由

問16 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は何ですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。(ご本人が18歳未満の場合は回答不要です)

全体数=41 (該当なし136件のぞく)

最も多かったのは、「障がい重いので働くことができない」39.0%、次いで「自分の障がいの状態にあった仕事がないため」24.4%、「そのほか」14.6%、「一時的に休職中(もしくは就職活動中)のため」12.2%の順でした。

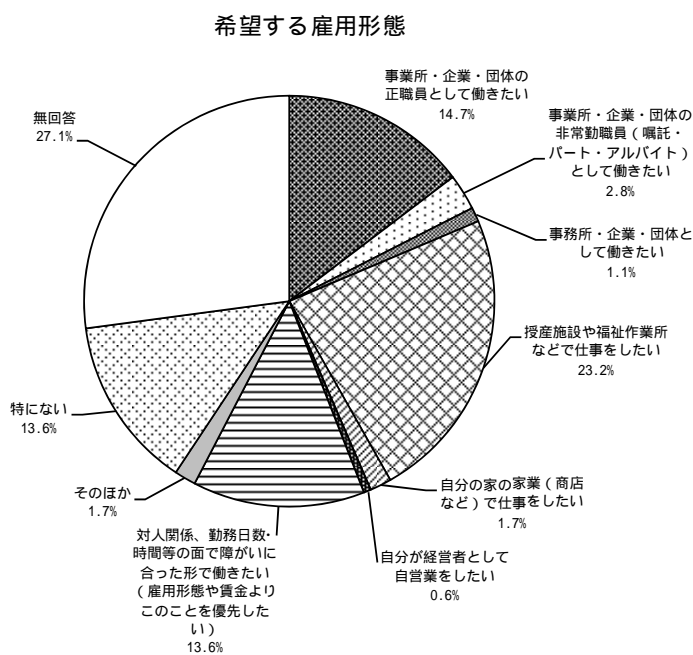


(5) 希望する雇用形態

問17 あなたは今後どのように働きたいですか。当てはまる番号に1つだけをつけて下さい。

全体数=177

最も多かったのは、「授産施設や福祉作業所などで仕事をしたい」23.2%、次いで「事業所・企業・団体の正職員として働きたい」14.7%、「対人関係、勤務日数・時間等の面で障がいにあった形で働きたい（雇用形態や賃金よりこのことを優先したい）」13.6%の順でした。



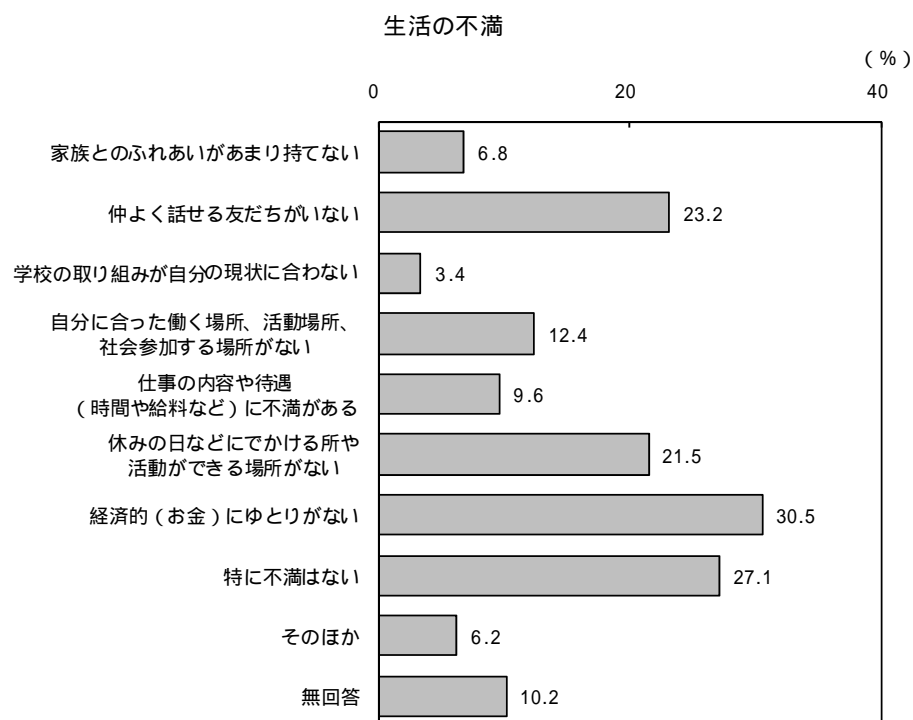
4 生活の不安や不満

(1) 生活の不満

問 18 あなたは生活にどんな不満がありますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「経済的(お金)にゆとりがない」30.5%、「仲よく話せる友だちがいない」23.2%、「休みの日などにでかける所や活動ができる場所がない」21.5%、「自分に合った働く場所、活動場所、社会参加する場所がない」12.4%の順でした。また、「特に不満はない」は27.1%でした。



性別では、男性で「経済的（お金）にゆとりがない」が 33.7%と、女性に比べ高くなっています。

手帳の級別では、Aで「休みの日などにでかける所や活動ができる場所がない」が 24.4%と、Bに比べ高くなっており、Bで「経済的（お金）にゆとりがない」が 33.3%と、Aに比べ高くなっています。

単位：%

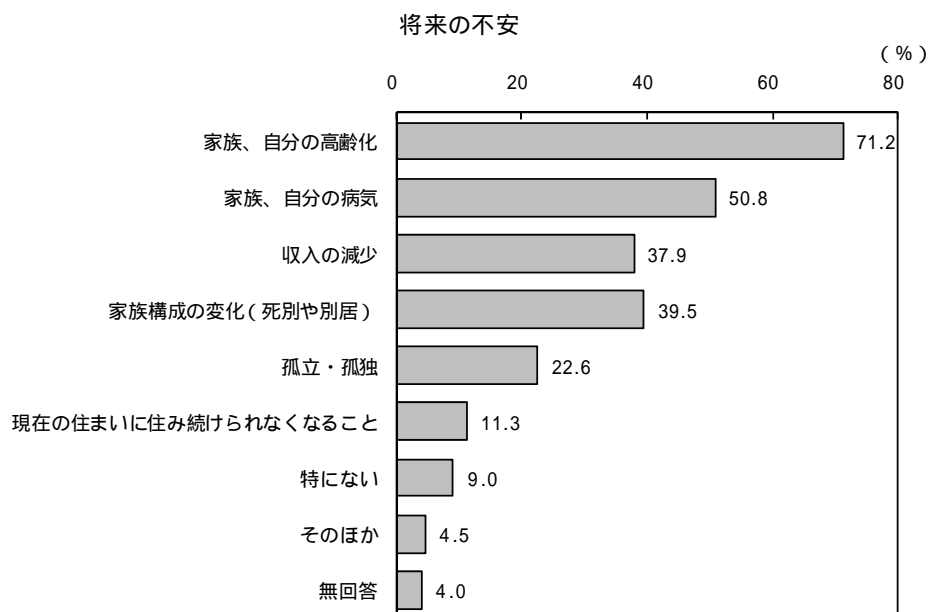
	家族とのふれあいがあまり持てない	仲よく話せる友だちがいない	学校の取り組みが自分の現状に合わない	自分に合った働く場所、活動場所、社会参加する場所がない	仕事の内容や待遇（時間や給料など）に不満がある	休みの日などにでかける所や活動ができる場所がない	経済的（お金）にゆとりがない	特に不満はない	その他	無回答
全体 <n=177>	6.8	23.2	3.4	12.4	9.6	21.5	30.5	27.1	6.2	10.2
男性 <n=101>	9.9	29.7	5.0	12.9	11.9	22.8	33.7	20.8	6.9	8.9
女性 <n=75>	2.7	14.7	1.3	12.0	6.7	18.7	26.7	36.0	5.3	12.0
A <n=82>	3.7	20.7	2.4	11.0	6.1	24.4	28.0	23.2	8.5	14.6
B <n=90>	8.9	25.6	4.4	13.3	12.2	18.9	33.3	31.1	4.4	6.7

(2) 将来の不安

問 19 今後予想される困難や不安はどのようなことですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「家族、自分の高齢化」71.2 %、次いで「家族、自分の病気」50.8 %、「家族構成の変化(死別や別居)」39.5 %、「収入の減少」37.9 %、「孤立・孤独」22.6 %の順でした。



手帳の級別では、Aで「家族、自分の高齢化」が80.5%、「家族、自分の病気」が51.2%と、Bに比べ高くなっており、Bで「収入の減少」が38.9%、「現在の住まいに住み続けられなくなる事」が15.6%と、Aに比べ高くなっています。

単位：%

	家族、自分の高齢化	家族、自分の病気	収入の減少	家族構成の変化（死別や別居）	孤立・孤独	現在の住まいに住み続けられなくなる事	特になし	その他	無回答
全体 <n=177>	71.2	50.8	37.9	39.5	22.6	11.3	9.0	4.5	4.0
A <n=82>	80.5	51.2	36.6	52.4	23.2	6.1	7.3	3.7	2.4
B <n=90>	62.2	48.9	38.9	27.8	23.3	15.6	11.1	5.6	5.6

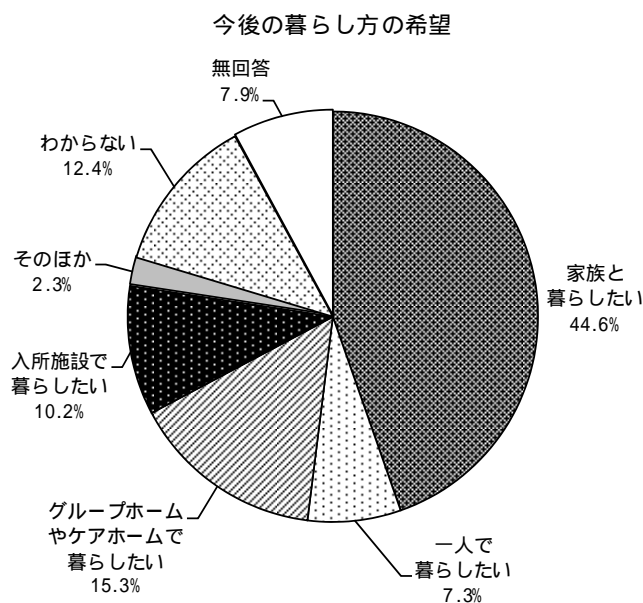
(3) 今後の生活場所の希望

問 20 あなたはこれからどのように暮らしたいですか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「家族と暮らしたい」44.6%、次いで「グループホームやケアホームで暮らしたい」15.3%、「わからない」12.4%、「入所施設で暮らしたい」10.2%、「無回答」7.9%の順でした。

手帳の級別では、Aで「グループホームやケアホームで暮らしたい」が19.5%と、Bに比べ高くなっており、Bで「家族と暮らしたい」が46.7%と、Aに比べ高くなっています。



単位：%

	家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームやケアホームで暮らしたい	入所施設で暮らしたい	そのほか	わからない	無回答
全体 <n=177>	44.6	7.3	15.3	10.2	2.3	12.4	7.9
A <n=82>	40.2	1.2	19.5	17.1	3.7	11.0	7.3
B <n=90>	46.7	13.3	12.2	4.4	1.1	13.3	8.9

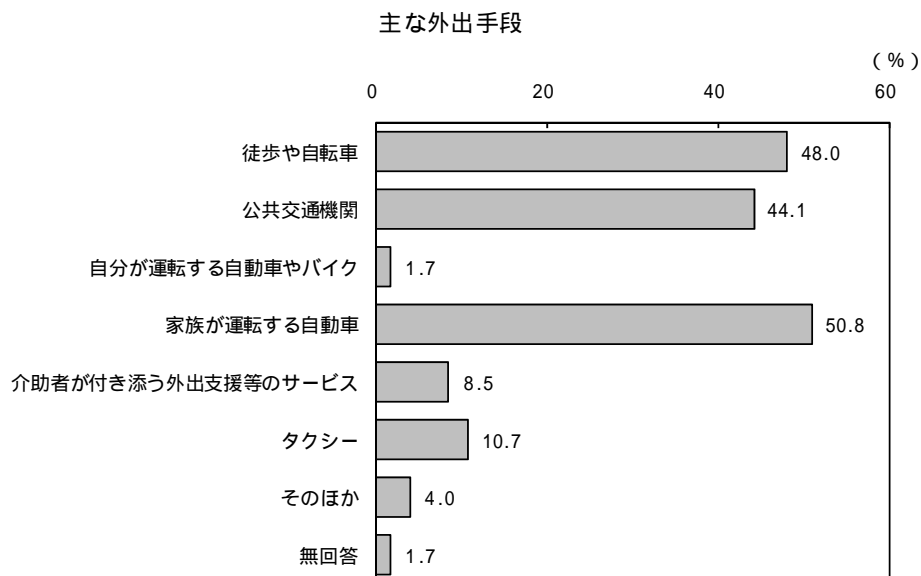
5 外出について

(1) 主な外出手段

問 21 あなたが外出する際のおもな手段は何ですか。特に当てはまる番号に 2 つまで をつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「家族が運転する自動車」50.8 %、次いで「徒歩や自転車」48.0 %、「公共交通機関」44.1 %、「タクシー」10.7 %、「介助者が付き添う外出支援等のサービス」8.5 %の順でした。

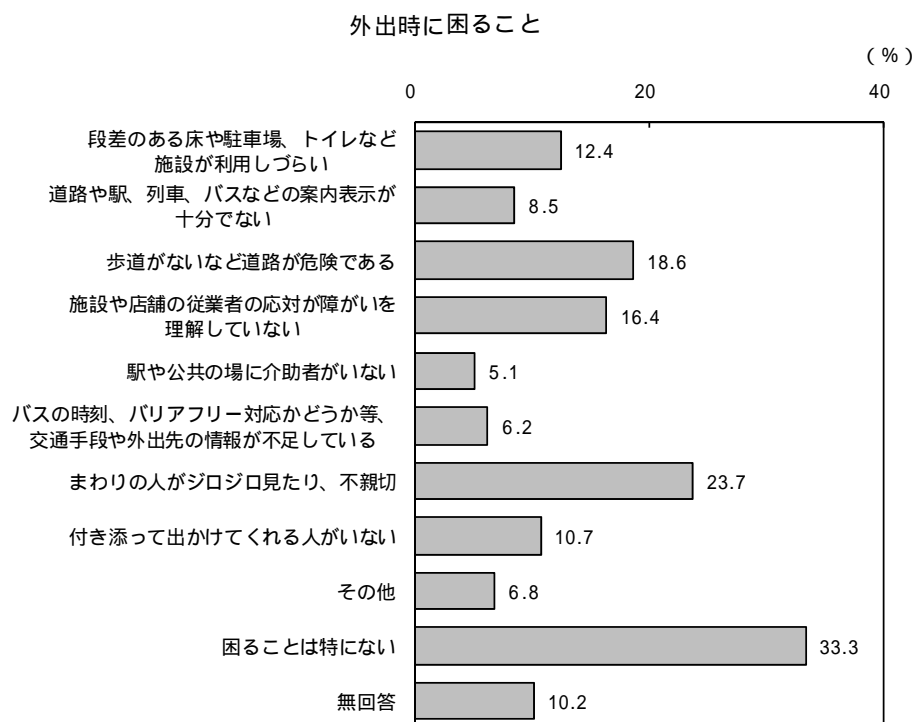


(2) 外出時に困ること

問22 あなたが外出する時、困ることは何ですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「まわりの人がジロジロ見たり、不親切」23.7%、次いで「歩道がないなど道路が危険である」18.6%、「施設や店舗の従業員の対応が障がいを理解していない」16.4%、「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」12.4%の順でした。「困ることは特にない」は、33.3%でした。



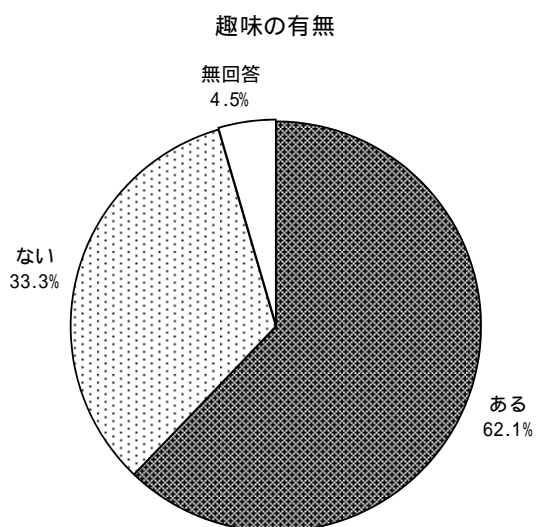
6 余暇・地域活動

(1) 趣味の有無

問23 あなたに趣味あるいは楽しみにしていることはありますか。

全体数=177

「ある」62.1%、「ない」33.3%でした。

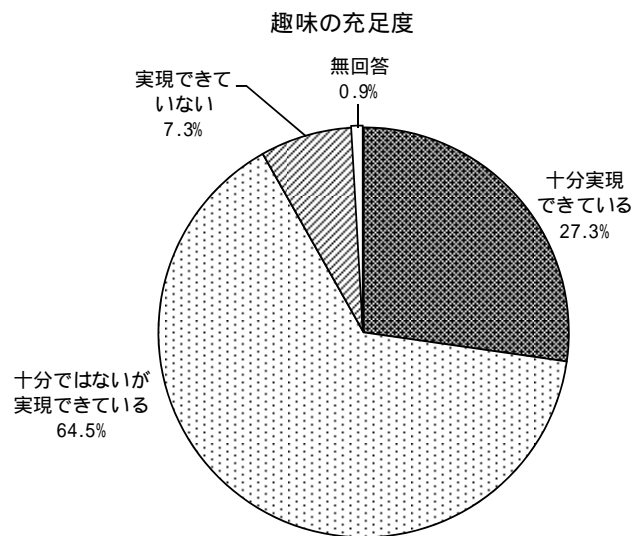


(2) 趣味の充足度

問24 前の問23で「1.ある」と答えた方におたずねします。その趣味や楽しみは実現できていますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=110(該当なし67件のぞく)

最も多かったのは、「十分ではないが実現できている」64.5%、次いで「十分実現できている」27.3%、「実現できていない」7.3%の順でした。

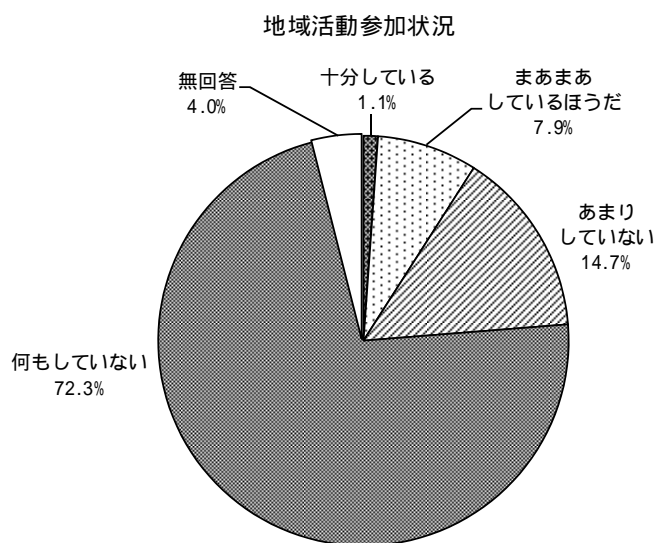


(3) 地域活動参加の状況

問 25 あなたは地域活動（自治会、子供会の行事や役員など）へ参加していますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「何もしていない」72.3%、次いで「あまりしていない」14.7%、「まあまあしているほうだ」7.9%、「十分している」1.1%の順でした。

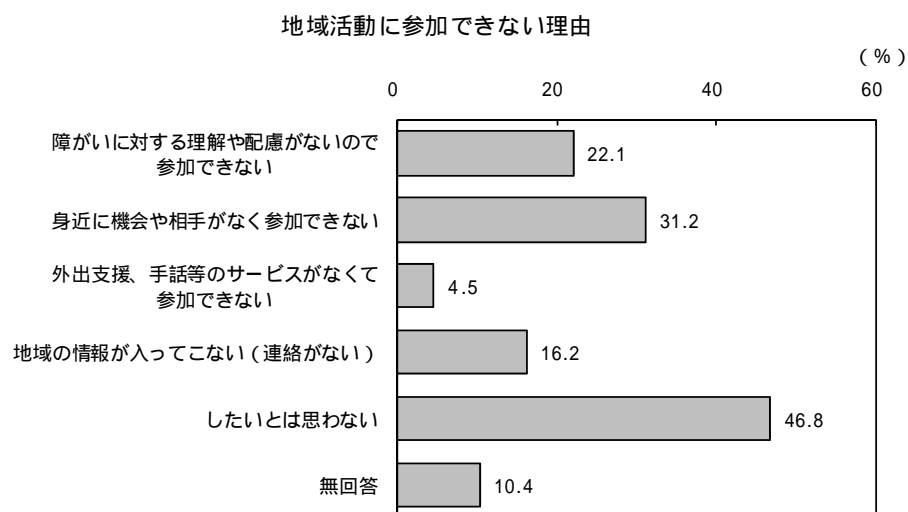


(4) 地域活動に参加しない理由

問 26 前の問で「3. あまりしているとはいえない」「4. 何もしていない」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。特に当てはまる番号に2つまで をつけてください。

全体数=154 (該当なし 23 件のぞく)

最も多かったのは、「したいとは思わない」46.8 %、次いで「身近に機会や相手がなく参加できない」31.2 %、「障がいに対する理解や配慮がないので参加できない」22.1 %、「地域の情報が入ってこない(連絡がない)」16.2 %の順でした。



7 サービス利用

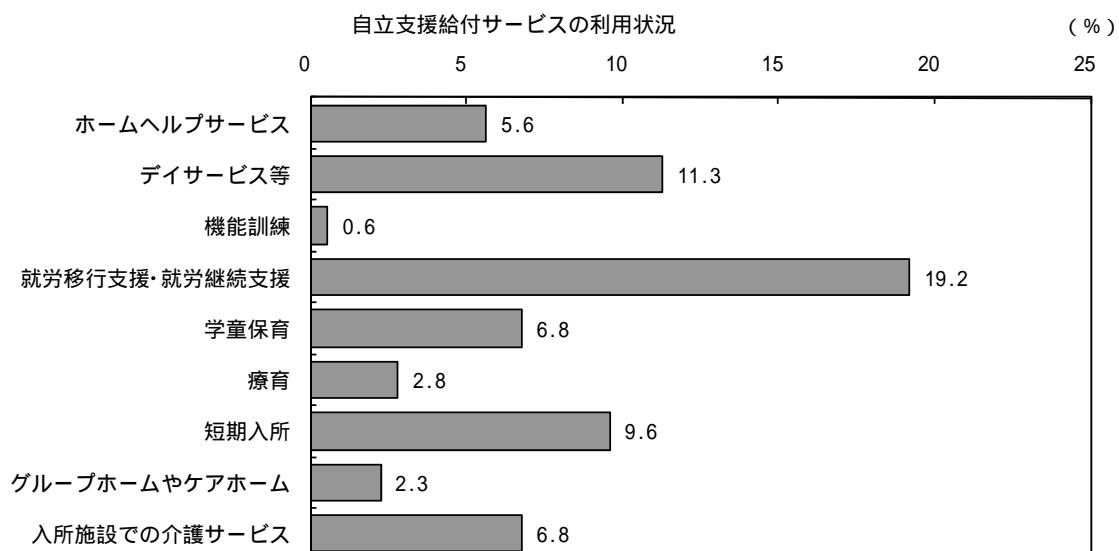
(1) 自立支援給付サービスの利用状況と満足度

ここから問 33 までは、今何らかの福祉サービスを利用している方だけがお答え下さい。

問 27 次の表の中で、利用している介護サービスに をつけ、 をつけたサービスの満足度などを表の中の質問にしたがってお答えください。

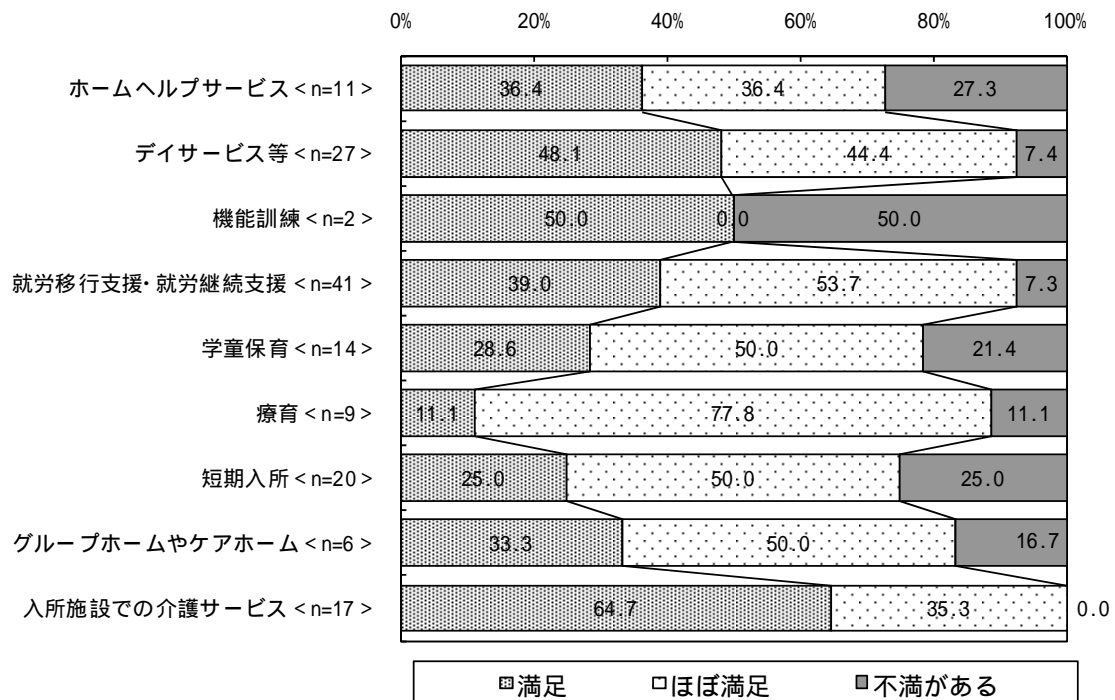
全体数=177

アンケートの回答者全体数(177人)のうち各サービス利用者は、「ホームヘルプサービス」5.6%、「デイサービス等」11.3%、「就労移行支援・就労継続支援」19.2%、「短期入所」9.6%、「入所施設での介護サービス」6.8%などとなっています。



各サービスの満足度については、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた率は、「デイサービス等」「就労移行支援・就労継続支援」で90%以上と高く、「学童保育」や「短期入所」でやや低くなっています。なお、下のグラフに示す通り、回答者数がきわめて少ないサービスもありました。本質問は、前問で「利用している」を選んだ回答者に限らず各サービスの満足度の回答者全員を全数(=100%)として集計した。

自立支援給付サービスの満足度



各サービスの不満の内容については、回答者が1～6人でした。結果は下表の通りです。

単位：人

	各サービス 回答者合計	内容が不満	時間や日数 が足りない	職員の対応 が不満	その他
ホームヘルプサービス	3	0	1	2	0
デイサービス等	3	1	2	0	0
機能訓練	1	1	1	1	1
就労移行支援・就労継続支援	6	2	2	2	4
学童保育	4	1	2	0	1
療育	1	0	1	0	0
短期入所	6	0	2	2	4
グループホームやケアホーム	1	0	0	0	1
入所施設での介護サービス	1	0	1	0	0

複数回答（いくつでも）

(2) 自立支援給付サービスの不満と感ずる内容

問28 上記 ~ で特に不満と感ずる内容を ~ の番号とともに3つまでお書きください。

全体数=177

下表の通り、合計22の記述意見を得ました。

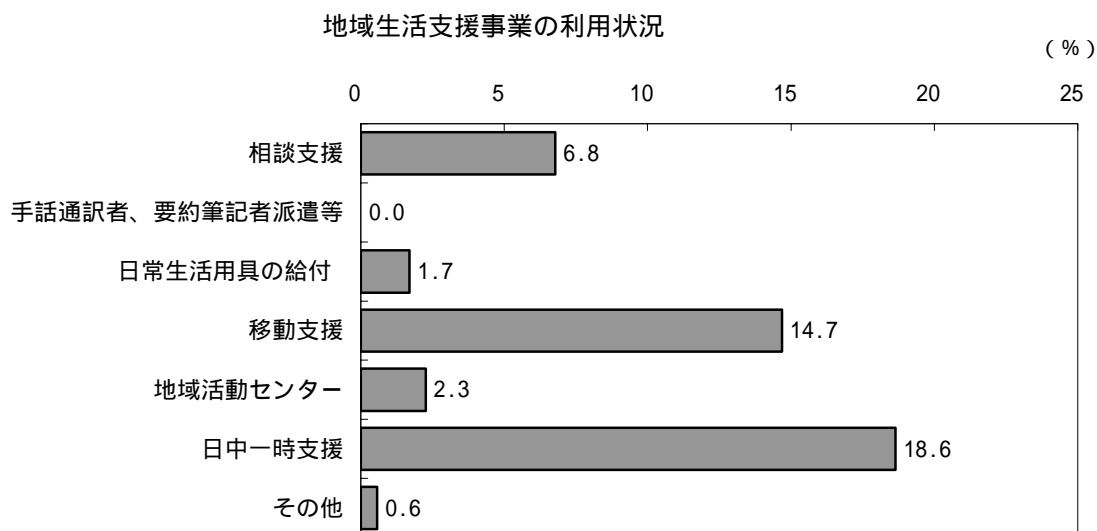
ホームヘルプサービス	ヘルパーさんによっては言葉がきつい人もいる。
	料理を覚える為にヘルパーを使ったがさせてもらえない。
デイサービス等	もっと利用できる日数や事業所を増やしてほしい。
	職員が少ないため運動や日常の援助ケアが適切に受けられていないと感ずる(本人の意識確認が難しいので家族が書きました)。
機能訓練	医師がOKと言っている事を否定される。
	職員が少ないため運動や日常の援助ケアが適切に受けられていないと感ずる(本人の意識確認が難しいので家族が書きました)。
就労移行支援・就労継続支援	やりたい仕事だけするわけにいかない。
	医師がOKと言っている事を否定される。
	親の高齢化により医療(特に歯科)受診できない。
	他の利用者の状況で自分が不安定になる。
学童保育	移動支援の際、時間を一杯に使って外出してくれない事業所がある。日中一時に長時間ビデオを見せているところがある。
	時間数 - 特に移動支援はお金が高いので役所の人でも簡単にはくれない(もちろん税金なので誰でもハイハイと出すわけにはいかないのは分かるが)。
	本人の障がい特性に合った施設がない。
療育	ふたば園は就学後せめて小学校低学年まで通わせてほしい。
	ふたば園やすてつぎに通える日数を増やしてほしい。
	小学生以上の療育を行ってほしい。
短期入所	急に必要になった時利用できない。親の入院など長期間受けてくれる所がない。
	強い口調で話をしてくる。
	事業所にもよるが、有料の食事の内容が悪い。
	事業所にもよるが受け入れ人数に対してスタッフが少ないし場も少ないし知識としても足りない人がいる。
	親が仕事の為ショート利用だが予約が取りにくい、空きがないことが多い。
グループホームやケアホーム	同居者と仲良く出来ない人がいる。

(3) 地域生活支援事業の利用状況と満足度

問 29 次の表の中で、利用している地域生活支援事業のサービスに をつけ、 をつけたサービスの満足度などを表の中の質問にしたがってお答えください。

全体数=177

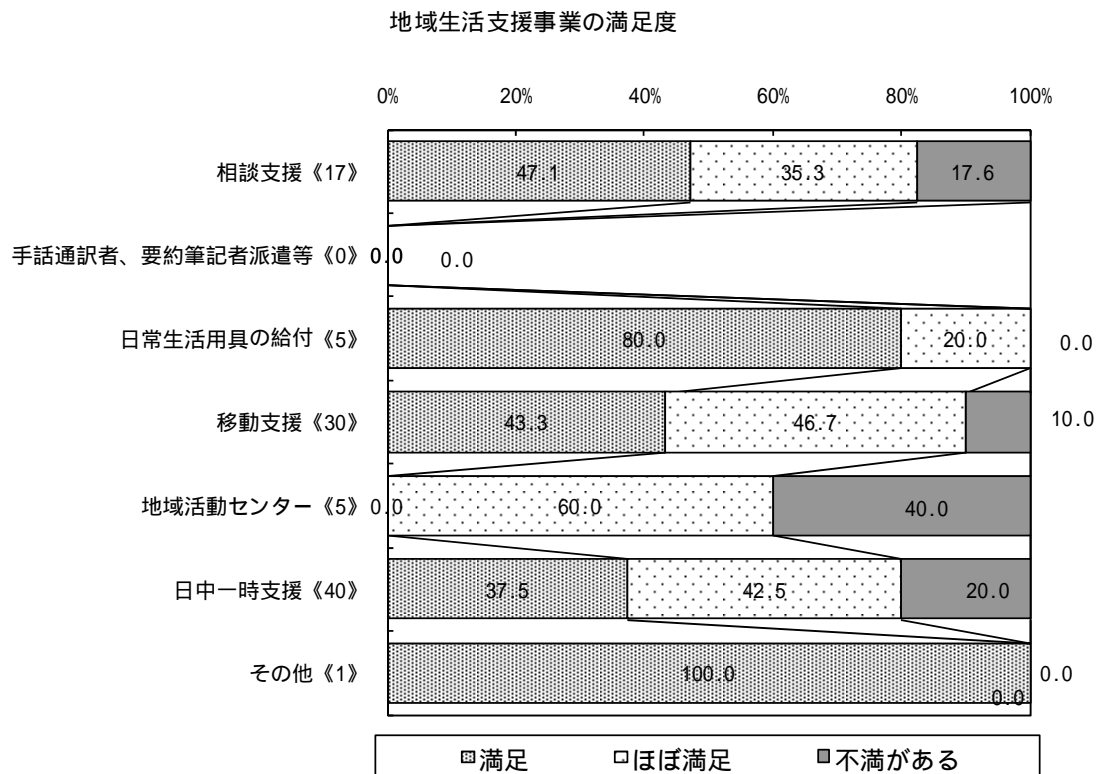
アンケートの回答者全体数(177人)のうち各サービス利用者は、「日中一時支援」18.6%、「移動支援」14.7%、「相談支援」6.8%などとなっています。



「その他」は「支援センター」

各サービスの満足度については、「満足」が「相談支援」「移動支援」で高く、「日中一時支援」では「不満」が20.0%です。なお、下のグラフに示す通り、回答者数が少ないサービスもありました。

本質問は、前問で「利用している」を選んだ回答者に限らず各サービスの満足度の回答者全員を全数(=100%)として集計した。



各サービスの不満の内容については、回答者が0～8人でした。1人以上の回答があった項目の結果は下表の通りです。

単位:人

	各サービス 回答者合計	内容が不満	時間や日数 が足りない	職員の対応 が不満	その他
相談支援	2	1	1	2	1
移動支援	4	1	4	2	1
地域活動センター	2	0	1	0	1
日中一時支援	8	3	4	3	3

複数回答(いくつでも)

(4) 地域生活支援事業の不満と感ずる内容

問 30 上記 ~ で特に不満と感ずる内容を ~ の番号とともに 3 つまでお書きください。

全体数=177

下表の通り、合計 15 の記述意見を得ました。

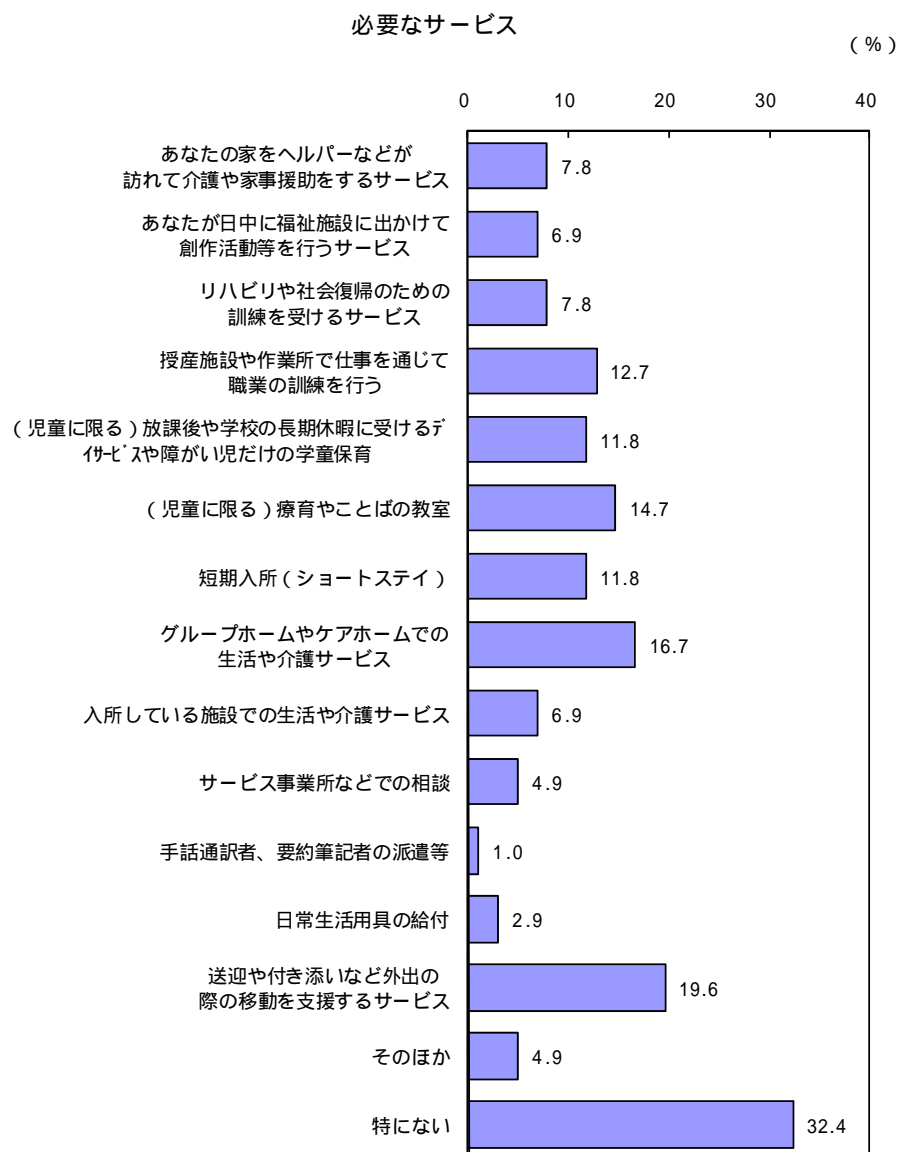
相談支援	もう少し説明をしてほしい。連絡までの時間が長い。
	医師が OK と言っている事を否定される。
移動支援	外出時間が少ない、もしくは長くしてもらおうと遠出されるのでお金がすごくかかる。近場で歩いて行ける所を広げてほしい。公共の交通を使ってイベント会場（遊園地等）に行かれることが多い。
	事業所にもよるが、有料の食事の内容が悪い。
	事業所による。
	申し込んだが利用できなかった。養護学校時代に申し込んだ人は卒業も利用できているのに、なぜ？
	日数を増やしてほしい。
	付添い人の質が低い。アルバイト等教育されていない。
地域活動センター	急用の対応が不可能。そうじが不十分で、いつも帰ってくると靴下が黒くなるほどである。
	利用したいが情報が無い。
日中一時支援	移動支援の際、時間を一杯に使って外出してくれない事業所がある。日中一時に長時間ビデオを見せているところがある。
	本人の障がい特性に合った過ごし方ができないので利用する施設がない
	一度に多くの人数を受けられるので介助者に対し利用者が多すぎる。一度抜き打ちで見に行ったら 30 人程の子供を 1 つの部屋に入れ大人が 2、3 人くらいだったので驚いたが何も言えなかった。
	事業所による。
	日数・事業所（近くの）を増やしてほしい。

(5) 今受けている以外の必要なサービス

問 31 今受けているサービス以外に必要なサービスはありますか。当てはまる番号にいくつでもつけてください。

全体数=102（無回答者のぞく）

最も多かったのは、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」19.6%、次いで「グループホームやケアホームでの生活や介護サービス」16.7%、「（児童に限る）療育やことばの教室」14.7%、「授産施設や作業所で仕事を通じて職業の訓練を行う」12.7%の順でした。なお、「特にない」は32.4%でした。

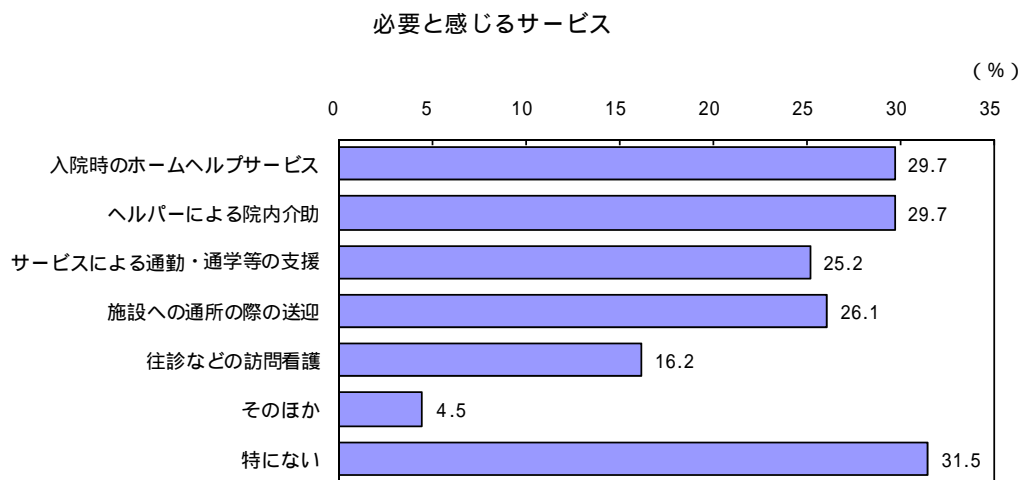


(6) 現状未実施だが必要と感じるサービス

問 32 今のところ城陽市では実施されていませんが、必要と感じる支援はありますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=111(無回答者のぞく)

最も多かったのは、「入院時のホームヘルプサービス」29.7%と「ヘルパーによる院内介助」で、ともに29.7%、次いで「施設への通所の際の送迎」26.1%、「サービスによる通勤・通学等の支援」25.2%の順でした。

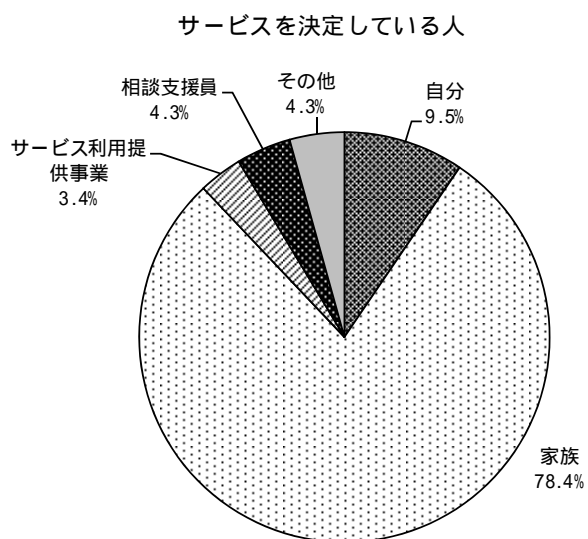


(7) サービスを決定している人

問 33 福祉サービス等の利用にあたり、利用する施設やサービス内容について誰が決めていますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=116(無回答者のぞく)

最も多かったのは、「家族」78.4%、次いで「自分」9.5%、「相談支援員」「その他」でともに4.3%、「サービス利用提供事業」3.4%の順でした。



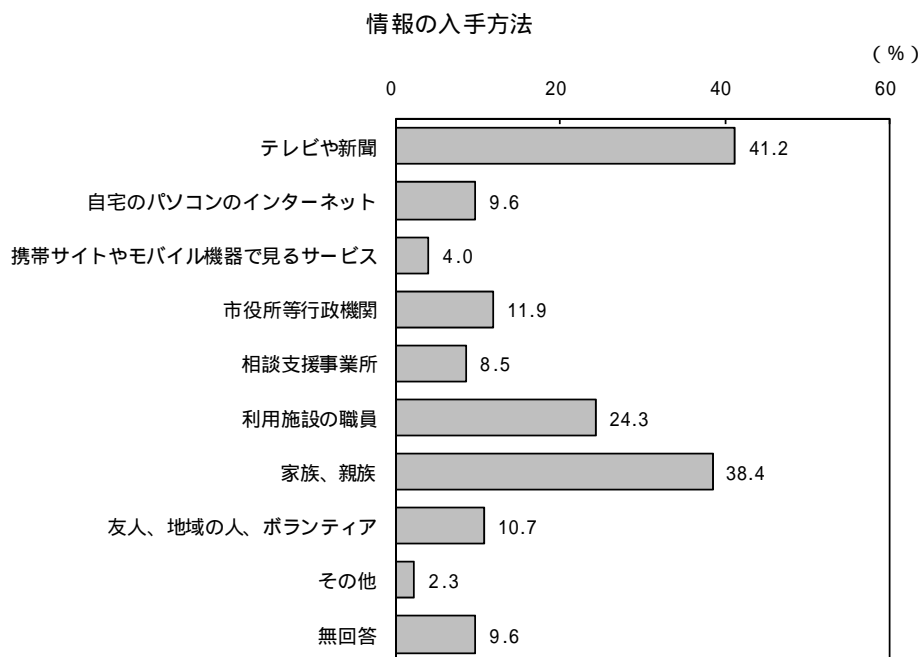
8 情報提供

(1) 情報の入手方法

問 34 あなたは生活に必要な情報を主に何から得ていますか。特に当てはまる番号に 2 つまでをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「テレビや新聞」41.2 %、次いで「家族、親族」38.4 %、「利用施設の職員」24.3 %、「市役所等行政機関」11.9 %、「友人、地域の人、ボランティア」10.7 %の順でした。

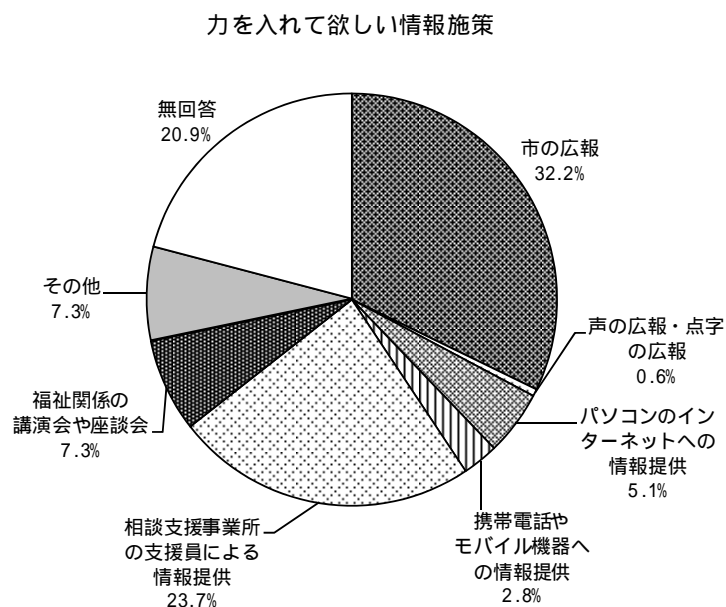


(2) 充実すべき情報発信方法

問 35 市からの情報発信として、もっとも力を入れてほしいことは何ですか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「市の広報」32.2%、次いで「相談支援事業所の支援員による情報提供」23.7%、「福祉関係の講演会や座談会」「その他」ともに7.3%、の順でした。



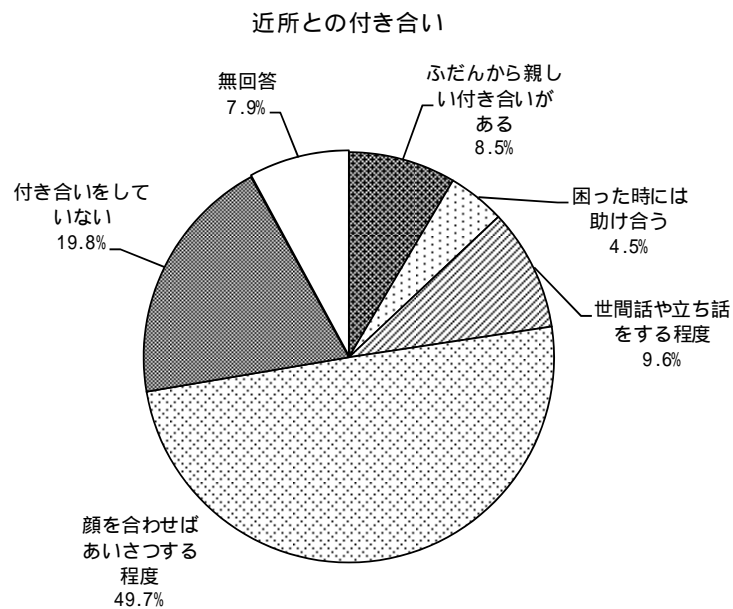
9 生活支援

(1) 近所との付き合いの程度

問 36 あなたは、隣近所の方とどの程度お付き合いをしていますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「顔を合わせばあいさつする程度」49.7%、次いで「付き合いをしていない」19.8%、「世間話や立ち話をする程度」9.6%、「ふだんから親しい付き合いがある」8.5%の順でした。

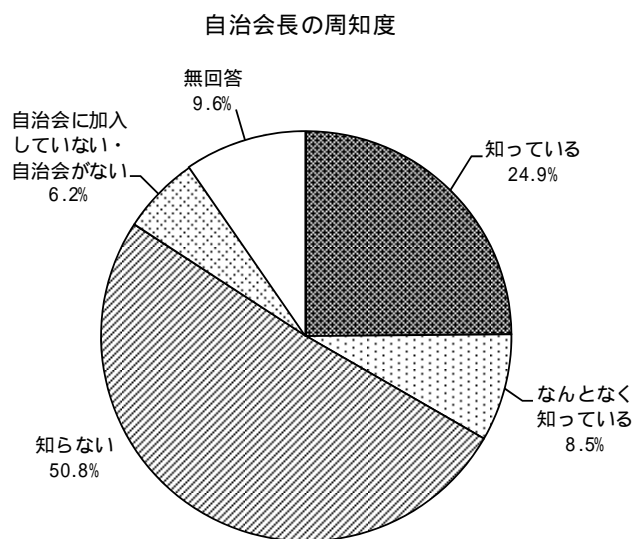


(2) 自治会長、民生・児童委員の周知度

問37-1 あなたは、あなたの地域の自治会長を知っていますか。当てはまる番号にそれぞれ1つずつをつけてください。

全体数=177

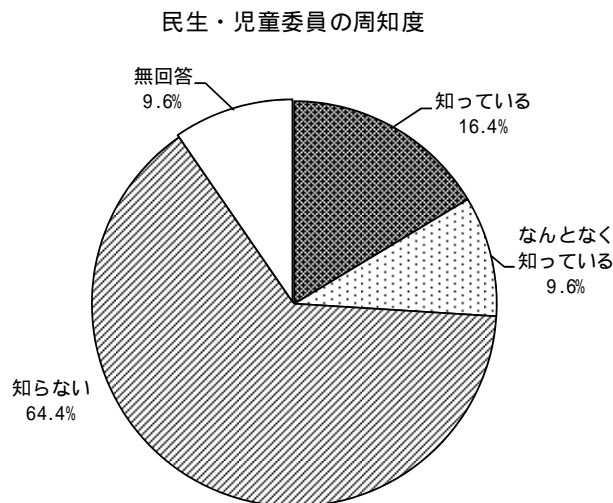
最も多かったのは、「知らない」50.8%、次いで「知っている」24.9%、「なんとなく知っている」8.5%、「自治会に加入していない・自治会がない」6.2%の順でした。



問37-2 あなたは、あなたの地域の民生・児童委員を知っていますか。当てはまる番号にそれぞれ1つずつをつけてください。

全体数=177

「知らない」64.4%、次いで「知っている」16.4%、「なんとなく知っている」9.6%でした。

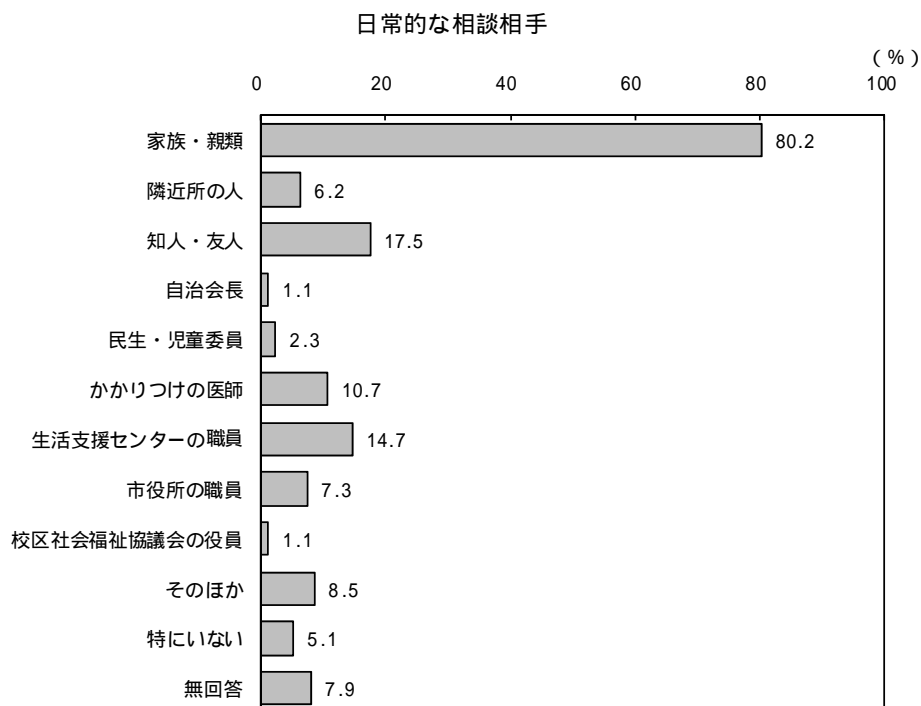


(3) 日常的な相談相手

問38 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような方ですか。
当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「家族・親類」80.2%、次いで「知人・友人」17.5%、「生活支援センターの職員」14.7%、「かかりつけの医師」10.7%、「そのほか」8.5%の順でした。

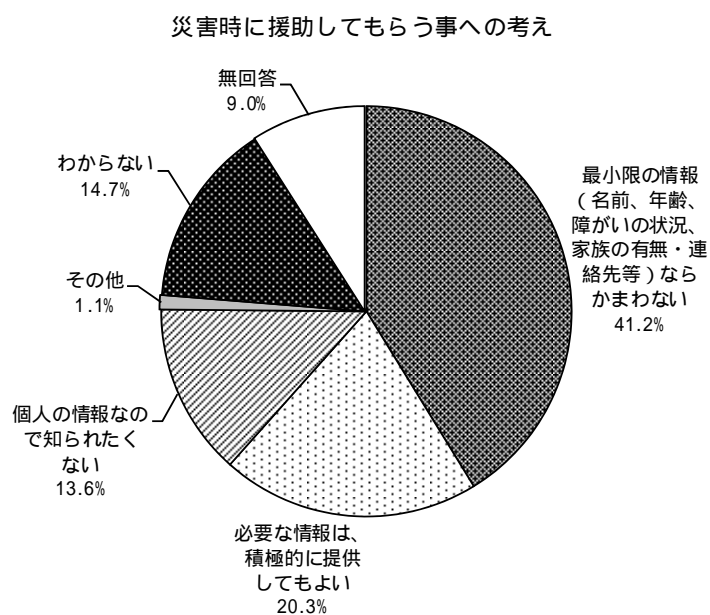


(4) 災害時に援助してもらおう事への考え

問 39 地域での日常の見守りを行うには、民生・児童委員以外に自治会や校区社協などがあなたの個人情報を把握しておく必要があると思われますが、このことについてはどのように思いますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「最小限の情報（名前、年齢、障がいの状況、家族の有無・連絡先等）ならかまわない」41.2%、次いで「必要な情報は、積極的に提供してもよい」20.3%、「わからない」14.7%、「個人の情報なので知られたくない」13.6%の順でした。



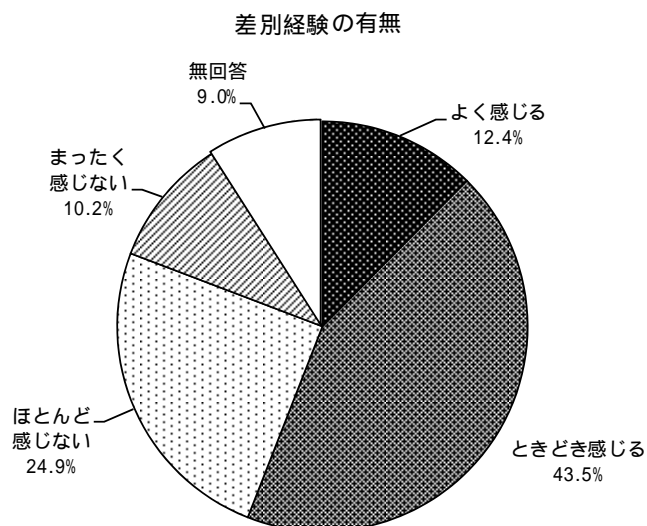
10 城陽市の福祉環境

(1) 差別経験の有無

問 40 日常生活において、障がいがあるために差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。
当てはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「ときどき感じる」43.5 %、次いで「ほとんど感じない」24.9 %、「よく感じる」12.4 %、「まったく感じない」10.2 %の順でした。

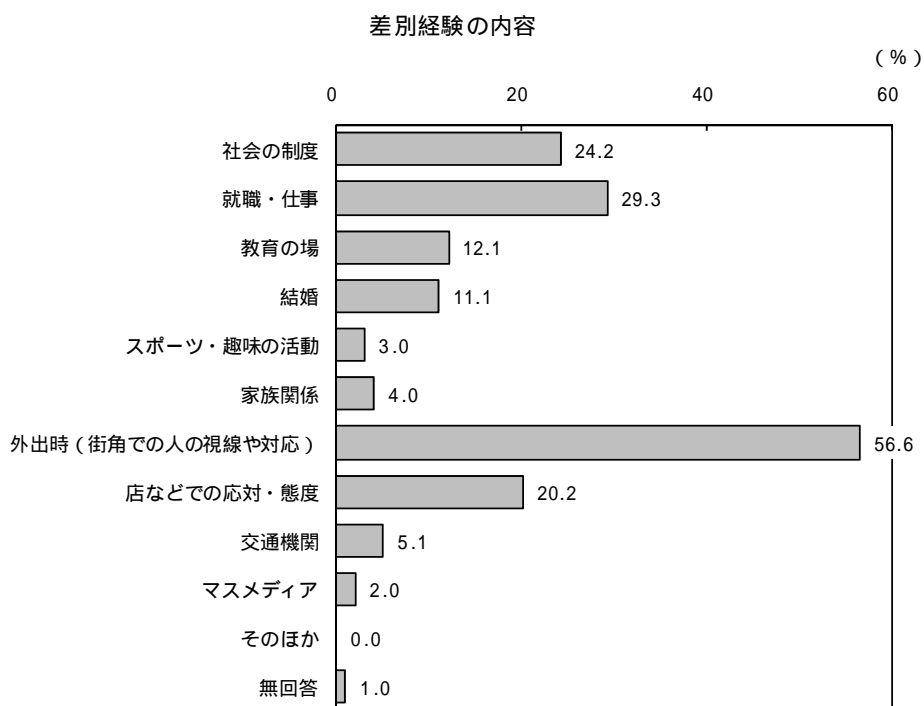


(2) 差別経験の内容

問 41 前の問 40 で「1.よく感じる」「2.ときどき感じる」と回答した方におたずねします。
 どんなときにそれを感じますか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=99 (該当なし78件のぞく)

最も多かったのは、「外出時(街角での人の視線や対応)」56.6%、次いで「就職・仕事」29.3%、
 「社会の制度」24.2%、「店などでの対応・態度」20.2%、「教育の場」12.1%の順でした。

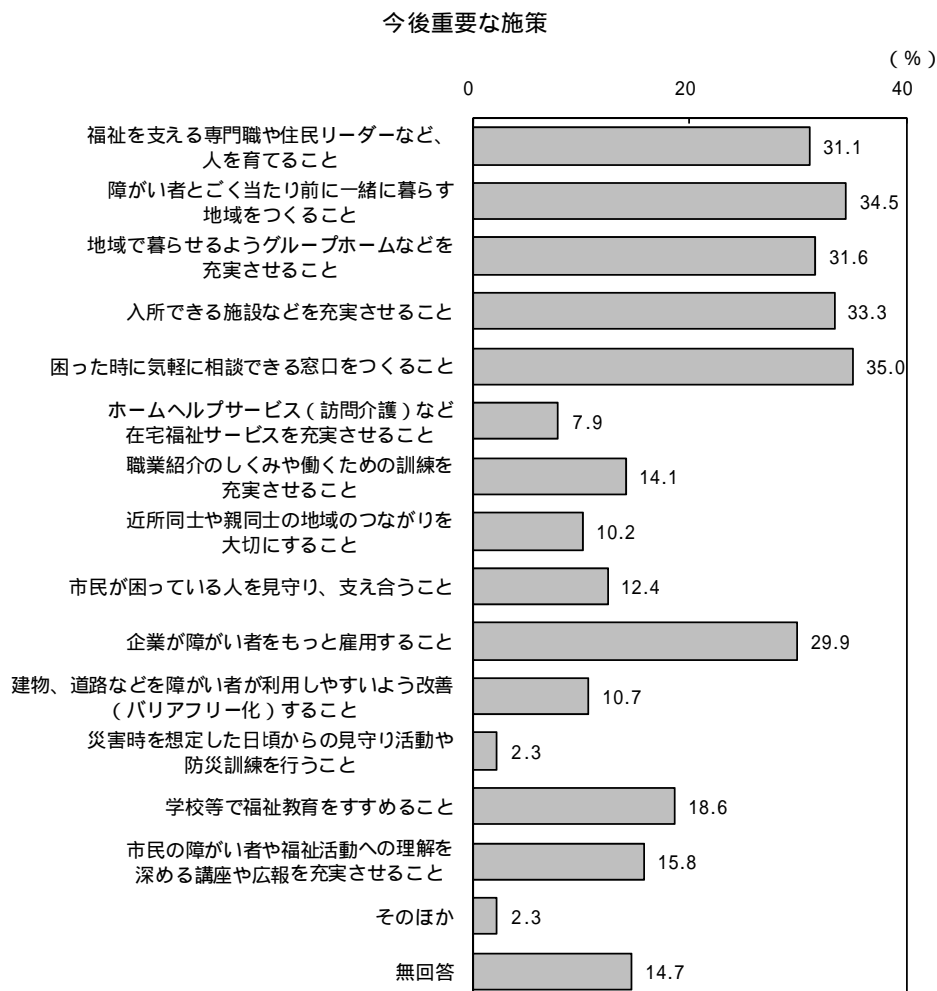


(3) 今後重要な施策

問 42 城陽市で、障がい者が生活を送る上で重要と思われることは何ですか。特に当てはまる番号に4つまでをつけてください。

全体数=177

最も多かったのは、「困った時に気軽に相談できる窓口をつくること」35.0%、次いで「障がい者とごく当たり前に一緒に暮らす地域をつくること」34.5%、「入所できる施設などを充実させること」33.3%、「地域で暮らせるようグループホームなどを充実させること」31.6%、「福祉を支える専門職や住民リーダーなど、人を育てること」31.1%の順でした。



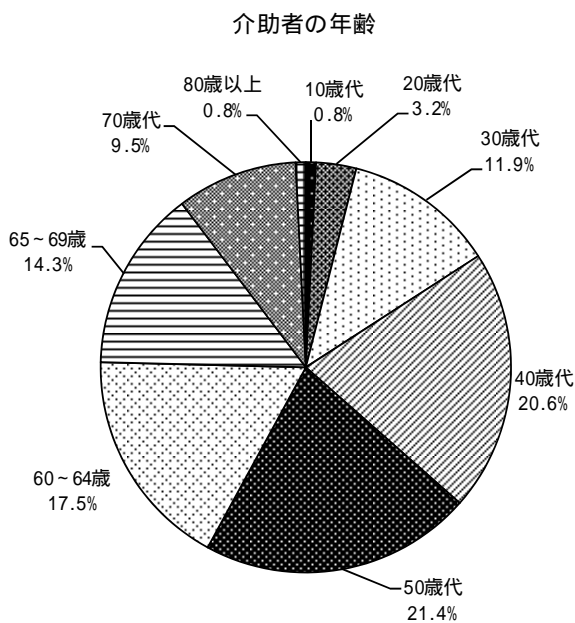
11 介助者

(1) 介助者の年齢

問 43 主な介助者の方の年齢はいくつですか。

全体数=126 (無回答者のぞく)

最も多かったのは、「50歳代」21.4%、次いで「40歳代」20.6%、「60～64歳」17.5%、「65～69歳」14.3%、「30歳代」11.9%の順でした。

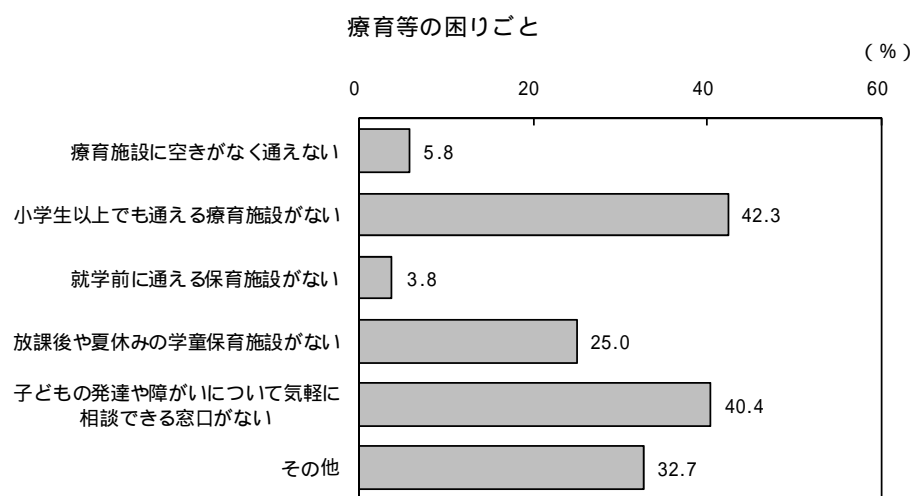


(2) 介助者の療育等での困りごと

問44 障がい児の保護者の方におたずねします。お子さんの療育及び保育で困っている事はなんですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=52（無回答者のぞく）

最も多かったのは、「小学生以上でも通える療育施設がない」42.3%、次いで「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」40.4%、「その他」32.7%、「放課後や夏休みの学童保育施設がない」25.0%、「療育施設に空きがなく通えない」5.8%の順でした。



「その他」の内容

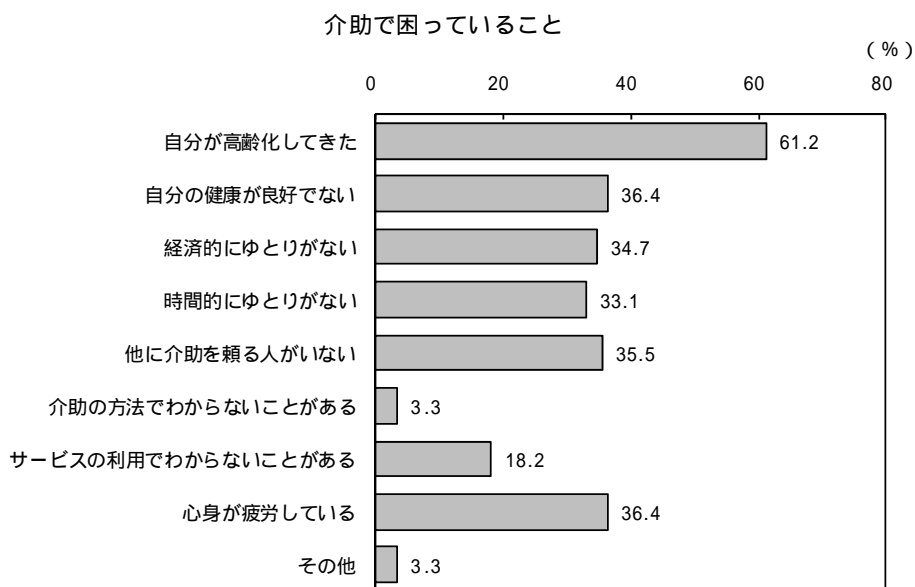
- ・一人になった時の生活の不安
- ・介助者の話し相手（愚痴を聞いてくれる人）が欲しい
- ・緊急時に対応できるショートステイが少ない
- ・訓練施設に通っていたがH22年4月以降デイサービスに通っている。長続きしない。
- ・今のところ特になし
- ・子供が平静を保てない時なかなか平常に戻らないことがある
- ・施設がないので立ち上げた
- ・私立幼稚園では加配が付かない
- ・自分が車に乗らないので病院への通院手段・方法等
- ・成年者の療育施設は障がい程度別にグループ対応（重・軽）出来ればと考える
- ・中学生以上になった時の学童保育施設がなく困っている
- ・特になし
- ・入所施設の充実
- ・療育手帳がB級だということだけで手当てが何もないのが先々の不安。親はいつか死ぬのだから本人の生活を支援してほしい。

(3) 介助者の介護での困りごと

問45 主な介助者の方におたずねします。今困っていることは何ですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=121（無回答者のぞく）

最も多かったのは、「自分が高齢化してきた」61.2%、次いで「自分の健康が良好でない」「心身が疲労している」が共に36.4%、「他に介助を頼る人がいない」35.5%、「経済的にゆとりがない」34.7%の順でした。

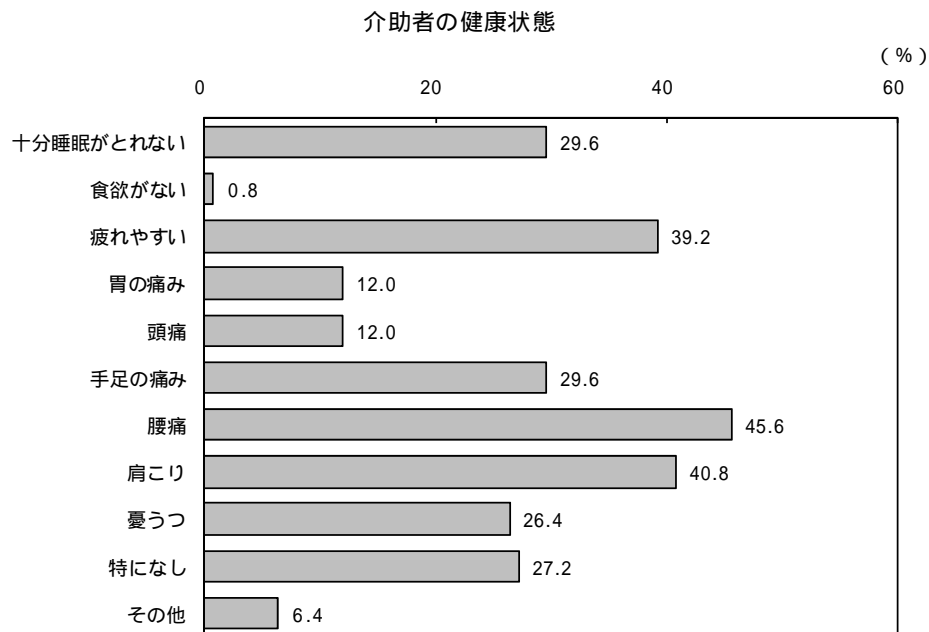


(4) 介助者の健康状態

問46 主な介助者の方にお聞きします。あなた（介助者）が日常的に感じる不調について、当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=125（無回答者のぞく）

最も多かったのは、「腰痛」45.6%、次いで「肩こり」40.8%、「疲れやすい」39.2%、「十分睡眠がとれない」「手足の痛み」共に29.6%の順でした。

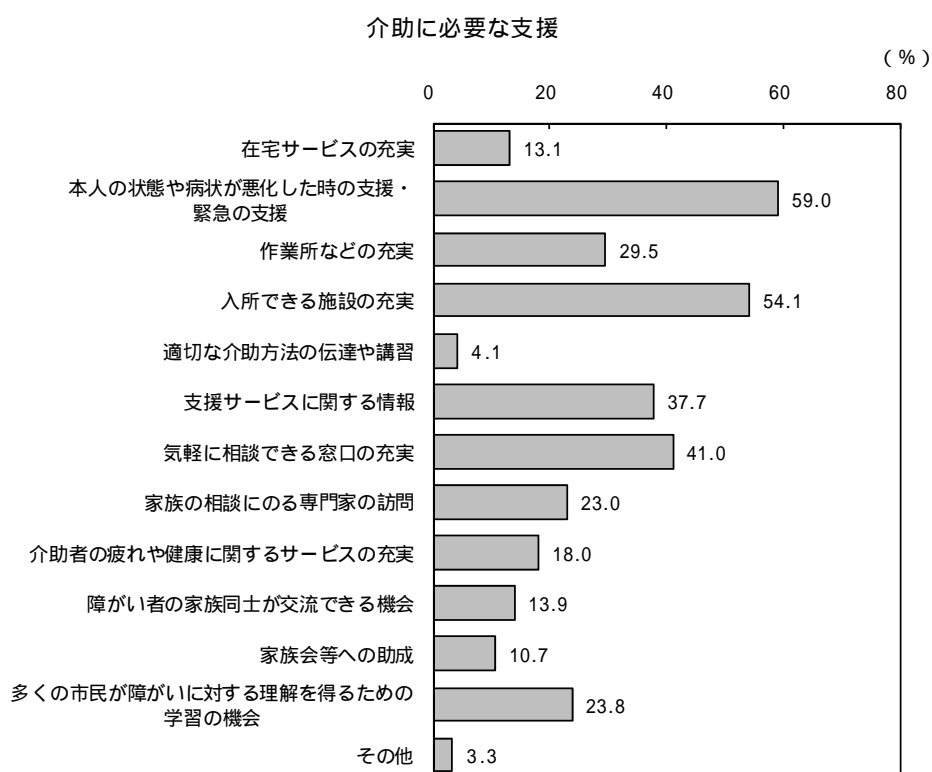


(5) 介助者に必要な支援

問47 介助者にとってどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=122(無回答者のぞく)

最も多かったのは、「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」59.0%、次いで「入所できる施設の充実」54.1%、「気軽に相談できる窓口の充実」41.0%、「支援サービスに関する情報」37.7%、「作業所などの充実」29.5%の順でした。



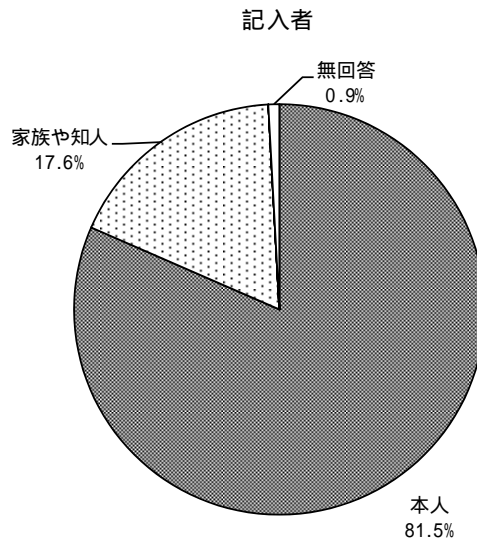
精神通院医療費助成受給者 実態調査結果

1 基本的事項

(1) 回答者

問1 このアンケートにお答えいただいている方はどなたですか。

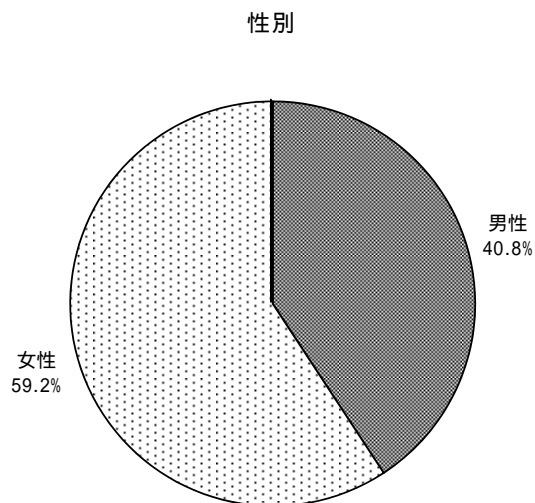
全体数=233



(2) 性別

問2 あなたの性別は。

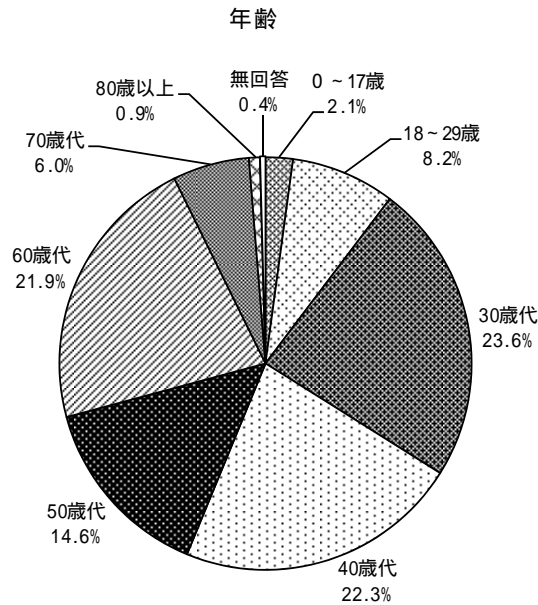
全体数=233



(3) 年齢

問 3 あなたは何歳ですか（平成 22 年 11 月 1 日）の年齢をお答えください。

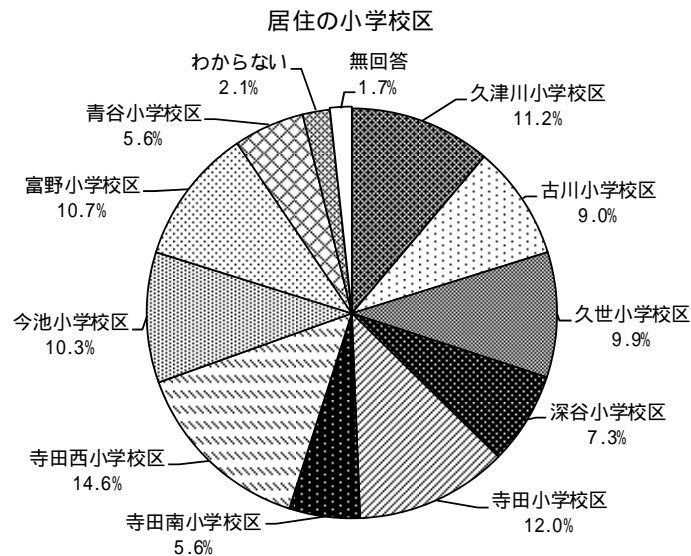
全体数=233



(4) 居住の小学校区

問 4 あなたのお住まいの小学校区は次のうちどれですか。

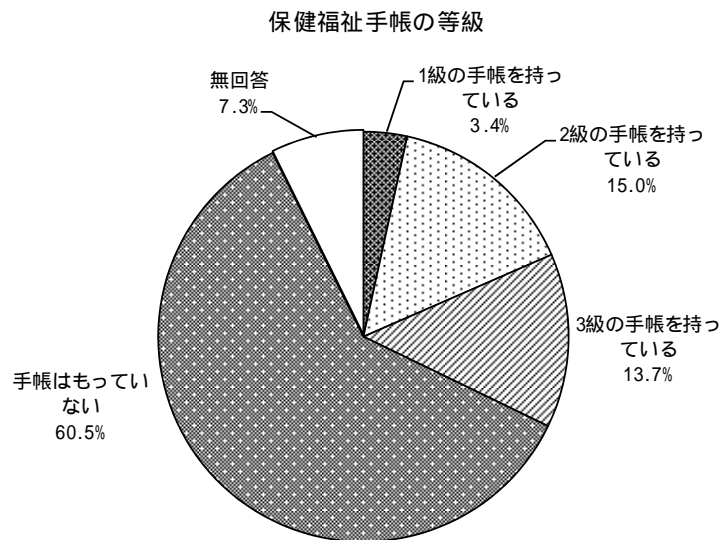
全体数=233



(5) 手帳級数

問5 あなたは精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

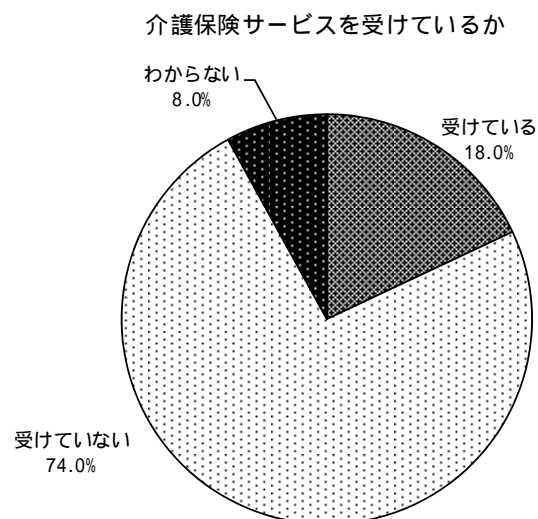
全体数=233



(6) 介護保険サービス利用の有無

問6 主に65歳以上の方におたずねします。介護保険サービスを受けていますか。

全体数=50



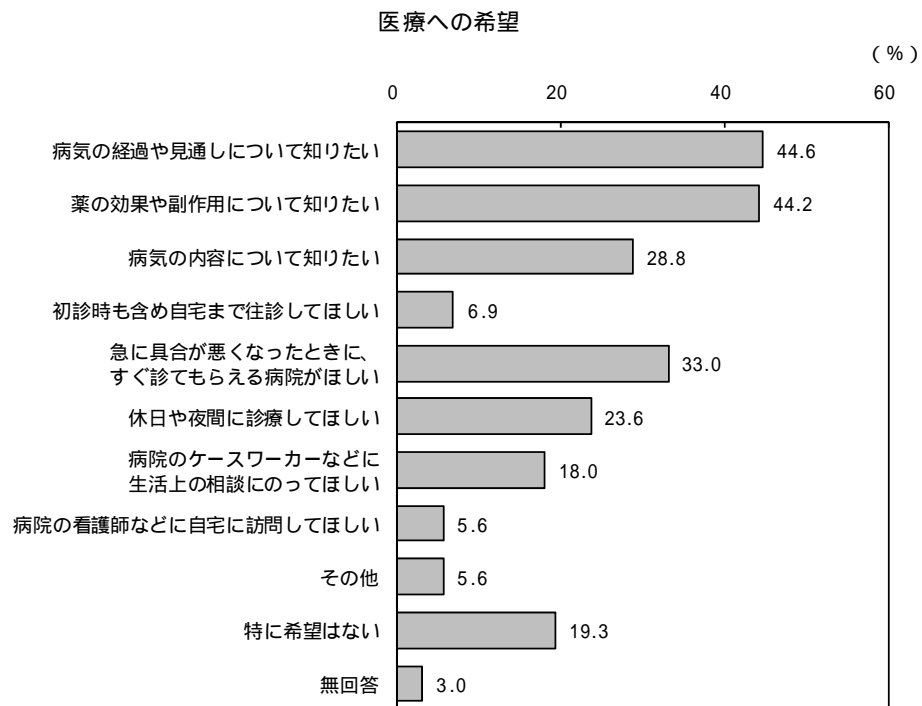
2 医療・保健

(1) 医療に対する希望

問7 今後、医療で、どのようなことを希望しますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「病気の経過や見通しについて知りたい」44.6%、次いで「薬の効果や副作用について知りたい」44.2%、「急に具合が悪くなったときに、すぐ診てもらえる病院がほしい」33.0%、「病気の内容について知りたい」28.8%、「休日や夜間に診療してほしい」23.6%の順でした。

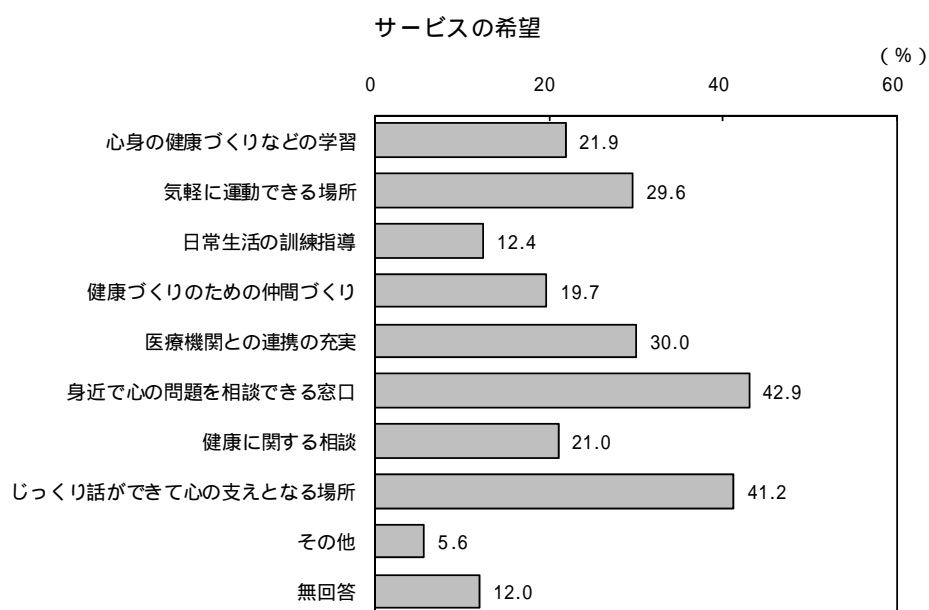


(2) 健康に対する希望

問8 今後、健康に関するサービスで、どのようなことを希望しますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは「身近で心の問題を相談できる窓口」42.9 %、次いで「じっくり話ができる心の支えとなる場所」41.2 %、「医療機関との連携の充実」30.0 %、「気軽に運動できる場所」29.6 %、「心身の健康づくりなどの学習」21.9 %の順でした。



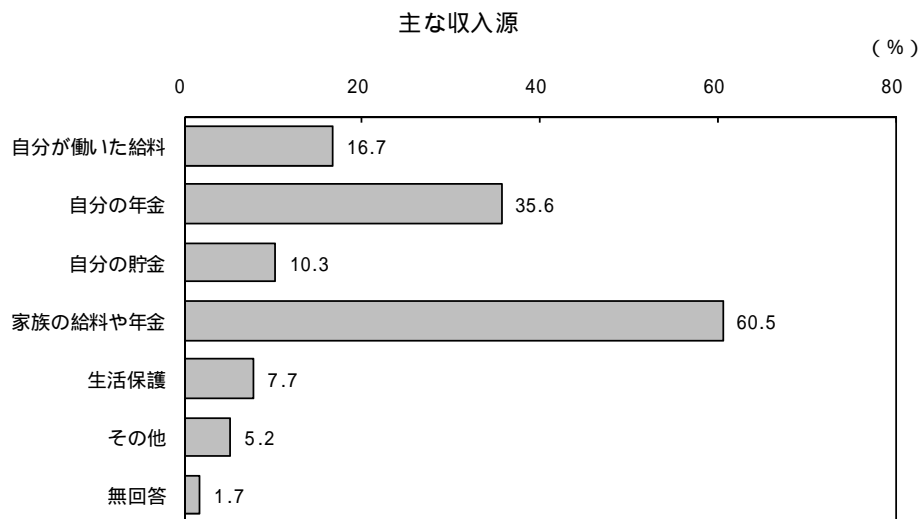
3 生活の状況

(1) 収入源

問9 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは「家族の給料や年金」60.5%、次いで「自分の年金」35.6%、「自分が働いた給料」16.7%、「自分の貯金」10.3%、「生活保護」7.7%、「その他」5.2%の順でした。

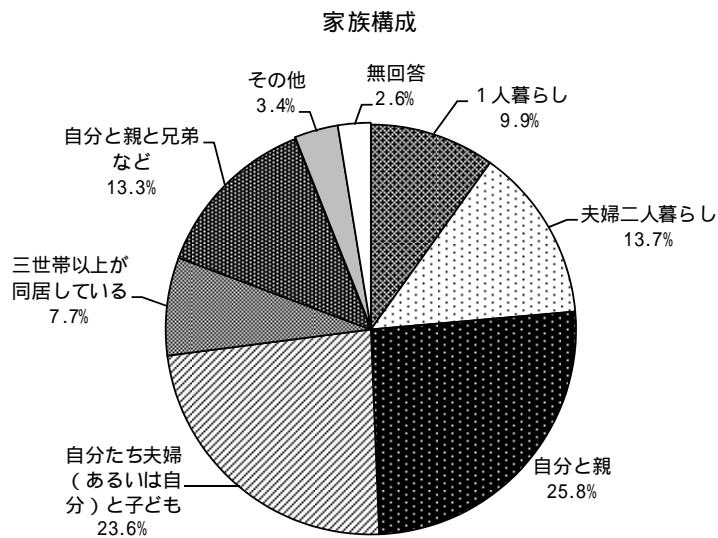


(2) 家族構成

問10 あなたの家族構成で当てはまる番号に1つだけ をつけてください。

全体数=233

最も多かったのは「自分と親」25.8%、次いで「自分たち夫婦(あるいは自分)と子ども」23.6%、「夫婦二人暮らし」13.7%、「自分と親と兄弟など」13.3%、「1人暮らし」9.9%の順でした。

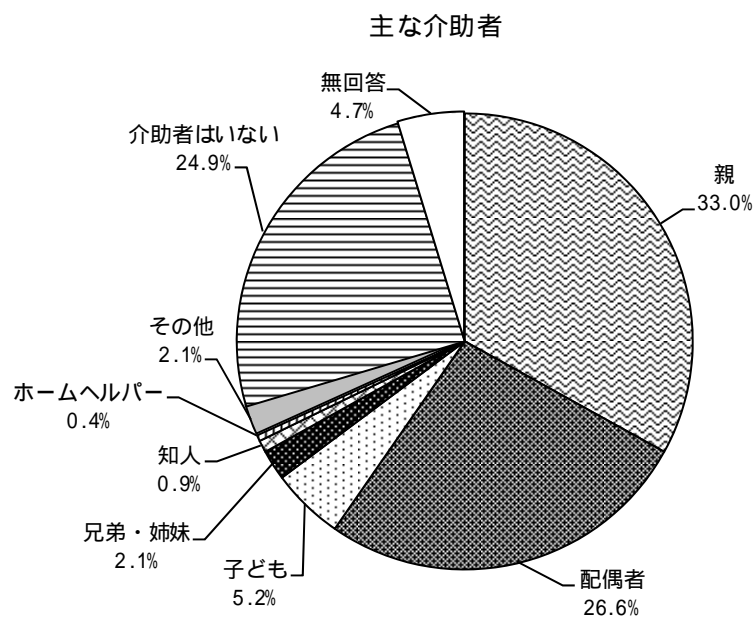


(3) 主な介助者

問11 あなたの主な介助者は次のうち誰ですか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは「親」33.0%、次いで「配偶者」26.6%、「介助者はいない」24.9%、「子ども」5.2%、「兄弟・姉妹」2.1%の順でした。

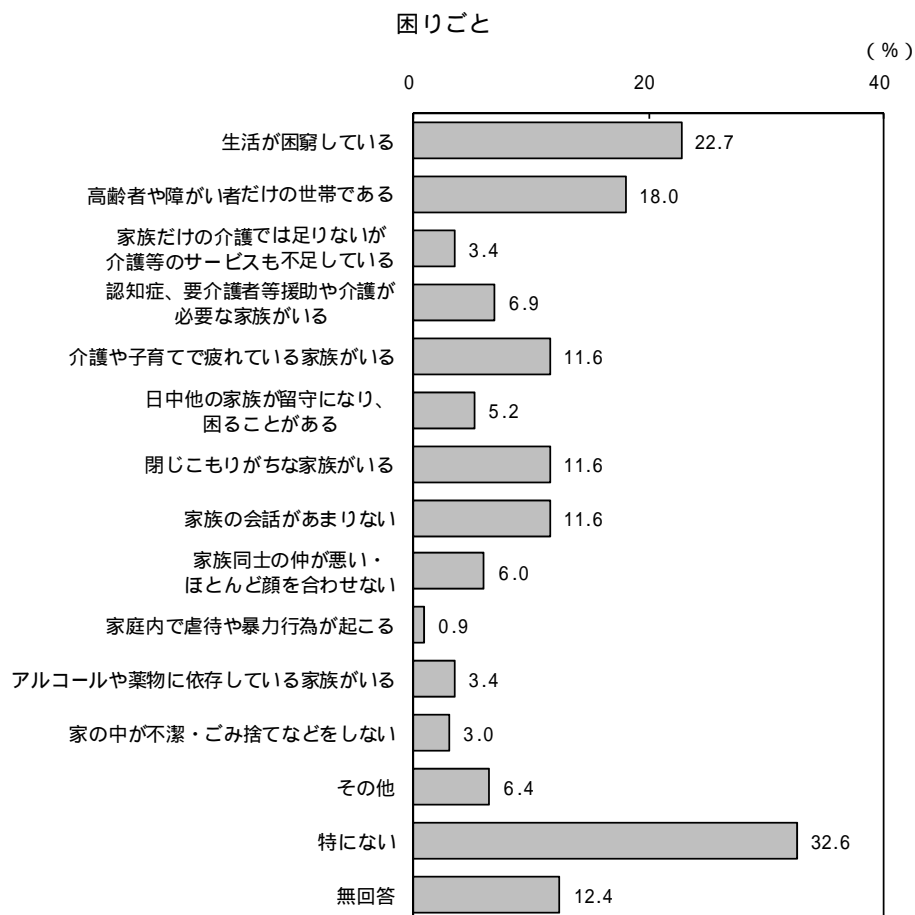


(4) 困っていること

問 12 あなたの家庭やあなた以外の家族のことで困っていることはありますか。当てはまる番号にいくつかでもをつけて下さい。

全体数=233

最も多かったのは「特にない」32.6%、次いで「生活が困窮している」22.7%、「高齢者や障がい者だけの世帯である」18.0%、「介護や子育てで疲れている家族がいる」11.6%、「閉じこもりがちな家族がいる」「家族の会話があまりない」がともに11.6%の順でした。

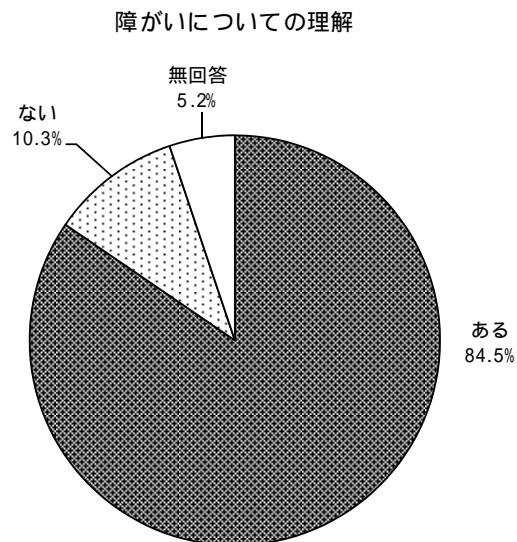


(5) 障がいについての理解

問 13 あなたの家族は、あなたの病気や障がいについて理解がありますか。

全体数=233

「ある」84.5%、「ない」10.3%でした。



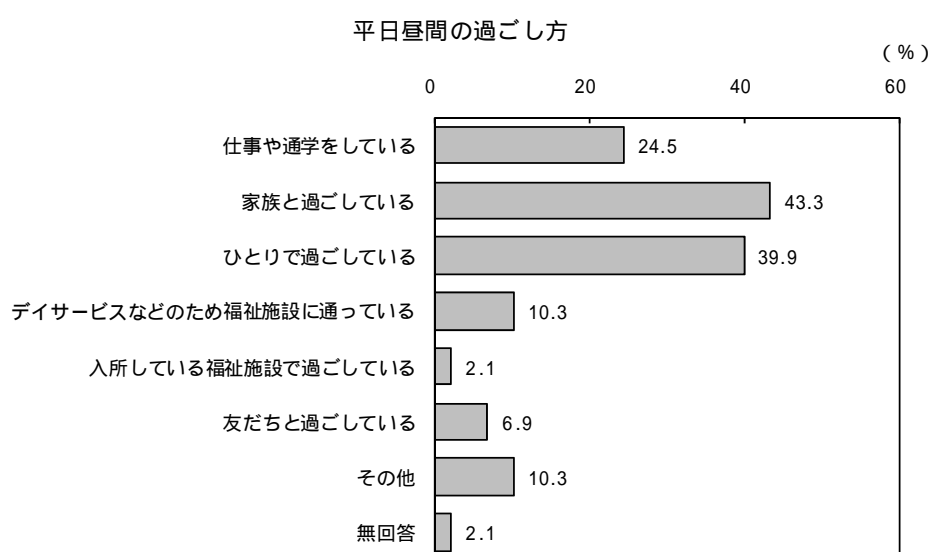
(6) 平日の居場所

問 14 あなたは平日の昼間、主にどのように過ごしていますか。当てはまる番号に 2 つまで をつけてください。

全体数=233

最も多かったのは「家族と過ごしている」43.3 %、次いで「ひとりで過ごしている」39.9 %、「仕事や通学をしている」24.5 %、「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」「その他」とともに 10.3 %の順でした。

手帳の有無・等級別では、「仕事や通学をしている」は 1 級、2 級で低くなっています。



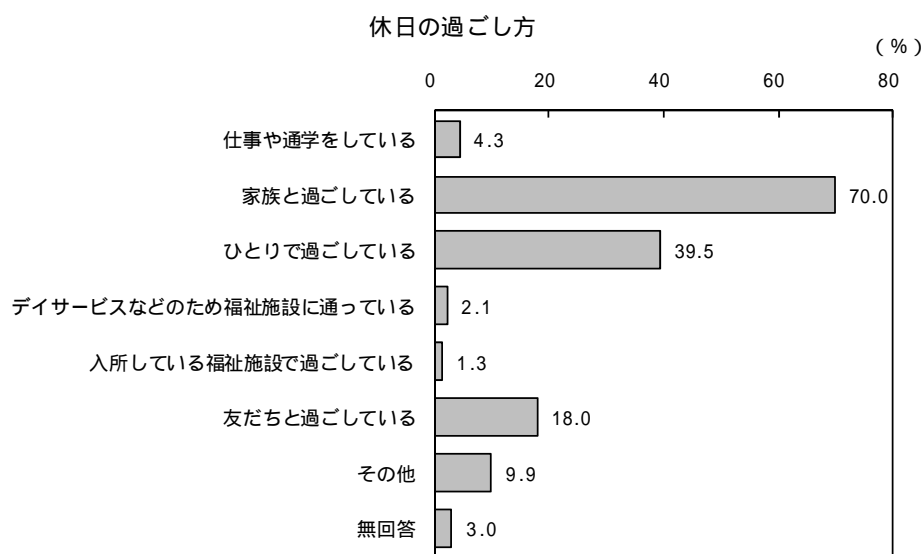
	仕事や通学をしている	家族と過ごしている	ひとりで過ごしている	デイサービスなどのため福祉施設に通っている	入所している福祉施設で過ごしている	友だちと過ごしている	その他	無回答
全体 < N = 233 >	24.5	43.3	39.9	10.3	2.1	6.9	10.3	2.1
1級 < N = 8 >	12.5	50.0	37.5	12.5		12.5	25.0	12.5
2級 < N = 35 >	8.6	68.6	51.4	14.3	2.9	5.7	5.7	
3級 < N = 32 >	21.9	40.6	43.8	28.1	3.1	12.5	3.1	
手帳なし < N = 141 >	29.8	36.2	38.3	5.0	1.4	5.7	12.1	2.8

(7) 休日の過ごし方

問 15 あなたは休日、どのように過ごしていますか。当てはまる番号に 2 つまで をつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「家族と過ごしている」70.0 %、次いで「ひとりで過ごしている」39.5 %、「友だちと過ごしている」18.0 %、「その他」9.9 %、「仕事や通学をしている」4.3 %の順でした。



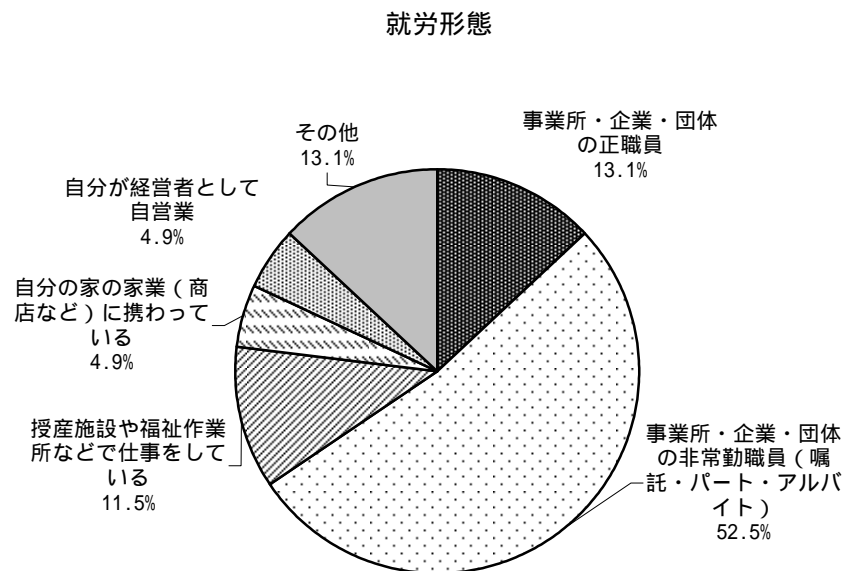
4 就労

(1) 就労形態

問16 現在働いている方におたずねします。お仕事について当てはまる番号に1つだけをつけて下さい。

全体数=61 (無回答及び「働いていない」のぞく)

233人のうち61人(26.2%)が就労しており、最も多かったのは、「事業所・企業・団体の非常勤職員(嘱託・パート・アルバイト)」52.5%、「事業所・企業・団体の正職員」「その他」がともに13.1%、「授産施設や福祉作業所などで仕事をしている」11.5%の順でした。

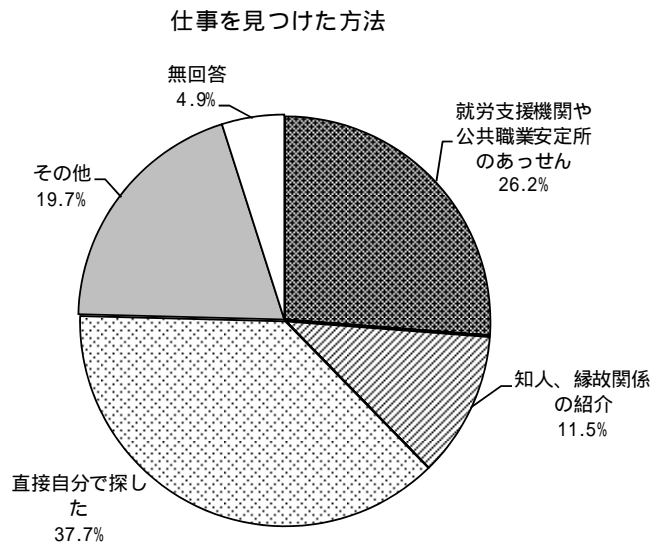


(2) 仕事を見つけた方法

問17 現在働いている方におたずねします。現在の仕事をどのようにして見つけましたか。当てはまる番号に1つだけにをつけてください。

全体数=61 (該当なしを除く)

最も多かったのは、「直接自分で探した」37.7%、次いで「就労支援機関や公共職業安定所のおっせん」26.2%、「その他」19.7%、「知人、縁故関係の紹介」11.5%の順でした。



「その他」の内容

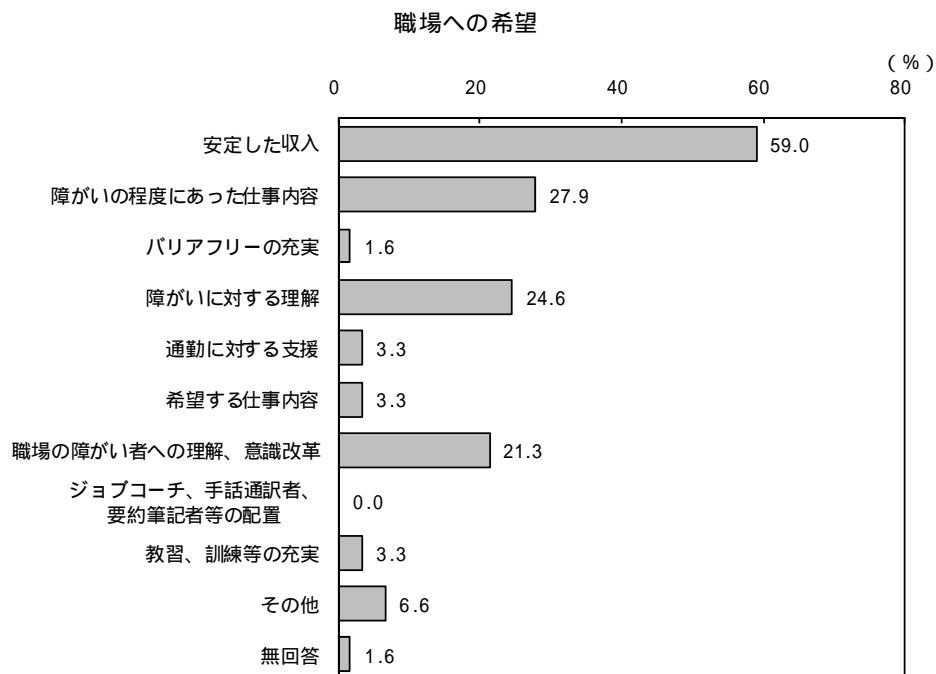
- ・市役所福祉課の紹介
- ・新聞チラシ
- ・新聞の求人広告チラシを見て
- ・昔からの友人の付き合いで2～3日働かせてもらっている
- ・病院のデイケアスタッフの紹介
- ・母が教えてくれた
- ・母が仕事中发现した
- ・以前行っていた会社

(3) 仕事や職場への希望

問18 現在働いている方におたずねします。現在の仕事や職場に関して、どのような環境が整えば、より働きやすいと思いますか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=61 (該当なしを除く)

最も多かったのは、「安定した収入」59.0 %、次いで「障がいの程度にあった仕事内容」27.9 %、「障がいに対する理解」24.6 %、「職場の障がい者への理解、意識改革」21.3 %、「その他」6.6 %の順でした。

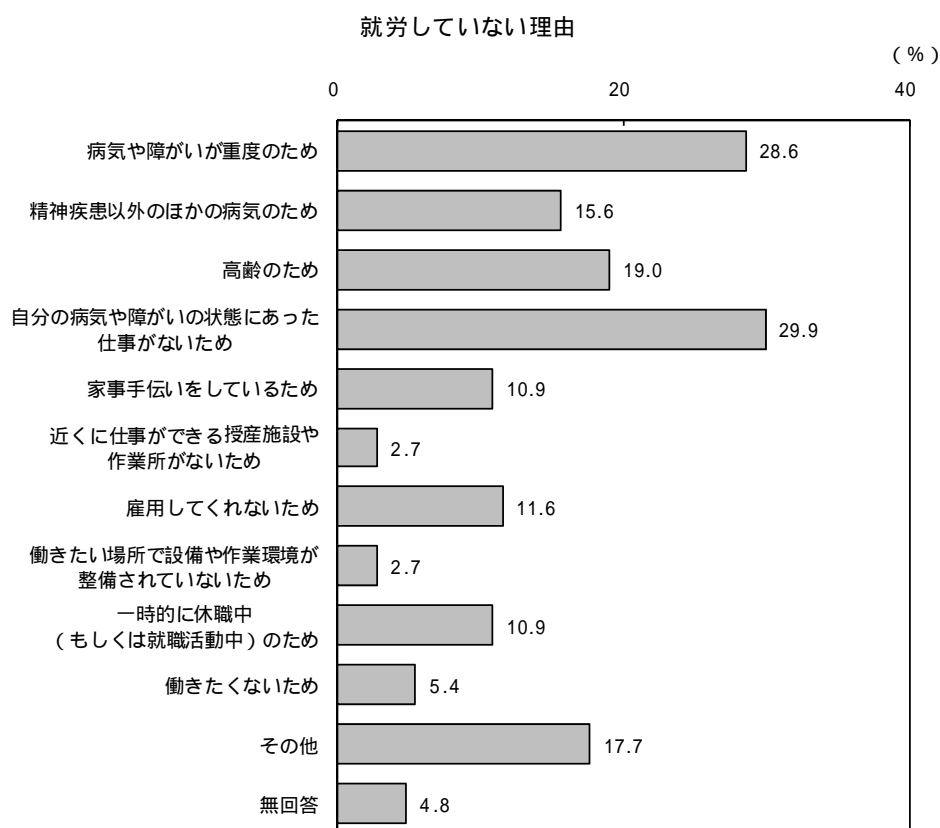


(4) 就労していない理由

問19 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は何ですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。(ご本人が18歳未満の場合は回答不要です)

全体数=147(該当なしを除く)

最も多かったのは、「自分の病気や障がいの状態にあった仕事がないため」29.9%、次いで「病気や障がいが重度のため」28.6%、「高齢のため」19.0%、「その他」17.7%、「精神疾患以外のほかの病気のため」15.6%の順でした。

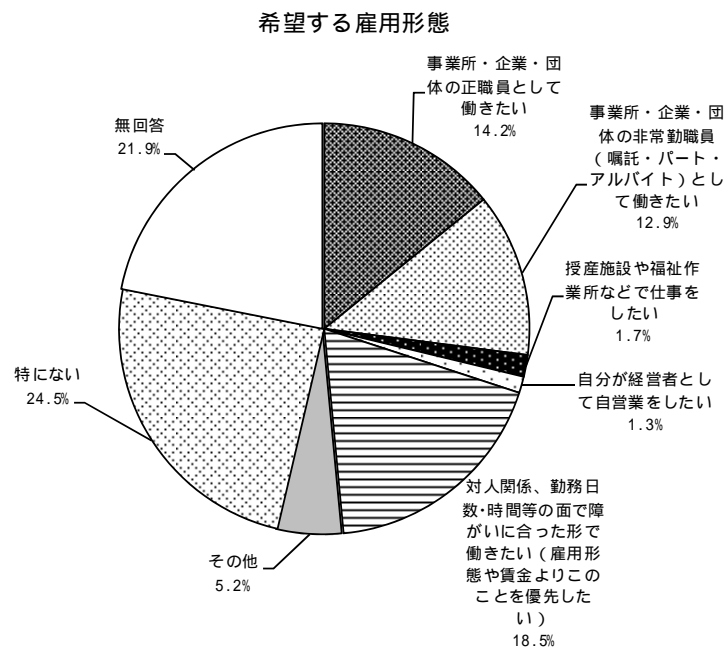


(5) 希望する雇用形態

問20 あなたは今後どのように働きたいですか。当てはまる番号に1つだけをつけて下さい。

全体数=233

最も多かったのは、「特にない」24.5%、次いで「対人関係、勤務日数・時間等の面で障がいにあった形で働きたい(雇用形態や賃金よりこのことを優先したい)」18.5%、「事業所・企業・団体の正職員として働きたい」14.2%、「事業所・企業・団体の非常勤職員(嘱託・パート・アルバイト)として働きたい」12.9%、「その他」5.2%、の順でした。



5 生活の不安や不満

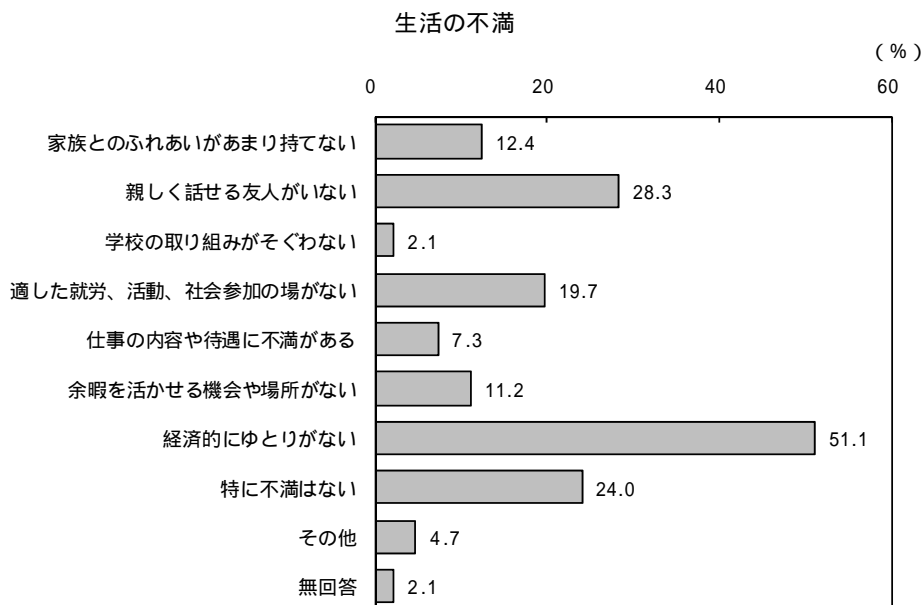
(1) 生活の不満

問21 あなたは生活にどんな不満がありますか。当てはまる番号にいくつでも をつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「経済的にゆとりがない」51.1%、次いで「親しく話せる友人がいない」28.3%、「特に不満はない」24.0%、「適した就労、活動、社会参加の場がない」19.7%、「家族とのふれあいがあまり持てない」12.4%の順でした。

手帳の等級別では、2級で「親しく話せる友人がいない」が40.0%と高くなっています。



単位：%

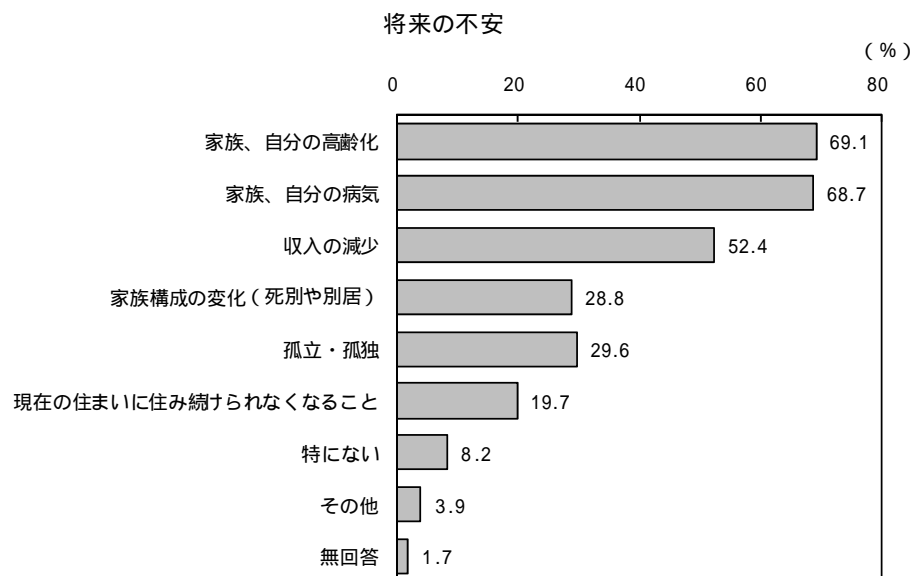
	家族とのふれあいがあまり持てない	親しく話せる友人がいない	学校の取り組みがそぐわない	適した就労、活動、社会参加の場がない	仕事の内容や待遇に不満がある	余暇を活かせる機会や場所がない	経済的にゆとりがない	特に不満はない	その他	無回答
全体 < N = 233 >	12.4	28.3	2.1	19.7	7.3	11.2	51.1	24.0	4.7	2.1
男性 < N = 95 >	10.5	34.7	2.1	22.1	8.4	11.6	46.3	21.1	5.3	3.2
女性 < N = 138 >	13.8	23.9	2.2	18.1	6.5	10.9	54.3	26.1	4.3	1.4
1級 < N = 8 >		12.5				12.5	37.5			
2級 < N = 35 >	14.3	40.0		22.9	2.9	8.6	40.0			
3級 < N = 32 >	21.9	34.4		18.8	9.4	18.8	40.6			
手帳なし < N = 141 >	11.3	25.5	3.5	19.9	8.5	9.9	58.2			

(2) 将来の不安

問 2 2 今後予想される困難や不安はどのようなことですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「家族、自分の高齢化」69.1%、次いで「家族、自分の病気」68.7%、「収入の減少」52.4%、「孤立・孤独」29.6%、「家族構成の変化（死別や別居）」28.8%の順でした。

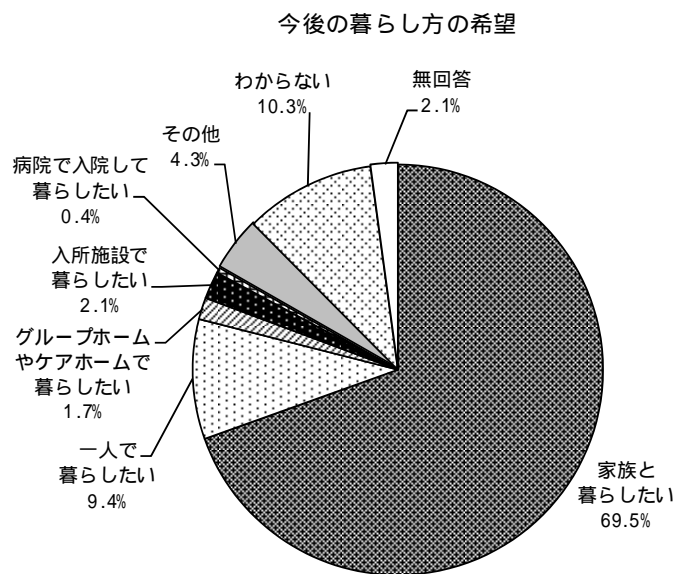


(3) 今後の生活場所の希望

問 2 3 あなたは今後、どこでの暮らしを希望していますか。当てはまる番号に1つだけ をつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「家族と暮らしたい」69.5 %、次いで「わからない」10.3 %、「一人で暮らしたい」9.4 %、「その他」4.3 %、「入所施設で暮らしたい」2.1 %の順でした。



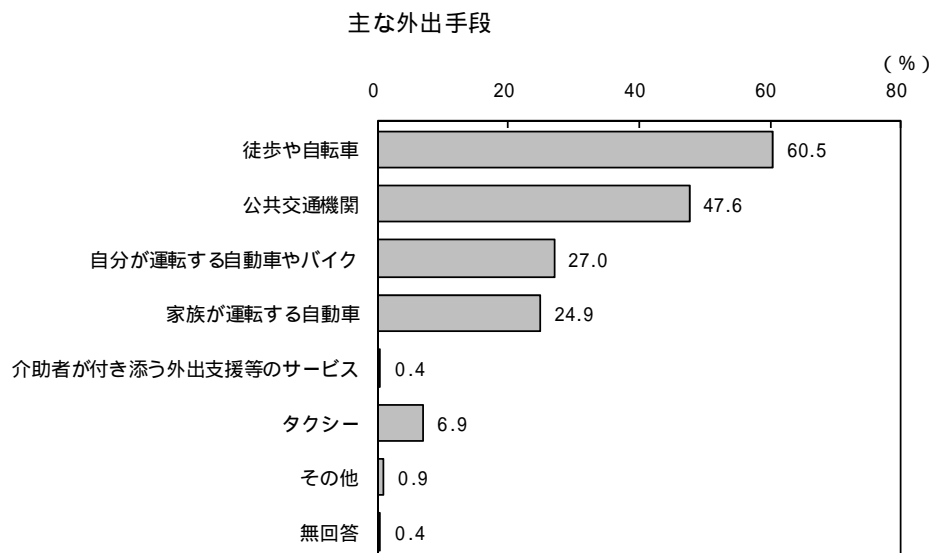
6 外出

(1) 主な外出手段

問24 あなたが外出する際のおもな手段は何ですか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「徒歩や自転車」60.5%、次いで「公共交通機関」47.6%、「自分が運転する自動車やバイク」27.0%、「家族が運転する自動車」24.9%、「タクシー」6.9%の順でした。

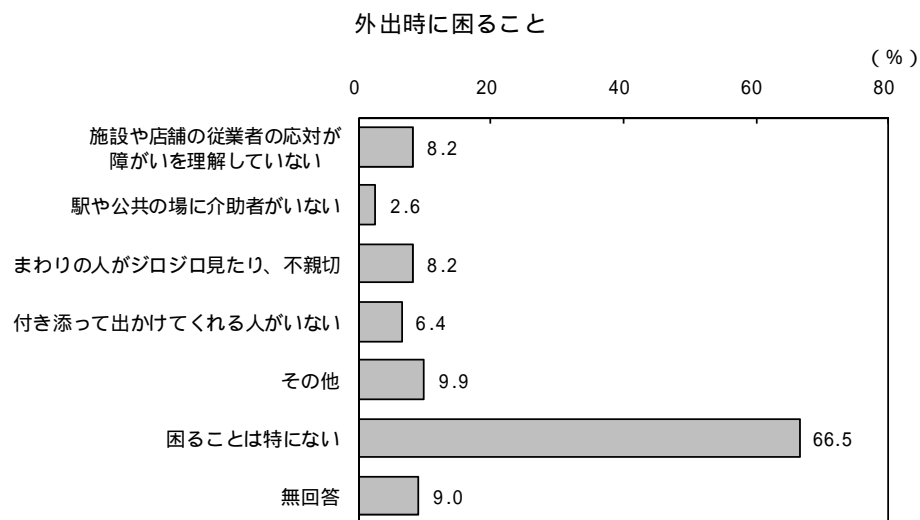


(2) 外出時に困ること

問 2 5 あなたが外出する時、困ることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも をつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「施設や店舗の従業員の対応が障がいを理解していない」「まわりの人がジロジロ見たり、不親切」で、ともに 8.2 %、次いで「付き添って出かけてくれる人がいない」6.4 %、「駅や公共の場に介助者がいない」2.6%の順でした。「困ることは特にない」は 66.5%でした。



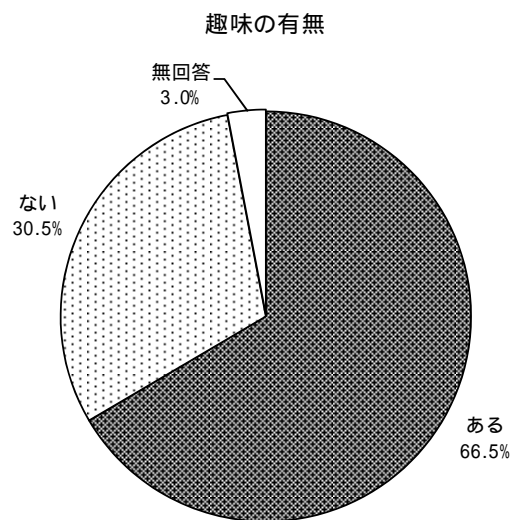
7 余暇・地域活動

(1) 趣味の有無

問26 あなたに趣味あるいは楽しみにしていることはありますか。

全体数=233

「ある」66.5%、「ない」30.5%でした。

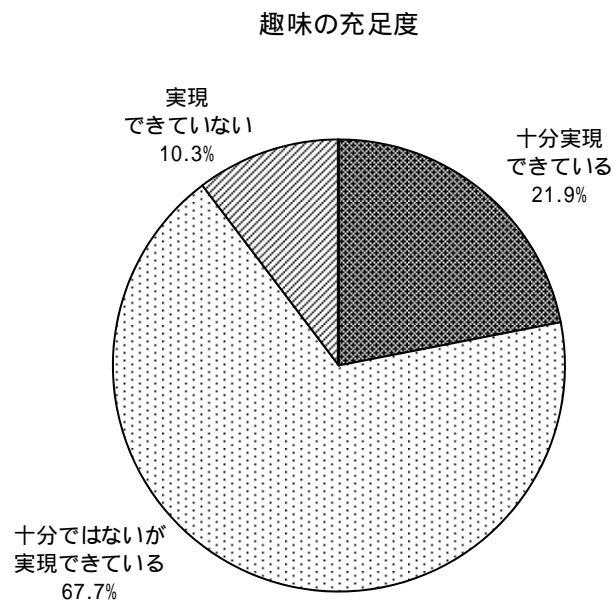


(2) 趣味の充足度

問 2 7 前の問 2 6 で「 1 . ある」と答えた方におたずねします。その趣味や楽しみは実現できていますか。当てはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

全体数= 1 5 5 (該当なしを除く)

「十分実現できている」 21.9 %、「十分ではないが実現できている」 67.7 %、「実現できていない」 10.3 %でした。

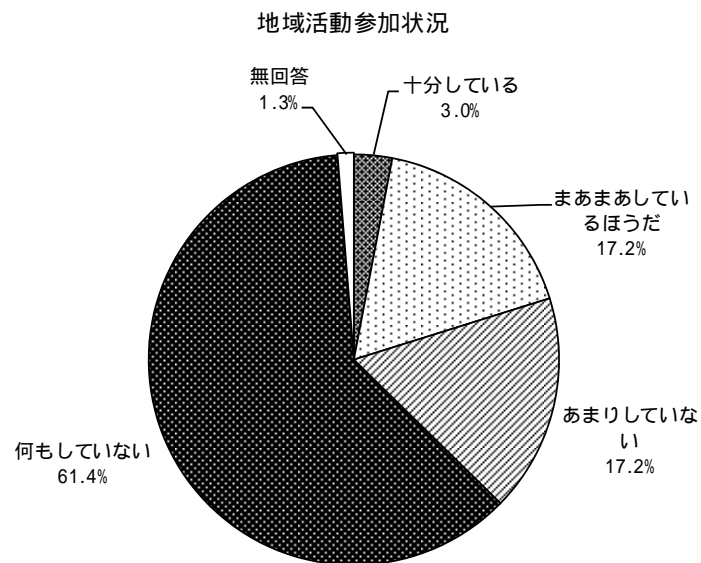


(3) 地域活動参加状況

問28 あなたは地域活動（自治会、子供会の行事や役員など）へ参加していますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=233

「何もしていない」61.4%、次いで「まあまあしているほうだ」「あまりしていない」がともに17.2%、「十分している」3.0%の順でした。

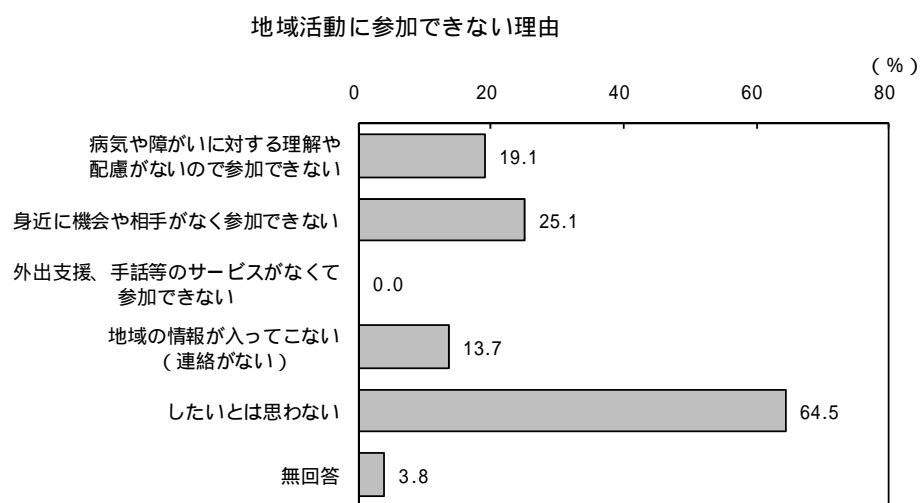


(4) 地域活動に参加できない理由

問29 前の問28で「3.あまりしているとはいえない」「4.何もしていない」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。特に当てはまる番号に2つまでをつけてください。

全体数=183

最も多かったのは、「したいとは思わない」64.5%、次いで「身近に機会や相手がなく参加できない」25.1%、「病気や障がいに対する理解や配慮がないので参加できない」19.1%、「地域の情報が入ってこない(連絡がない)」13.7%の順でした。



8 サービス利用

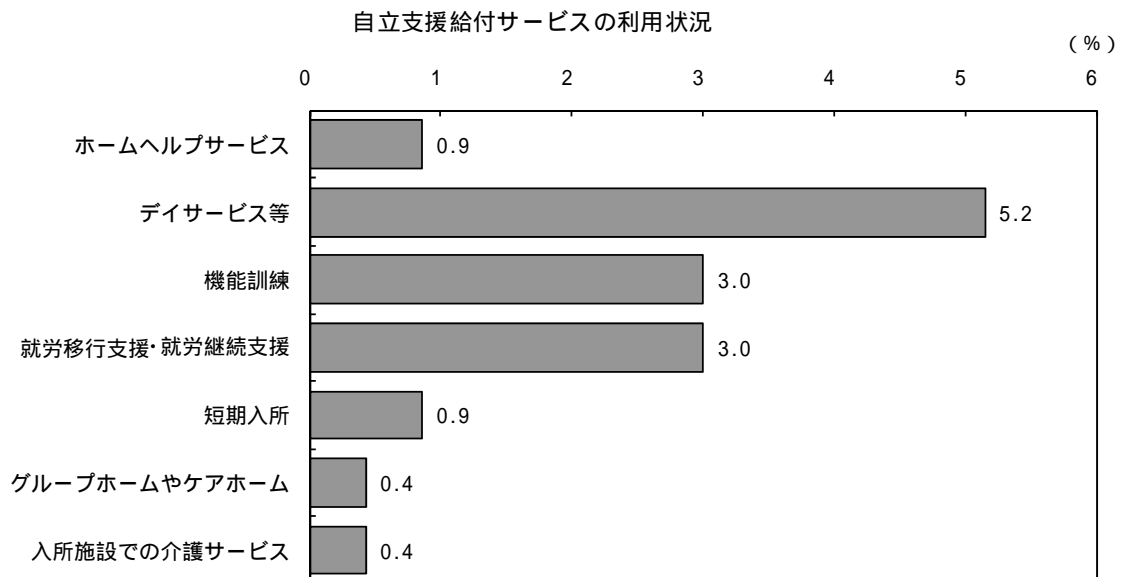
(1) 自立支援給付サービスの利用状況と満足度

ここから問 36 までは、今何らかの福祉サービスを利用している方だけがお答え下さい。

問 30 次の表の中で、利用している介護などのサービスに をつけ、 をつけたサービスの満足度などを表の中の質問にしたがってお答えください。

全体数=233

アンケートの回答者全体数(233人)のうち各サービス利用者は、「 デイサービス等」5.2%、「 機能訓練」と「 就労移行支援・就労継続支援」がともに 3.0%などとなっています。



各サービスの満足度については、全体に「満足」「ほぼ満足」が多くなっていますが、「デイサービス等」で「不満がある」が6人でした。

本質問は、前問で「利用している」を選んだ回答者に限らず各サービスの満足度の回答者全員を全数(=100%)として集計した。

単位：人

	各サービス 回答者合計	満足	ほぼ満足	不満がある
ホームヘルプサービス	4	2	2	0
デイサービス等	18	7	5	6
機能訓練	8	0	6	2
就労移行支援・就労継続支援	8	5	3	0
短期入所	3	1	2	0
グループホームやケアホーム	1	1	0	0
入所施設での介護サービス	2	0	0	2

各サービスの不満の内容については、回答者が0～7人でした。1人以上の回答があったサービスの結果は下表の通りです。

単位：人

	各サービス 回答者合計	内容が不満	時間や日数 が足りない	職員の対応 が不満	その他
デイサービス等	7	3	1	1	3
機能訓練	2	1	0	0	2
入所施設での介護サービス	2	2	0	1	1

複数回答(いくつでも)

(2) 自立支援給付サービスの不満と感ずる内容

問 31 上記 ~ で特に不満と感ずる内容を ~ の番号とともに3つまでお書きください。

下表の通り、合計6の記述意見を得ました。

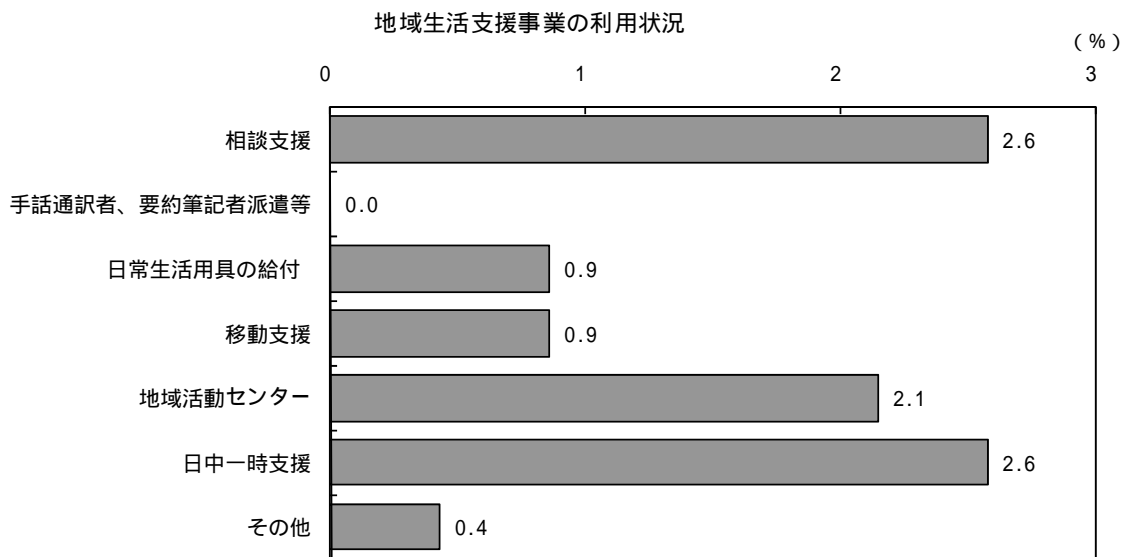
デイサービス等	自分と同世代の人が少なく面白くない。
	職員が障がい者抜きで自分達の遊びに夢中になっている時がある。
	創作が進まない。
	予約がいっぱいと言われた。
機能訓練	社会復帰訓練などあまりやっていない。
入所施設での介護サービス	食事内容が落ちてきたように思う。

(3) 地域生活支援事業の利用状況と満足度

問3 2 次の表の中で、利用している地域生活支援事業のサービスに をつけ、 をつけたサービスの満足度を表の中の質問にしたがってお答えください。

全体数=233

アンケートの回答者全体数(233人)のうち各サービス利用者は、多いサービスでも7人(2.6%)に留まりました。結果は下のグラフの通りです。



各サービスの満足度については、全体に「満足」「ほぼ満足」が多くなっています。本質問は、前問で「利用している」を選んだ回答者に限らず各サービスの満足度の回答者全員を全数 (=100%) として集計した。

単位：人

	各サービス回答者合計	満足	ほぼ満足	不満がある
相談支援	7	2	5	0
手話通訳者、要約筆記者派遣等	0	0	0	0
日常生活用具の給付	2	0	2	0
移動支援	2	0	1	1
地域活動センター	5	4	0	1
日中一時支援	6	2	4	0
その他	1	1	0	0

各サービスの不満の内容については、回答者が0～1人でした。1人以上の回答があった回答結果は下表の通りです。

単位：人

	各サービス 回答者合計	内容が不満	時間や日数 が足りない	職員の対応 が不満	その他
相談支援	1	0	0	0	1
移動支援	1	0	0	0	1
地域活動センター	1	1	0	0	0

複数回答（いくつでも）

（４）地域生活支援事業の不満と感ずる内容

問33 上の～で特に不満と感ずる内容を～の番号とともに3つまでお書きください。

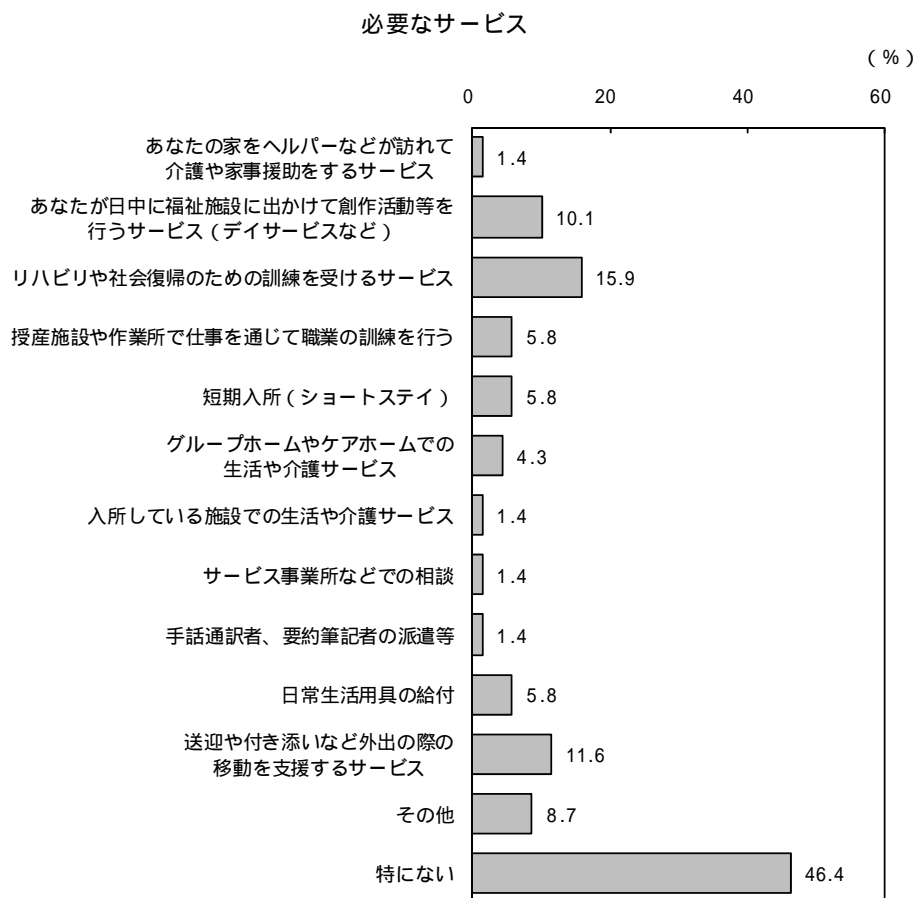
各サービスの不満の内容については、回答者が0人でした。

(5) 今受けている以外の必要なサービス

問 34 今受けているサービス以外に必要なサービスはありますか。当てはまる番号にいくつでもつけてください。

全体数=69 (該当なしを除く)

最も多かったのは、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」15.9%、次いで「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」11.6%、「あなたが日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス(デイサービスなど)」10.1%、「その他」8.7%の順でした。「特にない」は46.4%でした。

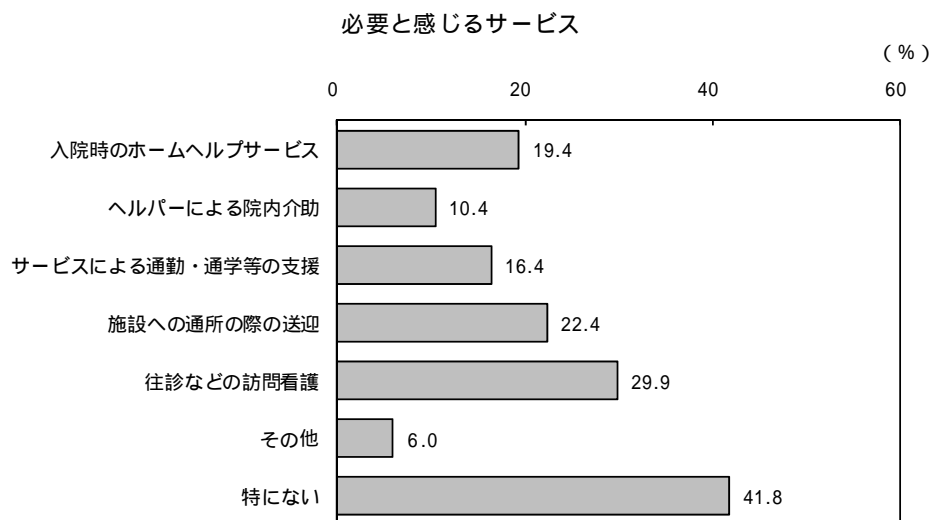


(6) 必要と感じるサービス

問35 今のところ城陽市では実施はされていませんが、必要と感じる支援はありますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=67(該当なしを除く)

最も多かったのは、「特にない」41.8%、次いで「往診などの訪問看護」29.9%、「施設への通所の際の送迎」22.4%、「入院時のホームヘルプサービス」19.4%、「サービスによる通勤・通学等の支援」16.4%の順でした。

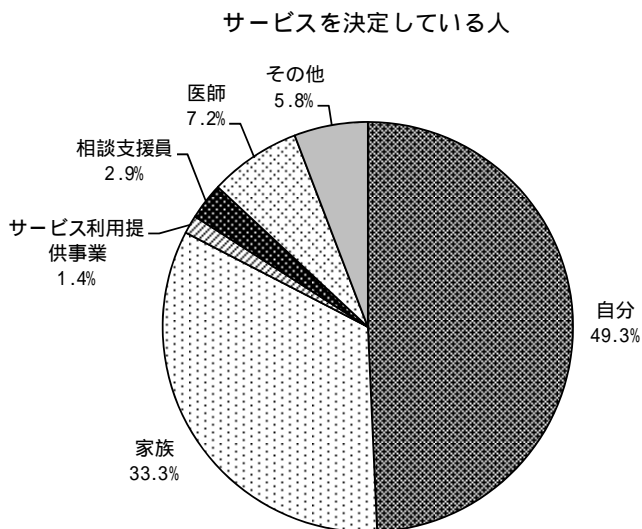


(7) サービスを決定している人

問 36 福祉サービス等の利用にあたり、利用する施設やサービス内容について誰が決めていますか。当てはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

全体数=69 (該当なしを除く)

最も多かったのは、「自分」49.3 %、次いで「家族」33.3 %、「医師」7.2 %、「その他」5.8 %、「相談支援員」2.9 %、「サービス利用提供事業」1.4 %の順でした。



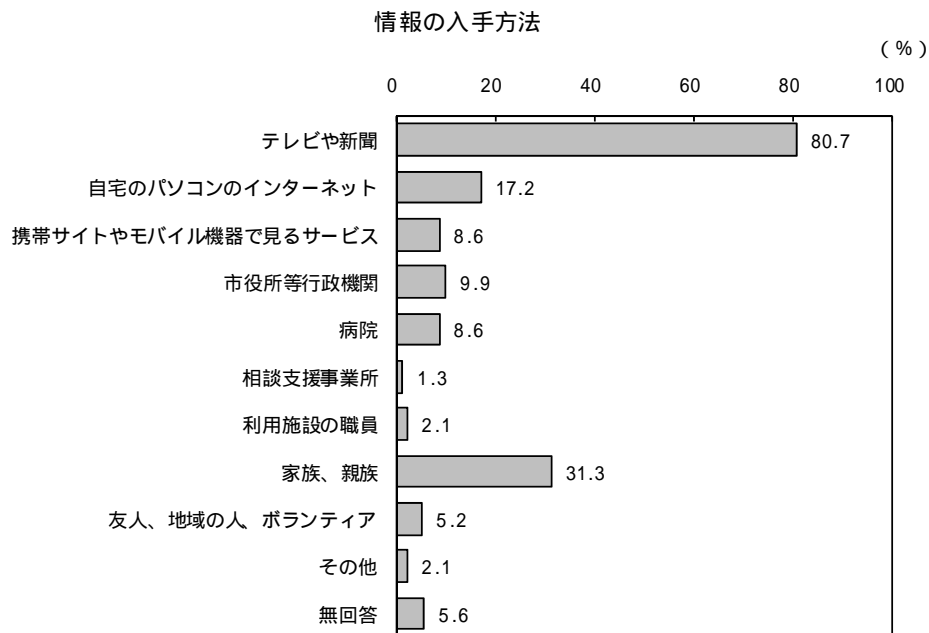
9 情報提供

(1) 情報の入手方法

問 37 あなたは生活に必要な情報を主に何から得ていますか。特に当てはまる番号に 2 つまでをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「テレビや新聞」80.7 %、次いで「家族、親族」31.3 %、「自宅のパソコンのインターネット」17.2 %、「市役所等行政機関」9.9 %、「携帯サイトやモバイル機器で見るサービス」「病院」がともに 8.6 %の順でした。

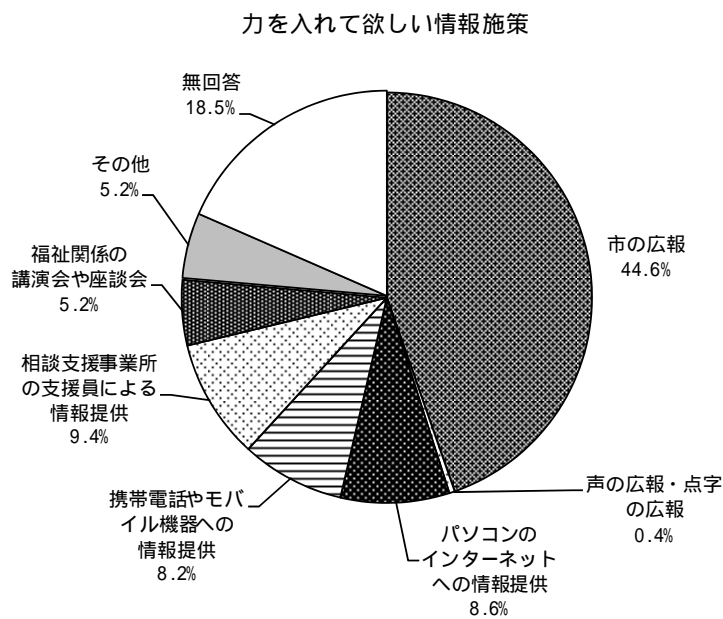


(2) 充実すべき情報発信手段

問38 市からの情報発信として、もっとも力を入れてほしいことは何ですか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「市の広報」44.6%、次いで「相談支援事業所の支援員による情報提供」9.4%、「パソコンのインターネットへの情報提供」8.6%、「携帯電話やモバイル機器への情報提供」8.2%、「福祉関係の講演会や座談会」5.2%の順でした。



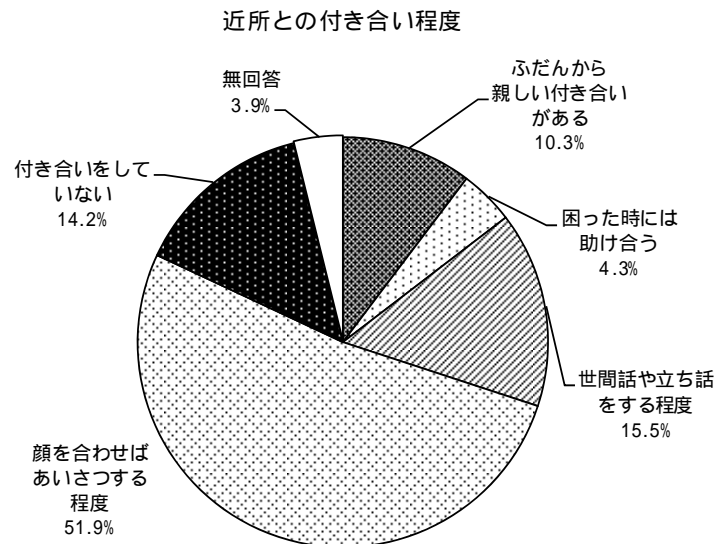
10 生活支援

(1) 近所との付き合いの程度

問39 あなたは、隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「顔を合わせばあいさつする程度」51.9%、次いで「世間話や立ち話をする程度」15.5%、「付き合いをしていない」14.2%、「ふだんから親しい付き合いがある」10.3%、「困った時には助け合う」4.3%の順でした。



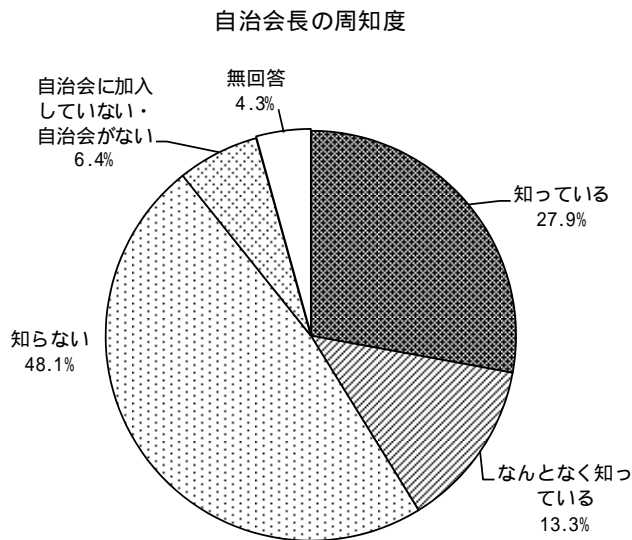
(2) 自治会長、民生・児童委員の周知度

問 40 あなたは、あなたの地域の自治会長や民生・児童委員を知っていますか。当てはまる番号それぞれ1つずつをつけてください。

自治会長

全体数=233

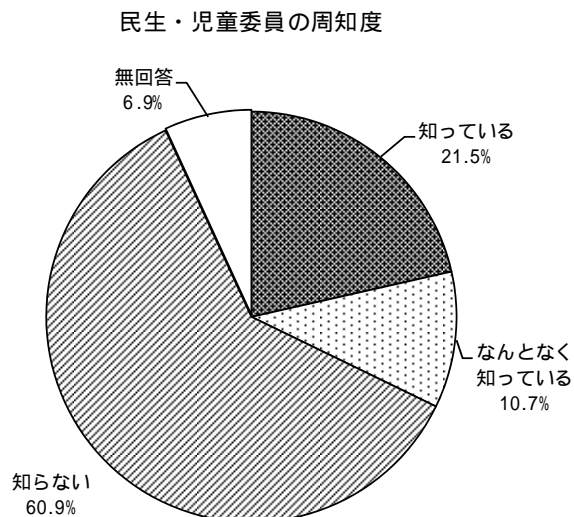
最も多かったのは、「知らない」48.1 %、次いで「知っている」27.9 %、「なんとなく知っている」13.3 %、「自治会に加入していない・自治会がない」6.4 %の順でした。



民生・児童委員

全体数=233

最も多かったのは、「知らない」60.9 %、次いで「知っている」21.5 %、「なんとなく知っている」10.7 %の順でした。

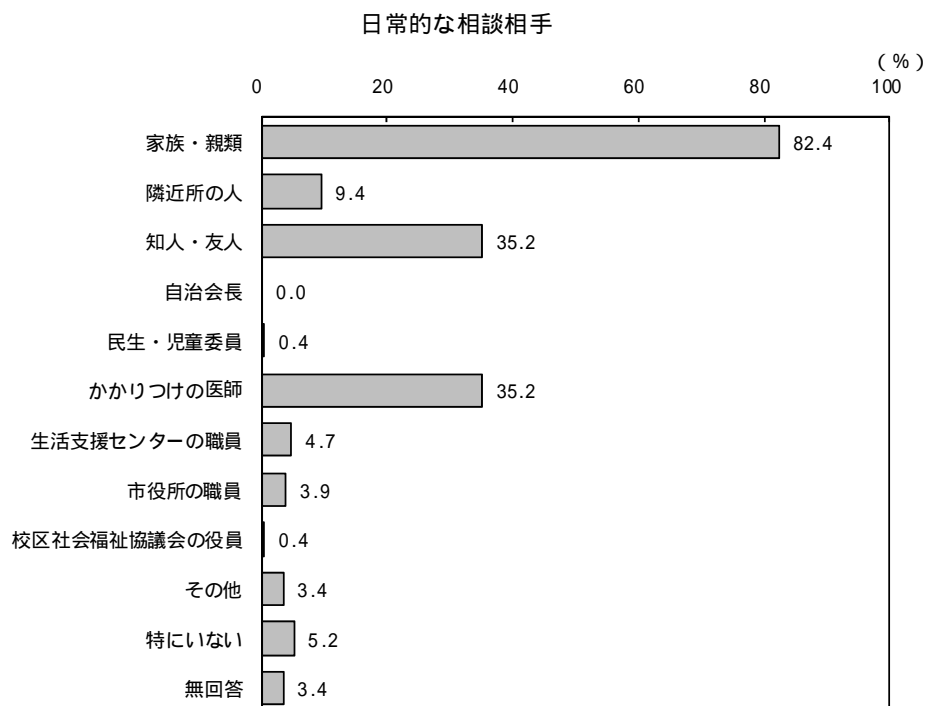


(3) 日常的な相談相手

問 41 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような方ですか。
当てはまる番号にいくつでも をつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「家族・親類」82.4 %、次いで「知人・友人」「かかりつけの医師」がともに35.2 %、「隣近所の人」9.4 %、「特にいない」5.2 %の順でした。

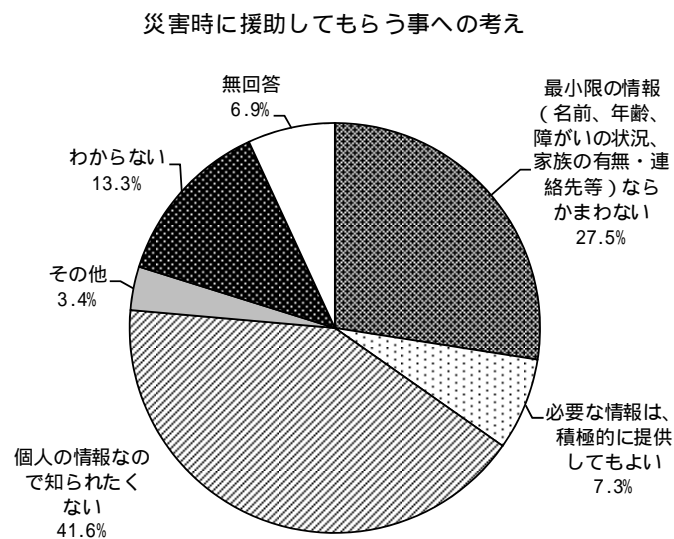


(4) 災害時に援助してもらおう事への考え

問 42 地域での日常の見守りを行うには、民生・児童委員以外に自治会や校区社協などがあなたの個人情報を把握しておく必要があると思われますが、このことについてはどのように思いますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「個人の情報なので知られたくない」41.6%、次いで「最小限の情報（名前、年齢、障がいの状況、家族の有無・連絡先等）ならかまわない」27.5%、「わからない」13.3%、「必要な情報は、積極的に提供してもよい」7.3%の順でした。



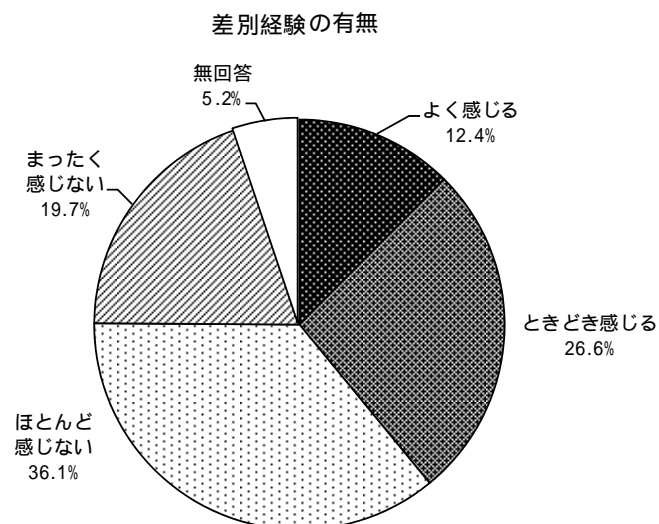
11 城陽市の福祉環境

(1) 差別経験の有無

問43 日常生活において、差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。当てはまる番号に1つだけをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「ほとんど感じない」36.1%、次いで「ときどき感じる」26.6%、「まったく感じない」19.7%、「よく感じる」12.4%の順でした。

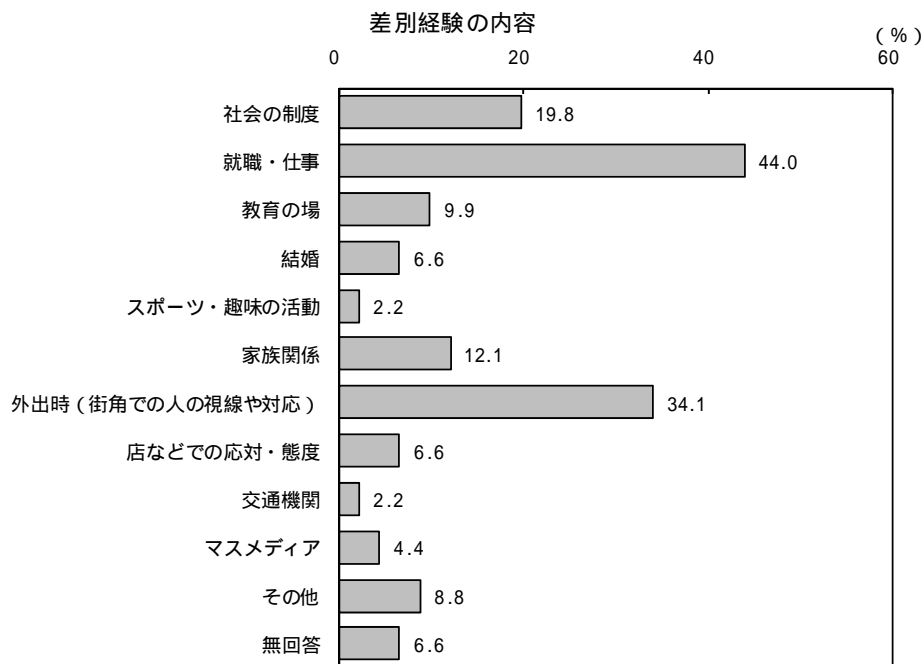


(2) 差別経験の内容

問 4 4 前の問 4 3 で、「 1 .よく感じる」「 2 .ときどき感じる」と回答した方におたずねします。
 どんなときにそれを感じますか。特に当てはまる番号に 2 つまで をつけてください。

全体数= 9 1

最も多かったのは、「就職・仕事」44.0 %、次いで「外出時(街角での人の視線や対応)」34.1 %、
 「社会の制度」19.8 %、「家族関係」12.1 %、「教育の場」9.9 %の順でした。

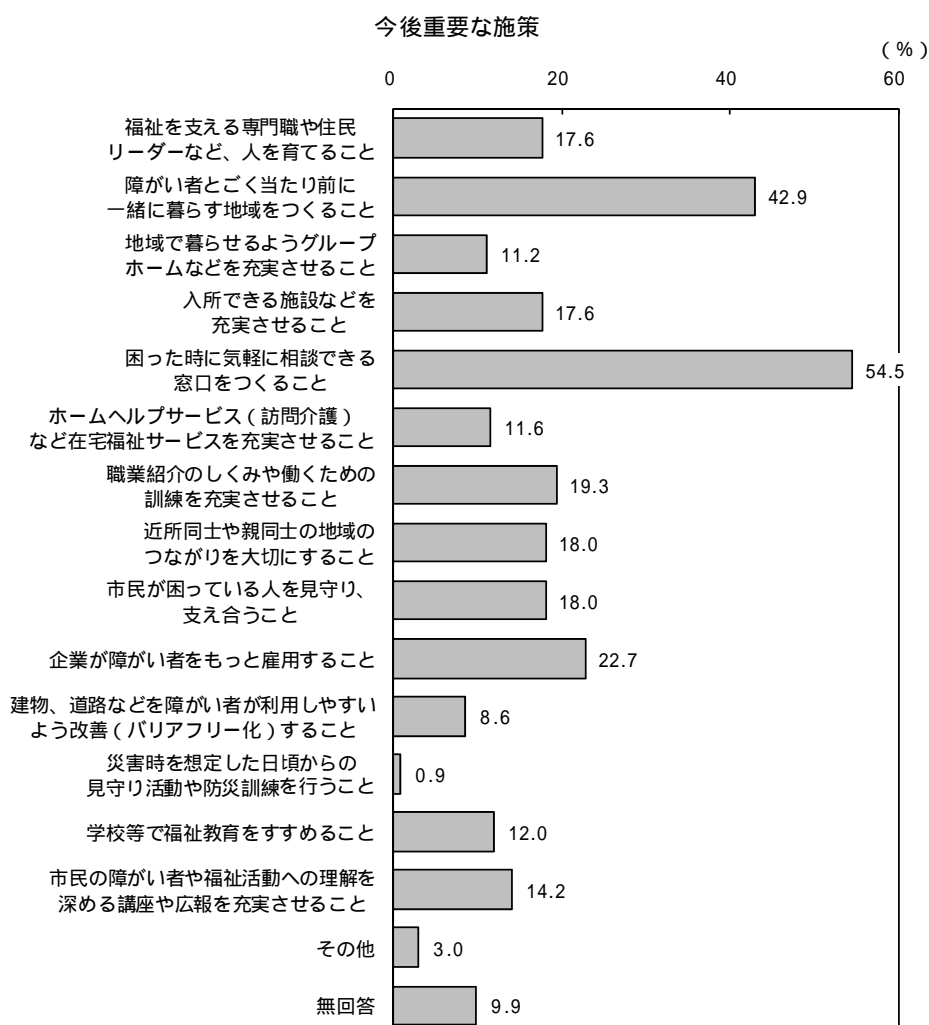


(3) 今後重要な施策

問45 城陽市で、こころの病気を抱えた方や障がい者が生活を送る上で重要と思われることは何ですか。特に当てはまる番号に4つまでをつけてください。

全体数=233

最も多かったのは、「困った時に気軽に相談できる窓口をつくること」54.5%、次いで「障がい者のごく当たり前に一緒に暮らす地域をつくること」42.9%、「企業が障がい者をもっと雇用すること」22.7%、「職業紹介のしくみや働くための訓練を充実させること」19.3%、「近所同士や親同士の地域のつながりを大切にすること」「市民が困っている人を見守り、支え合うこと」がともに18.0%の順でした。



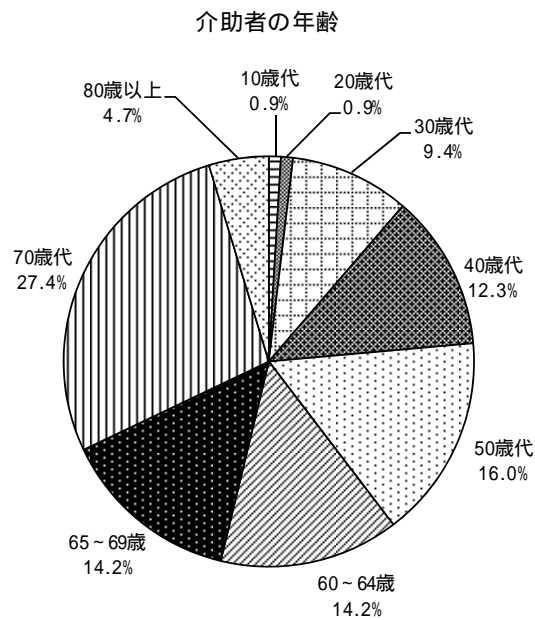
12 介助者

(1) 介助者の年齢

問46 主な介助者の方の年齢はいくつですか。

全体数 = 106 (無回答者のぞく)

最も多かったのは、「70歳代」27.4%、次いで「50歳代」16.0%、「60～64歳」「65～69歳」がともに14.2%、「40歳代」12.3%の順でした。

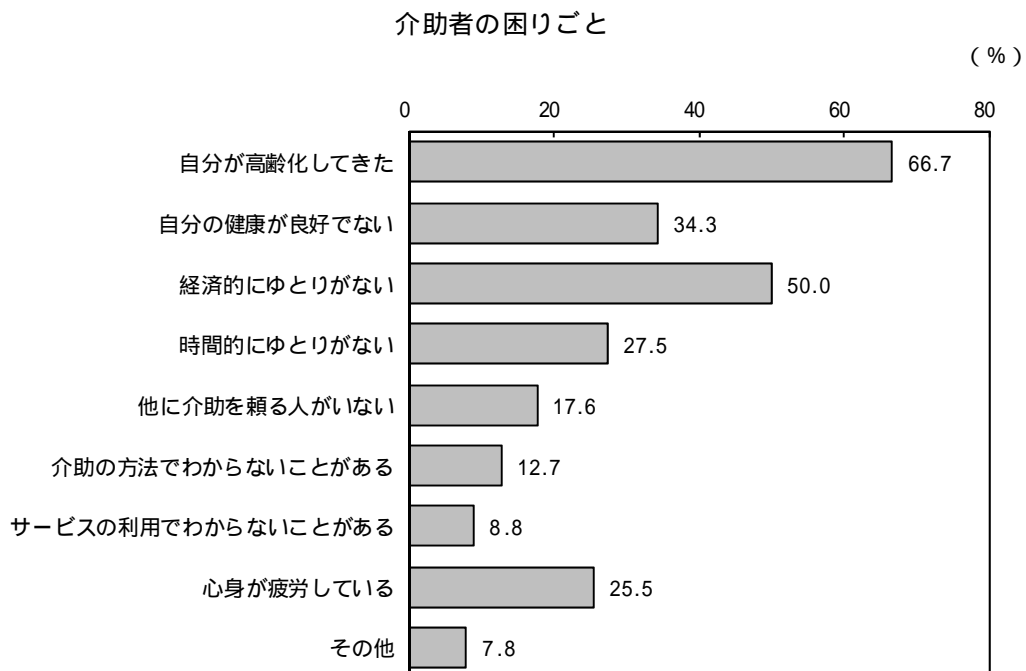


(2) 介助者の介護での困りごと

問47 主な介助者の方におたずねします。今困っていることは何ですか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=102(無回答者のぞく)

最も多かったのは、「自分が高齢化してきた」66.7%、次いで「経済的にゆとりがない」50.0%、「自分の健康が良好でない」34.3%、「時間的にゆとりがない」27.5%、「心身が疲労している」25.5%の順でした。

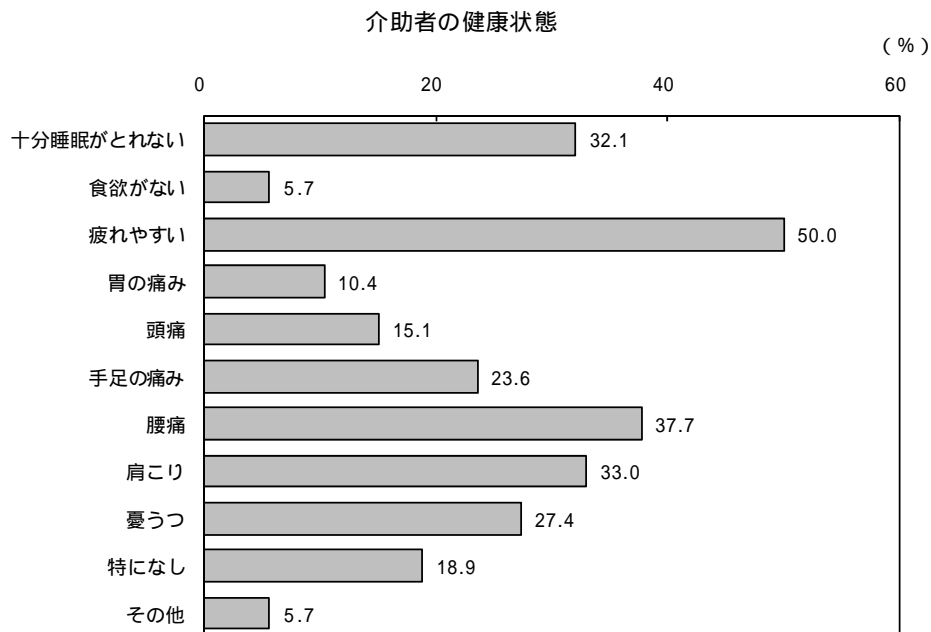


(3) 介助者の健康状態

問49 主な介助者にお聞きします。あなた（介助者）が日常的に感じる不調について、当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=106（無回答者のぞく）

最も多かったのは、「疲れやすい」50.0%、次いで「腰痛」37.7%、「肩こり」33.0%、「十分睡眠がとれない」32.1%、「憂うつ」27.4%の順でした。

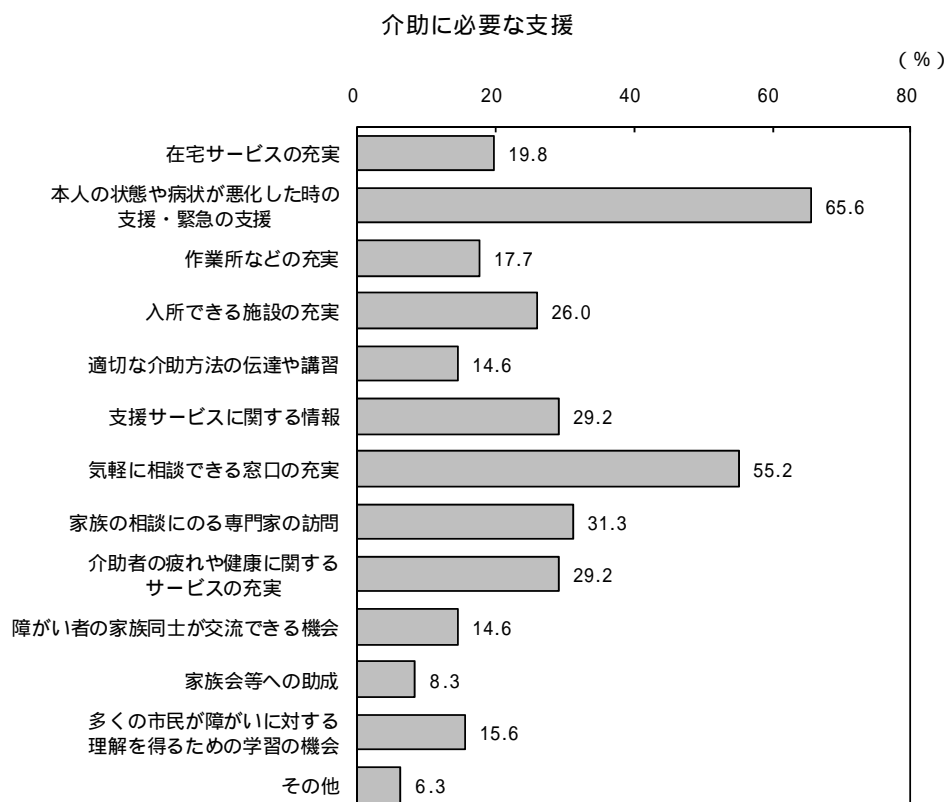


(4) 介助に必要な支援

問50 主な介助者の方におたずねします。介助者にとってどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号にいくつでもをつけてください。

全体数=96（無回答者のぞく）

最も多かったのは、「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」65.6%、次いで「気軽に相談できる窓口の充実」55.2%、「家族の相談にのる専門家の訪問」31.3%、「支援サービスに関する情報」「介助者の疲れや健康に関するサービスの充実」がともに29.2%の順でした。



城陽市障がい者計画策定に係る

実態調査結果報告書

城陽市 福祉保健部

平成 23 年 3 月 発行

〒610-0195
京都府城陽市寺田東ノ口 16 番地・17 番地

電話 0774-56-4030
